

しき僧庵セント・ピーター」押入強盜の一家バルト・ソング「私生兒殺しジーン・デグイス」人間の皮被ふれる野獸「ハンブルグの罪人頭」ブダペストの魔窟「腰より下のなき貴女タウマ」首なし男「一夜の犯罪」悪魔王サム・クロッカー「大金持より殺人強盜」自殺クラブ「急行列車の強盜」世界の名高き強盜「強盜大將ハンネス・パウエル」結婚四十回、一名ニューヨークにて評判の色魔の犠牲「毒を盛る六回の女」聲高には話されぬこと等其他枚舉に遑がないほど多くある。以上は多く前に述べたニック・カーター又はセルロク・ホルムス等の如き探偵の名を冠した叢書の一部である。尙此叢書には右の外に様々なものがある。例へば「フリッツ・スタガルトの冒険」、これは伯爵の榮位を一擲して大探偵となれる同人の冒険譚を書いたもので、一名を刑事叢書と申して居る。「イセール・キング」、之は女のセルロク・ホルムスで、其探偵譚である。「赤面の秘密」といふのは獨逸セルロク・ホルムスの冒険譚である。「ジン・ウイエルソン」、之は亞米利加の名高い大探偵の秘密書である。此外にも色々な叢書がある。「前の聲高には話されぬこと」も實は亦此叢書の名である。之にて大概は俗悪文學の内容のほども窺ひ得らるゝであらうと思ふが、試に前の「結婚四十回」の中の一節を擧ぐ

れば、彼人の腕に抱へられて味うた愉快は、それが因となつて嘗めた苦勞を千倍も償ふほどである。モ一度彼の傍に居らるゝことなら、再びどんな苦勞でも辭しはしない、と犠牲の一人は云つた。」とある。此外の本にもまだゾツとする様な書振りが澤山あるが、こんな事は略する方が却つて禮であらうから、茲には述べぬ。

俗悪文學の惡影響

我國では未だ犯罪と俗悪文學との關係に就いて詳細な調査は無いやうである。加之、事實上でも俗悪文學に基いた犯罪といふものは西洋諸國の如く甚しくないやうである。併し昔は近松の心中物や豊後節の流行した爲に情死が多くなつたといふ傳説もあるから、若し詳細に調査したら、案外の結果を見るかも知れぬ。華嚴の流の例なども考へて見るが好い。西洋殊に獨逸では、近來學者が骨折つて此關係の調査をして居る。今其の二三の例を擧ぐれば、或時一九〇七年^{デニスブル}の裁判所で二人の年若き追剝が、六年の禁錮に處せられたことがある。而して此二人が追剝となつた動機は、全く俗悪小説の耽讀にあつた。彼等は其讀んだ小説の筋通り、埃太利の山中に入つて山賊の團體を作らうと企て、其軍用金を調達せ

* Dülsburg.

んが爲に短剣とピストルとを用意して、伯林より來る急行列車の一等室に侵入し、乗客の一人に向つて型通りの襲撃を加へたのであつた。又或時(一九〇八年)伯林で十歳より十四歳迄の悪少年二十六人の一團が、竊盜罪並に侵入罪にて法廷に引致せられた事がある。これも亦ニック・カーター本によつて誘惑されて、其中にある盜賊の團體其儘のものを作つて、之をシライヘンデル・フックス即ち忍び歩く狐と名付けた。此忍び歩く狐なる團體の目的は、伯林及び其附近に於て盛んに盜賊を働くのであつて、團體には一人の首領があり、團員は孰れも此首領に對して忠實と絶對的服従とを誓はねばならぬ。竊盜の方法は、團員を小人数に分ちて、小店の店頭にある金箱を荒し、又は學校往復の女學生の財囊を掠奪する等で、獲物は之を伯林の南方にある練兵場の傍を通ずる下水溝の中に構へた本部に運搬して、此處で各自が之を相當に分配するのである。又此處の外、便宜其盜品を隠し置く爲に諸方の往來稀なる道路の傍にある穴などを利用して居つた。然るに或時此仲間の人人が例の小賣店を荒す際警察の手に捕へられて、右の次第を白狀に及んだのである。此等の少年中には當初は性行も善く、將來の望を有つたものもあり、尙其中に

は立派な家庭に屬するものもあつたといふことである。尙一二の例を擧ぐれば、^{*}パウチンに於て十六歳の下女が、主人の小兒を殺して六年の禁錮に處せられた事があるが、これも俗悪小説を讀んで、其中にある通りの眞似をして見たくなつて、茲に至つたといふ事である。最後に最も殘酷なる一例を擧ぐれば、處はケルンで、或時(一九〇八年)此處の公園の森に九歳の小兒が麻繩にて絞られ、樹の枝より吊下げられ、しかも散々に切り刻まれて居たのを見出したことがあつた。搜索の結果、滿十五歳の少年が其下手人として捕縛された。此少年は相當の家庭に育つたものであるが、其法廷に於ける白狀によれば、ある時強盜小説を讀んで大に之に感動し、自分も亦強盜の首領になり度いとを考を起した。それに就いては仕事の邪魔を打拂ふといふことが第一の方法であるから、其方法に就いて考へて居つた處が、不圖或小説の表紙の畫で、麻繩で輪を作り、之を人の首に投掛けて、絞め殺す處を見て、これこそ善い方法だと信じ、一度之を實地に試みようと思つて居た矢先に右の小兒に出逢つたから、之を試験の犠牲に供したのであると白狀した。かくて此少年は裁判の結果十二箇年の重禁錮に處せられた。又これは獨逸の事ではなく、瑞西の

ベルン市の例であるが、此處に十七歳許りの少女であつて、いつも二人の青年を交互に連れて寄席の見物に来るものがあつた。如何う云ふ事情かと警官が聴質して見たら、少女は一人は自分の未來の夫で、他の一人は唯好きな人と云ふ丈で、他日家を持つた後の自分の友人にする筈であると答へて、尙自分が此考を起したのは或流行の裏店小説を讀んだ結果だと説明したと云ふ事である。

其他俗悪文學の悪影響を受けて放火犯を犯すものも非常に多い。また此悪影響に基く詐欺取財、恐喝取財等も亦甚だ多く、殆んど毎日の新聞に其記事が絶えない程である。最後に最も注意すべきは、俗悪文學の悪影響から來る青年の自殺である。青年、就中學生の自殺は今日歐洲諸國でも教育界の一問題になつて居る。落第が原因で學生が行衛を晦まし、ピストル自殺を行ふことが頻繁である。此外に俗悪文學に基く自殺も少く無いやうである。或時ある洗濯屋で十七歳の洗濯女が其部屋で死んで居たので、早速檢證に掛つたが、如何うも其死因が分らない。不圖見ると、室に備附の瓦斯栓が捻放してあつたので、始めて瓦斯中毒で死んだことが明かになつた。さて此女は平常俗悪文學を耽讀して、度々其友達に向つて、自

分も死ぬ時には、小説に書いてある様な美しい死態をして見度いものだと言つて居たさうであるから、多分この平常の希望を達する爲に、こんな最期を遂げたものであらうとのことであつた。歐洲でも小説が自殺を奨励することは昔から其例のあることである。ゲーテのウエルテルが世に公にせられて以來、自殺の數が増したといふことは名高い話である。それは兎も角も、近時俗悪小説の流行に伴うて、特に青年の自殺が多くなつた傾向は確かに見ゆる。以上に引いたもの、如きは勿論其一例に過ぎないのである。

俗悪文學に投ぜらるゝ凡その金額

又、此俗悪文學購讀の爲に投ぜらるゝ費用も、前に述べた觸賣の數などから大抵は想像し得るが、併し右の數は既に十八年以前の調査に係るものであるから、今日には悉く適用する事は出來ぬ。最近の調査に依ると、約八千の俗悪文學の獨立營業者と、約三千の觸賣人が獨逸だけに——前のは塊太利をも含んでの計算——あるだらうといふ事である。尙此外に煙草屋、文房具屋等でも盛んに俗悪文學を賣捌いて居る。右の營業者の或者の如きは、二十五箇の速刷機の大きなものを備附

けて尙急ぎの注文に應じ兼ねるといふ盛況にあることを聞いた。元來ニックカーター本といふのは、一冊僅か十ペニヒ乃至二十ペニヒの價のものであるが、其賣上部數が非常に莫大であるから、獨逸全國を通じたら、少くとも五千萬マークは俗悪文學の爲に空しく消費されて居るであらうといふ事である。併し或人の説によれば、この五六年以來俗悪文學の攻撃が頗る盛んであるから、今日は減じて三千萬マーク位になつたらうといふことであるが、孰れにしても、勤儉無雙で、且詩人と哲學者の國として聞ゆる獨逸の國民たるものが、かかる俗悪文學の爲に右の如き巨額の浪費をなすといふことは、實に意外な現象といはねばならぬ。今日俗悪文學が獨逸國民の重大問題となつたのも誠に故ある事と思ふ。

俗悪文學に對する獨逸の輿論

それで、獨逸では今日は多數の新聞紙が率先して盛んに俗悪文學の攻撃をやつて居る。獨逸にも必ずしも惡徳新聞が無いでもない。併し我國にあるやうなものとは無論ない。偶に人身攻撃をする新聞紙があつても、我國のものゝやうに人の秘密を討いて醜惡の文字を列ぬるやうなことはしない。それでも世人はこれを

*ピストル新聞紙と名付けて非常に嫌惡する。随つて其賣高も極めて少い。概していへば獨逸の新聞、否な歐洲の新聞紙は皆俗悪文學を敵としてゐる。自分の讀者を茶毒して之を自分の領分から奪去るものとして攻撃するのである。

新聞紙が攻撃する許りではない帝國議會でも問題になつた。一九〇九年三月の帝國議會には、最も有力なる中央黨から俗悪文學取締に關する建議が出た。同黨の名士レーレンといふ代議士其理由を説明して結局政府は宜しく國際的協商に依つて風俗紊亂の虞ある文書及び繪畫の製作並に頒布を防遏するに必要なる手段を講ぜられたしとの意味の決議をした。此外にも是より先一九〇四年ケルンに於て俗悪文學の取締に關する列國會議があつて各方面を代表せる幾多の名士が交も其弊害の甚い次第を説いて大に世人の注意を促したことがあつた。かくの如くにして今日では獨逸では此俗悪文學の撲滅を目的とする多數の協會が出来て筆に口に熱心に其目的の貫徹を圖つて居る。併し此目的を遺憾なく貫徹するには到底其國限りでは駄目である。前の帝國議會の建議のやうに是非これを國際的に取締らねばならぬ。甲の國で嚴重に取締つても乙の國で之を放任し

ては、甲から乙へどし／＼密輸入を遣る。何れの國の刑法でも大概風俗壞亂の行爲を罰して居るも、刑法は元より國內法であつて、國內で犯した罪を罰するのみであるから、外國で拵へたものは如何うする事も出来ない。製作者が分つて居ても、これが他國に居れば之を呼出して處罰する譯にも行かない。それで俗惡文學の根絶を圖らんと欲すれば、如何うしても其問題を國際的にする必要がある。尙この必要ある次第を更に事實に就いて説明すれば、左の如くである。

俗惡文學の國際的傳播の狀況

ニック・カーター本の製造元は亞米利加で、こゝから獨逸に輸入せられたるものである。而して其中には獨逸の書肆が其翻譯權を得んが爲に、版元に多額の費用を支拂ひつゝあるものも少く無い。ニック・カーター本が亞米利加の本國に於て非常に流行するは勿論であるが、それが遙に海を越えて獨逸に入り、こゝで以て青年の精神を荒しつゝあることも亦非常である。併し獨逸も亦亞米利加に劣らず悪いことをして居る。獨逸は昔に亞米利加の受賣をするのみならず、自分獨特の俗惡文學を製作し、之を輸出して、盛んに歐洲諸國を荒して居る。バルカン半島スカン

デナビヤ諸國は最も善き獨逸の得意先である。獨逸の國內に於て既に各國の言葉で書いた俗惡文學を容易に手に入れることが出来る。これは獨逸に於て各國輸出向きの各種の俗惡文學を製作して居る證據である。佛國も俗惡文學の製作では名高いが、今日では獨逸の方がそれよりも盛んになつて居る。獨逸は貿易品に關しても、何んでも賣れさへすればよいといふ主義で遣る様に、文學上でも同じ流儀で以て遣つて居るのである。これに付いて一寸面白い話がある。一二年前に那威と丁抹との間に國際問題が起つたことがある。那威では俗惡文學が非常に流行し始めたので、之を調査して見た處が、これは主として丁抹より輸入せられ、而も其年額が凡そ百萬マークに上るといふので、那威の有志は之を防ぐには輸入税を課するに如くは無いと考へて、此目的を達する爲に同國の書籍商活版所等に相談し、尙其上に文部省——同國では實は教部省——の援助を求むることにした。然るに同國駐在の丁抹公使は此運動を耳にして、本國の外務省に向つて注意を與へた。すると、コーペンハーゲンの外務省では更に此事をそこの書籍商組合に移牒に及んだ處、組合では早速熱心なる調査を遂げたが、其結果は案外にも那威で問

題になつた書物は、獨逸の製造に係るものが其大部分であつて、丁抹は唯其幾分の取次をするに過ぎず、而かも其金額も那威で云ふ程の多額ではないといふことが分つた。斯の如く獨逸といふ處は、實に俗悪文學の一大製造元である。加之この國では其外にも風俗壞亂の繪端書や圖畫類を夥しく製作する。一九〇七年に普魯西の國會の際に提出された其筋の報告によれば、かゝる目的の爲に設立せられた出版所が五十二もあつて、其廣告料ばかりでも年々五十萬マーク以上を費して居るといふことであつた。又其際に於ける或代議士の演説によれば、佛蘭西や伊太利に於て賣捌いて居る風俗壞亂の繪端書、圖畫の類は、其過半数は獨逸にて製作せらるゝものであると云ふことであつたが、實に獨逸の繪端書は歐洲諸國到る處に普及して居る。英吉利で買ふ繪端書でも能く見ると、多くはドレスデン當りで作つたものである。例の獨逸式で、廉くて而も比較的上手に拵へるのであるから、廣く世に流布する譯であらう。

瑞典でも那威と略相似た議論がある。此國でも俗悪文學の跋扈には頗る閉口して居る。此國の有志も亦俗悪文學は輸入品が多いから、之を防ぐには輸入税を

引上ぐるか、又は絶対に其輸入を禁止するより外に、途は無いと論じて居る。同國の書籍組合の意見も、大概この手段を執る事に一致して居るやうである。尤も此意見に反對する議論もある。それに依ると、この手段を執ると輸入を防ぐことは出来ても、其代りに國內に於て俗悪文學を出版することになるから、結局は同じこととなる。それよりも寧ろ國民の輿論に訴へて、道德的制裁を加ふるが可いとの説である。孰れにしても、此國でも俗悪文學の取締に就いては、國際的方法に依るの必要を認めて居るのは事實である。それから又近來は俗悪文學を外交上の手段に利用することも行はれて來た。例へばコンゴの逆殺事件をニク・カーター本に書いて——勿論事實を誇張して——大に世人の反感を鼓吹したことがある。これは或英吉利の政黨から資金を出して、其仕事を助けたものであるさうである。是は一例であるが、其他にも多く此類の悪戯が行はれるさうである。

俗悪文學の國際的取締及び佛蘭西の新取締法

かゝる次第であるから、俗悪文學を國際的に取締るの必要あることは、今日では殆んど各國の輿論になつて、其結果遂に一九一〇年五月巴里に於て之が取締に關

する協商が列國の代表者に由つて調印された。今此協商の要旨を述べれば、協商列國は此協商に據りて新に之が取締に關する一の官衙を設くることとなつた。而して此官衙は外務省を經る普通の手續に依らず、直接に協商國の類似な官衙と交渉を爲すことを得る權限を有するものである。これは言ふ迄もなく事の性質が急速を要するからである。それから此官衙の爲すべき仕事は如何といふに、(一) 協商列國が其の國法に於て猥褻なる文書、圖畫、形象、又は物品に關して規定せる法條に違反して、而かも其性質が國際的である行爲を採知し、並に取締るに便なる報告を蒐集する事。(二) 前記の著作、又は物品の輸入を防制し、及び之を國內に於て確實に、又迅速に差押ふるに便なる報告を爲す事。(三) 此協商の目的たる俗惡文學の取締に關して既に發布し、又は將來に發布する法律を通知する事。先づこんなものである。此協商に基いて一九一一年九月獨逸に於ては各聯邦同意の上、獨逸全國を代表する右の官衙として、普魯西の伯林の警視廳を指定して、之を猥褻形象及び文書中央取締所と名付けた。扱こゝに申して置きたい事は前の協商調印後ではあるが、まだ此中央取締所の出來ない時に、即ち一九一〇年の夏頃に獨逸と佛蘭

* Belfort.

西との間に俗惡文學の事に關して國際的問題を惹起した事がある。それは或時佛蘭西の一書籍商が、同國領のベルフォール市に居る獨逸の學生間に俗惡文學を賣廣めんと企てた時、獨逸の新聞は非常に之を攻撃した處が、右の書籍商は反對に新聞社に對して營業妨害の廉を以て起訴するぞと威嚇した。この事が獨逸政府の耳に入り、獨逸政府では其外務省をして佛蘭西政府に警告せしめた。此書籍商の行爲に對しては、佛蘭西政府に於て宜しく其國法に依つて、相當の制裁を加ふべきものであらうと警告せしめた。而して此警告は佛蘭西政府の顧る所となつて、無事に落着いたのである。此一例は假令右の如き協商がなくても、俗惡文學の取締を、或程度までは外交手段で以て行ふことが出来る證據になるが、併しこれでは固より十分でない。十分に俗惡文學の取締を爲すには、歐洲目下の形勢では是非とも右の如き列國の協商が必要である。事に依つては、我國にもかゝる協商に加入する必要が起るかも知れない。それから茲に序に申して置きたいことがある。それは佛蘭西では一九一〇年の末に俗惡文學防遏に關する列國會議——此會議は一九〇八年巴里に於て開かれた——の決議に基いて、一の法律案を其議院に提

出、した事である。此法律案は同國在來の刑法に規定しないものを包含するもので、それに依ると總て文書、圖畫の販賣頒布等に依つて風俗を害するものは勿論、風俗を害する文書、圖畫を自國に輸入し、又は之を仲買して他國に供給し、及び公の唱謠又は新聞の廣告に依つて風俗を害するものは一箇月以上二箇年以内の禁錮並に五百フラン乃至五千フランの罰金に處することになつて居る。それから是より先きに一九〇九年瑞西に於てもバーゼル外一二のカントン(州)では俗惡文學取締の目的を以て、其刑法に多少の改正を加へたこともある。次の獨逸の刑法改正などの事を考へ合せて見れば、それで以て歐洲諸國が一般に凡そ俗惡文學に關して如何なる考へを持つて居るか、分かるであらうと思ふ。

俗惡文學の國內的取締 立法手段

國際的取締固より重要であるが、更に重要なるは國內に於ける取締である。而して國內に於て俗惡文學の發生と流布とを防遏すべき方法は固より種々あるであらうが、先づ第一に數ふべきものは立法手段であらう。獨逸に於ては現行の刑法及び營業法即ちゲウエルベオルドスングは之に就いて多少の取締をして居る。

刑法に於ては、第八十四條に次の行爲をなす者は一箇年迄の禁錮及び一千マール迄の罰金又は此罰の孰れかの一に處すと規定してある。即ち第一に猥褻なる文書、圖畫等を公衆の前に於て販賣し、分配し、展覽し、或は普及せしむる目的にて貯置き、又は廣告する等のもの。第二に以上の如きものを十六歳未満のものに賣渡したるもの。第三に猥褻なる事に使用するものを前同様公衆に示し、又は販賣するもの等である。又營業法第四十二條A及び第五十六條には、風俗上宜しからざるものは販賣す可からず、若し之を犯す時は百五十マールの罰金又は四週間迄の拘留に處すといふ規定もある。我國の刑法にも猥褻罪に關する規定があつて、其第七十五條で、猥褻の文書、圖畫を頒布販賣したるものは、五百圓以下の罰金又は科料に處することとなつて居るが、之を獨逸の規定に比ぶると、禁錮の刑もなく、其他一體に餘程寛である。然るに獨逸では、現在の規定を以て、寛大に過ぐるもの、となし、尙一層之を峻嚴にした、いと希望して、其議論が中々八かましいのである。そこで獨逸政府でも世論に願みて、既に刑法の改正を企て、其草案には前の罰則の如きも一年を二年に、一千マールを二千マールに改めて、頗る其制裁を強めて居る。

尙之に關する獨逸の輿論の一斑を窺ふに足る料として述ぶべきは、一九〇八年ハンブルグの議會は、ドクトル・メッケベルク氏の提議によりて、右に述べたる刑法及び營業法の俗惡文學取締に關係ある箇條を改正擴充する事を議決して、この旨を獨逸帝國政府に要求せしめた事がある。又其翌年のサクセンの議會も俗惡文學排斥を目的とする二三の團體より請願書を受取り、此請願書の討議の際には、關係議員に於て現行法の不完全なることを認めたるのみならず、列席の文部、内務の政府委員よりも俗惡文學の取締に關しては、請願書と同意見にして、政府も夙に此事に注意を拂ひ居る旨を明言した事もある。

ミュンヘンの實例

尙こゝに獨逸の現行法の範圍内に於て俗惡文學の甚しきものを、如何に取締り得るかを一の事實に依つて示せば、其先例を示したものは一九〇八年ミュンヘンに起つた裁判事件の落着である。此處で或書籍商が例の俗惡文學の甚しいのを店頭(1)に陳列したのを見て、警察で以て陪審裁判所に告發した處が、陪審裁判所では之を有罪と判決した。而して其理由とする所は、此行爲は公の秩序を害するといふ

にあつた。然るに其上告を受けた刑事裁判所にては、此判決を取消して無罪を言渡したので、遂に最上地方裁判所(即ち控訴院)の裁判を願ふことになつた。最上地方裁判所では、却つて第一審の陪審裁判所の判決を是認して、第二審の判決を理由なきものとして破棄した。而して其理由といふのは、刑事裁判所では公の秩序を害するといふことを、單に公の靜謐と安寧とに限るやうに解釋するも、これは誤解である。公の秩序を害するといふことは、街頭に於ける道德的品位(1)、即ち廣くいへば公共の品位の傷つけられ、又危くせらるゝ事も包含するので、必ずしも公の靜謐(2)と安寧とを害する行爲のみを指していふのではない。そこでかゝる陳列品を見て、通行者が自己の道德上の感情を害せられたことに就いて、何等の表示をなさずとも、既に公の秩序を害するといふ事實は成立つて居るのである。先づこんなやうなものであつた。この判決の理由に依ると、俗惡文學は必ずしも前の猥褻といふ點ばかりでなく、また公の秩序を害するといふ點からも制裁を加へ得らるゝ譯で、頗る廣い意味で取締りが出来る結果になるのである。そこで、此判決は、俗惡文學の取締に關して、餘程有力なる聲援を與へたといふことである。又實際に於

ける現行法規の適用の手心は如何うであるかといふに、之は概して頗る嚴重に行つて居るやうである。カッセルで或る本屋が猥褻なる文書と寫眞を賣捌いた廉で、裁判所の判決を受けたことがあるが、一九一〇年それに依ると本人は一年の禁錮、二百マークの罰金、五年間の公權喪失と警察監視との申渡を受け、又本人を幫助したる寫眞師外一人も亦九箇月の禁錮、二百マークの罰金、五年間の公權喪失と警察監視とに處せられた。即ち現行法を極度まで嚴重に適用した判決である。これ、以て略裁判官の方の、俗悪文學に關する見解の程も、推知するに足らうと思ふ。

行政手段に依る取締

併し獨逸の今日の實際では、俗悪文學の取締は右の法律の制裁に依らず、多くは行政上の手段に依つて遣つて居る。今日の獨逸の聯邦政府に於ては、殆んど凡て訓令又は省令の形式に於て何等かの取締をして居らぬものは無い。其一例を挙げれば、普魯西の文部省に於ては、一九一〇年に各州の學務局に對して、殊に師範學校の視察に就いては、其生徒の讀物に注意し、尙卒業後教員として、俗悪文學の排斥に勉めしむる爲に、第三年生には、現時流行の俗悪文學の性質及び危險を覺らしめ、

之に代はる可き善良なる青年の讀物に如何なるものがあるかを知らしむべし、殊に此事の指導は學校長自ら其任に當る様にすることが可い。尙師範學校のみならず、中學校長圖書館長にも注意して、其書物の選擇は勿論、俗悪文學の流布を防遏する事に勉めさせ様にし度いと訓示した。又バイエルンの文部省では、一九〇八年に地方官に對して、俗悪文學は勿論、繪端書、圖畫の醜惡なるもの、取締に關して、學校監督の任に當るものは、其所管内にある生徒の出入する書肆、文房具屋等にして、此種のもの販賣するものには、成るべく注意を與へ、之を店頭から取去らしめ、若し聞かざる場合には、生徒の訓育上必要なればとて、爾來其商店からは、學用品を買はしめぬ様にし、尙必要な場合には、警察官と打合せの上適當の手段を取るが可いと注意した。かゝる例は其他の國々にも尙多い。それから尙一つ少し毛色の變つた例を挙げれば、一九〇九年に、バンブルグの警察署では、街頭の新聞賣に對して、警察で禁制した書籍を販賣する場合には營業の許可を取消すといふことにして、右の新聞賣には禁制した書籍雜誌類の目録を作つて配布した處が、之は頗る好成績であつたといふことである。これ迄の實驗、殊にウエルテンブルグの内務省が

補習學校や中學校に就いて爲した調査によれば、俗悪文學の普及は主として他から之を見せ付けられて、ツイ買ふ氣になつたといふのが其原因であるから、ハンブルグの右の遣方は則ち此機會を少くする所以で、其好成績であつたのも尤な次第である。此外、フレンスブルグでは見本函の備附は警察の許可を受けさせることにして、若し怪しいと見れば其中に俗悪文學があらうがあるまいが、構はず之を取拂はすることにして居る。これらは随分極端な取締法である。

市の俗悪文學取締に關する方法

其他獨逸の各市にては、近年殆んど凡て何等かの形に於て此取締の方法を立てて居る。これもハンブルグの例であるが——ハンブルグは此點に於ては實に模範的の仕事を行なして居る——この議會では嘗て斯ういふ事を議決して居る。即ちハンブルグの教育局に於ては、第一、毎年俗悪文學に關する懇切なる注意書を、凡ての生徒を経て其父母に手渡しさせる事、第二、ハンブルグに於ては従前よりは一層多く生徒用の圖書館を設置する事、第三、ハンブルグの總ての生徒には少くとも年一度青年の讀物、其他善良なる書物を分與する事、第四、労働者並に其家族の爲

に日曜講演を行ふハンブルグの青年讀物選擇委員には、學校の講堂を出来る丈廉價、又は無代にて使用せしむる事。こんな事を議決して居る。右の様な鹽梅に、今日は獨逸の市に於ては何處でも俗悪文學に關して何等かの取締をして居る。一九一〇年に開かれた獨逸の市長會議に、其議長から各市の此事に關する取締の状況を問うた處が、其結果は何れの市でも一方には兒童の俗悪文學に近づくを戒め、或は俗悪文學其物の販賣を禁止し、他方には善良にして廉價なる書籍を播布し、之に依つて俗悪文學の撲滅を圖り居るといふことが分つた。之に比較して見ると、我東京市を始め其他の市の議員等が、學校内の事には注意を拂ふものも、學校以外に流布する俗悪文學其他社會的悪影響に對しては、一切冷淡を極めて居るのは如何にも見劣りがするやうに思はる。

俗悪文學取締に關する地方委員

又俗悪文學防遏の機關として、市に於て特に之に關する地方委員を設けて居る處がある。此委員は市會議員の外に、あらゆる方面の人、就中小學校及び中學校の教員、労働者組合、教育會等の代表者、其他郵便電信等に關する官吏より組織されて

居る。此種の委員は今日は次第に各所に普及せんとする勢であるが、就中ゲッテンゲン、及びリュベック市に於ては此委員の成績が頗る見るべきものがあるといふことである。此外ボンでは警察の方で俗悪文學を賣捌く者の内に入入する學校生徒の姓名を取調べ置いて之を其父母又は關係學校の教員に内報することにして大に好成績を收めたといふこともある。併し此ボンといふ處は元來小さな都會である上に、俗悪文學を商賣にする家も唯二軒の外はないのであるから、右の方法も善く實行された次第であらうと思ふから、此方法は固より之を一般に其實行を勸むる譯には行かまい。

父兄への注意

それから一般の人、就中生徒の父兄に此俗悪文學の弊害を覺らしむる方法に就ても力を致して居る。前にも申した通り、ハンブルグの議會では此事をも議決して、其地の小學校教員組合に於ては俗悪文學の懼る可き事及び之が如何に巧妙に世人の目を盗みつゝ頒布され居るかを詳細に記して之を市の教育局の手を経て各學校に配布し、各學校は更に之を生徒をして其父兄に手渡さしめ、然る後生徒を

して其父兄が此注意書を読んで何と言つたかを如實に書き出さしめた。而して其結果は如何であつたかといふに、生徒の書き出した處によると、一般に父兄は此注意書に對して非常に満足の意を表し、十分學校の注意を遵奉す可き旨を述べた。中には頗る奇抜なるものも少くなかつた。其最も面白いものゝ一つを云へば、或父の如きは、其子に對つて、以來若しニック・カーター本を読み、父の止むるを聴かざる場合には其耳を切る可し、若しそれでも尙止めざるに於ては其身を火中に投ず可しと威嚇した旨を書き出したものもあつたさうである。中には此事を警察で遣つて居る處もある。例へば、アーヘンの如きは警察署から生徒の父母に對して俗悪文學の恐るべき事を懇諭し居るが、此方が教員の方から戒むるよりか遙に多くの利き目があるといふ、一部の人の觀察である。

又バンカウ市に於ては生徒の手を経ずして、直接に市の教育局から生徒の父兄に對して俗悪文學に關する注意書を配布し、同時に善良なる少年讀物の目錄をも添へて送附した。加之之と同時に、其土地の書肆、文房具屋等に廻狀を廻はして、俗悪文學を一切店頭から除き去られ度しと相談に及んだ。然るに此事は非常に有

效であつて、幾もなくして俗悪文學は此土地の店頭から其跡を絶つに至つたといふことである。此方法は一般に世上に好評を博し、普魯西の文部省に於ても前に述べた訓示を出す前年に各地方に向つて、此バンクカウの例を擧げて之に倣うては如何うかと注意したほどである。

通俗圖書館の設立

其他の俗悪文學の防遏手段としては、通俗圖書館、兒童閱覽室等を設け、之に一般人民の教育、並に年齢に相當する善良なる圖書を多く備附することの如きも、亦必要なるものである。現にハンブルグの「獨逸詩人記念會」の如きは此目的を達する爲に頗る廣汎なる事業をなして居る。例へば普通通俗圖書館の外、兵營、軍艦、病院、消防船乃至燈臺等にまで善良なる圖書を供給して居る。其他獨逸に於ては此事業は今日は益々隆盛を極めて居るが、之を委しく述ぶるのは本問題外であるから、茲には之を言はぬ。が併し、識者は之を米國等に比較して、尙大に不満に思つて居る。今日の獨逸のやうに、例へば十萬乃至五十萬の人口を有する市に於て僅かに一の圖書館あるのみでは、所詮實用に適せぬ。大きな市に於ては、其一區毎に警察署、税

- (1) Natur und Geist.
- (2) Wissenschaft und Bildung.
- (3) Sammlung Göschen.

務署、身分登記所等のあるやうに、少くとも二萬乃至三萬人に對して、一の圖書館がなくしてはならぬ。元來何人に限らず、八時間乃至十時間の仕事をした後、尙二三十分以上の道を歩いて圖書館通ひをするのは、決して容易の事でない。それで若し各區一つ宛の圖書館の設立を許さざる事情あらば、責めて分館でも設けるがよい。若し又之も叶はずば、到る處に私人の店舗、又は公共の建物等に圖書貸出所を設置するのの一の方法であらう。と論ずる人もあつて、之が追々と實行されて來つゝある。

良書の廉價出版

俗悪文學防遏の手段は尙他にもある。良書を廉價にて出版する事は、即ちそれである。之は我國にも知れて居る彼のレクラム出版の叢書の外に、今日に於ては多くのものが出版されてゐる。「自然界及び精神界」學術及び教育「叢書」グッセン等は最も有名である。其他前の「獨逸詩人記念會」や其他獨逸以外の瑞西のバーゼル、ベルン及びチーリヒ、ペーメンのブラーグ等に於ける良書の出版を目的とする諸會からも、今は續々廉價で且善良な書籍を出版してゐる。中には俗悪文學は總て

表装が粗末であるから、ソザト表装を醜くして、中味の善い讀物の普及を謀らうと企てた者もあつたが、之は結局成功しなかつたといふことである。其他小説を載せるのみでなく、趣味ある旅行記等を載せた通俗の雑誌を發行して、極めて廉價で販賣する等の事も諸所で企てられて居る。加之、書籍商自らも亦進んで俗悪文學排斥を爲すのである。獨逸では眞面目な書籍商は其體面上如何うしても、俗悪文學などは出版が出来ない。それでこれは前に申すやうに、重に觸賣人に依つて賣捌かるるのである。かくして此觸賣人は則ち眞面目な書籍商の當の敵になる譯である。而して之も前に言つた新聞紙の事と同じく、我國の事情と異つて、彼國で俗悪文學の防遏の爲に極めて都合の好いところである。

俗悪文學に對するポイコツト

俗悪文學に對するポイコツトも亦防遏手段としては有かなものである。嘗てバイエルンに於て之を試みた事があつた。バイエルンの文部省で俗悪文學の取締に關して訓令を發した事は、既に述べた通りである。又ダッチンゲンでは豫てより俗悪文學取締委員を設けて居つたが、一九〇九年に同地知名の有志多數連署して

一の公開狀を發表した。其要旨は、連署者は警察に於て街頭の賣捌を禁じた印刷物、圖書、繪端書、諷刺本を取扱はない店に於てのみ買入を爲す事を互に約束したといふことであつた。而して其成績は非常に好く、幾もなく俗悪文學は同地の總ての店頭から一掃されて仕舞つたといふことである。此外にも市の學務委員等で俗悪文學の商人に戒告して其賣捌を止めさせ、特に小商人からは賣残りの本を買上げて遣つた處もある。伯林でもブランデンベルグ州の學務局の同意を得て、俗悪文學を賣捌く聞えある商店からは、生徒に物を買はせぬやうにして居る。尙此處では「獨逸道德協會」といふ會から、二三年前に伯林及び其附近の都會に散在する九百の商店に向つて、俗悪文學の賣捌きを廢止せんことを相談に及んだ處が、其中の百だけは既に此相談に應じて、俗悪文學の代りに同協會の推薦に係る善良なる圖書を賣ることに改めたといふことである。又ミンヘンでは市有の土地建物等を新聞賣捌人等に賃貸しする場合には、必ず俗悪文學を賣らぬ、若し賣つたなら違約金を出すといふ條件の下に貸すことに定めて居る。要するに前に申した様に今日は孰れの市でも俗悪文學に關して何等かの取締をなして居るが、市の力で以

て直接に最も厳しく取締を爲して居るのは、右のミンヘンの外フランクフルト・アム・マインとセムニツとモ一つは伯林の隣りのシェーネベルヒである。このシェーネベルヒでは最近に活動寫眞の興行にも殆んど禁止的にウント重税を課した程である。それから一般に此取締の善く行届いて居るのは、これも前に言つたハンブルグである。此處では、社會黨までが盛んに俗悪文學の征伐をやつて居る。一九一〇年に其第二選舉區の黨員總會を開いた際に、其議決の一として、俗悪文學は非常に悪い影響を與ふるに因つて、本區の黨員は俗悪文學を賣捌く店よりは一切買物を爲さぬことを約束す。といふ宣言を發表した。總て獨逸の社會黨は我國民の想像するやうに、國民の風紀等は如何うでもよいといふ破壊的のものではない。風紀の維持は勿論、趣味の向上等には特に力を用ひて、下層社會の品位を成るだけ高めんことを務めて居るのである。

俗悪文學取締に關する反對意見

以上の如き取締は固より一般に識者の間には大に歡迎されて居るのみならず、商賣人自からも進んで自己の店頭から此俗悪文學を取去つて仕舞ふといふ運動

をして居る處も少くない。例へばハンブルグの新聞賣捌業組合の如き、スツットガルトの紙商組合の如き、其他各煙草商組合の如き、其例が澤山にある。併し又右の營業者の側から多少の反對がないでもない。例へばシェーネベルヒの右の營業者——多くは紙商——は自分等は學務委員の注意に従つて俗悪文學の販賣を廢めるが、併し若し自分達が廢めたなら、此營業は必ず石鹼商や煙草商が代つてする事になる。此取締は如何うする積りであるか。又實際謂ゆる俗悪文學を購讀する者は十人の八人までは大人であつて、少年は却つて少い。そこで學務委員は自分達を没良心の商賣人などいふが、之は失敬だ、かゝる侮辱の言葉は自分達が俗悪文學の販賣を廢める前に取消して貰はなければならぬ。と力んだこともある。俗悪文學の購讀者の八割が大人であるといふことは實際の事情で、こんな商賣をする商店には多くは大きな紙屑籠が備へてある。ニクカト本の購讀者は其表紙を剥取つて此中に投入れ、何んだが分らないやうにして、電車の中などで澄まして讀んで居る。何處も同じことで、子供ばかり責めて居る間に、案外大人の悪いことをして居ることを發見するものである。それから警察で以つて文學の取締を

爲すと、玉石俱に焚くといふ過があつて、文學の發達を阻害する弊害が少くないと論ずる人もある。併しライプチヒ大學教授のヨハンネス・フォルケルト(1)この人は、美學的時事問題其他多數の著書があつて此方にかけてはオーソリチーである。——の如きは、馬鹿氣た警察の禁止で藝術の發達を害することもあるが、此弊害は之を無益な文學上の濫作が道德を荒廢する弊害の甚しきに比ぶると、誠に言ふに足らぬものである。と、斯う論じて居る。

ボイコットに關する法律問題

又ボイコット就中、教員側のボイコットに就いても頗る反對がある。コトブースといふ處の出來事であるが、或時同地の教員等が生徒の俗惡文學を買ふことを戒め、且俗惡文學攻撃の論文を土地の新聞紙に出した處が、之が大に營業者の癪に障つたと見えて、其後或營業者の店頭に「法庭便り」と題する一本を出した。其中には或學校長が横領罪で處刑された筋を書いたものである。此本の餘白に店の主人は色インキで、破廉恥罪を犯した廉で某々の教員は三年の懲役、某々の教員は死刑を宣告されたと書添へた。これが其處の評判となつて、警察署でも棄置けず、主人を

喚んで其理由を聞いて見ると、主人は自分の營業の妨害をする教員社會の真相の如何なるものであるかを世人に知らせんが爲に右の次第に及んだのだと答へた。そこでこの事は遂に裁判所に持出されて、主人は教員社會を侮辱したといふ廉で五百マールの罰金に處せられた。以上はボイコットに關する營業者側の反抗の一例であるが、ボイコットに就いては、尙法律上の疑問も残つて居る。ボイコットに對しては營業者側から損害賠償の訴訟を起すことが出來はしないか。之も一時は問題となつたが、併し今日では法律上それは出來ないといふことに決定したさうである。獨逸民法の第八二三條一項に依ると、人の生命財産等を損害したるものは其賠償の責に任ずべきことになつて居るが、併しそれには損害を與ふる行爲が「不法でなければならぬ。正當なる行爲で損害を惹起した場合には、この法條は適用されぬ。然らば前に述べたやうなボイコットは不法の行爲であるか、如何うかといふに、これは高等行政裁判所の判決に依ると、不法の行爲ではないといふことになつて居る。此判決によると、學校の訓練といふ事の中には、教育の權利といふものを包含して居る。即ち教員は教授時間以外並に教室以外に於ても亦、生徒の道

德上の行狀を監視する權能を有つて居る。そこで前に申すやうなポイコトを爲すのは、教員としては其主たる義務の一を盡す譯で、決して不法の行爲ではない、随つて之に對して損害賠償の責任などある筈のものではないのである。好し營業者の側から普通の裁判所に損害賠償の訴訟を起しても、教員の方からは之に對して其監督行政廳をして權限上の爭議を提起させる事が出来る。語を換へて言へば、普通の裁判所では教員のかゝる處置に對して判決を下すの權限はないから、教員は安心して此ポイコトを行つて宜いのである。

俗惡文學展覽會

最後にモ一つ俗惡文學排斥の一手段とも見る可きものを擧ぐれば、元來俗惡文學の如何なるものなるかを一般の人が知らぬからして、これが暗々に大に擴がる譯であるから、俗惡文學の如何に恐る可きものであるかを、其實物に就いて知らしむる必要があるのである。此邊の考からして、俗惡文學の展覽會といふものが開催せらるゝ事になつた。尤も此事の起りは、もと趣味養成の爲には沒趣味の厭ふべきことを深く感じさせる必要があり、而して之が爲には沒趣味を趣味と對照し

て示すが一番の捷徑であると思付て、バウル・シユルチエといふ畫家——此人は畫家としても彫刻家としても著述家としても共に世に名高い人である——が此兩者の對照展覽會を寫眞複製で企て、大に古代美術の眞價を世人に領得せしめたことがあつたのが其始めで、其外に一九〇九年ウルテンブルグの主府スツットガルトの地方實業博物館に於て、種々様々な變な不都合な沒趣味の工藝品を集めて展覽會を催して大に好結果を奏した事がある。それから此スツットガルトの例に倣つて伊太利のミラノでも同じく種々雑多な沒趣味の品物を集めて、其厭ふべく卑しむべきことを一般の人々に知らせた處、これも亦其成績は非常に良好であつたといふことである。以上の外に一九〇九年に瑞西のカントンの一であるダラルースで此國に以前からあるチーリヒ外二箇處の良書出版協會等の出版圖書の展覽會を開いて同時に俗惡文學の實例をも示した事もある。こんな消極的方法の成功した先例もあるので、一九一〇年に獨逸詩人記念會の催で、俗惡文學に關する始めての展覽會がハンブルグに於て開設せられることになつた。此展覽會は二部から成つて、第一部には俗惡文學の有りと有らゆる種類を陳列し、且之に投ぜらる

る費用並に之が原因となりて起る悪結果等を表示説明し、第二部には第一部の俗悪文學に對して善良なる各種の書籍を陳列して、其效用並に教育上に必要なる所以を述べたる説明書を添へた。處が之を觀たる人々は、今更の如く俗悪の甚しきに驚いて、深く其害毒の恐る可き物あることを悟つたのである。かゝる次第で此展覽會は大に世の好評を博して、ハンブルグよりゾレイメン、ハンノウグ、マインツ、ステッテンといふ順序で多くの獨逸の市に於て引續いて開催され、一九一一年即ち一昨年（一九一〇年）の一月四日より八日迄の間には、獨逸中央青年保護會及び其他の公益團體と聯合して帝國議會の建物の一部を借り、頗る大規模の計畫で以つて伯林に於て開催された。此展覽會は其性質上、唯特別の人へのみ入場を許したが、併し五日間の開會中非常の大入りであつて、殊に裁判官、學校教員等が最も多く參觀に來た。尙最後の日には勞働者の團體が多數つめかけたので、場内は大混雜であつた。此企に對しては、政派教派の別なく共に大に同情を寄せたので、當時伯林の一新聞は「俗悪文學に對する戦争に於ては、一の黨派なく、唯品位を重んずる紳士の聯合あるのみ」と言つた。それからといふものは此催しは世間の大評判となつて、他の市か

ら續々申込みがあつて、今日迄には既に以上に申した市の外に二三十箇所以上に開催して、到る處に好成绩を收めた。又一九一〇年から一一年にかけてドレスデンで開かれた萬國衛生博覽會でも、其青年保護部の附屬として、各種の俗悪文學を陳列して大に參觀者の注意を惹いた。此處には唯俗悪文學を陳列したばかりでなく、之を退治する方法や、退治の成績などに就いて詳しく説明を與へてあつた。特に「デューラー協會」の警告や、ドレスデンの社會問題委員の激文は、參觀者をして能く俗悪文學の危険を悟らしめたとといふ評判であつた。

結 論

以上で以つて獨逸に於ける俗悪文學の跋扈の状態と、其取締に關する立法並に行政上の手段が、略ぼ想像せらるゝであらうと思ふが、茲に一言注意して置き度いのは、前にも申したやうに、獨逸、否、歐洲諸國に於て特に取締の問題となるのは、我國に於けるが如く、男女戀愛の事に關することではなく、重に殘忍凶悪なる人心の記述を主とするものである。西洋人の眼から見れば戀愛といふ事は、人情の自然であるといふので、假令頗る軌道を外づれた事でも、案外に寛大に見通す傾きがある。

それで若し我國に於けるやうな優しい詩的戀愛なら、彼地の今日の有様では或はこんなものは少しはあつて欲しいと思ふかも知れぬ。こゝが則ち國々の事情の異なる處で、彼地で心配して居る事と、我國で心配して居る事とは、てんで根本的に違つて居るのである。併し風教に有害なる文學、則ち俗悪文學を取締るといふ形式の上に就いていへば、彼地の例は固より大に参考にならうと思ふ。況んやこの頃は例のジゴマは既に下火になつても、新聞紙の廣告などで見れば、様々なニック・カーター式の小説も追々這入つて來る勢であるから、此際彼地に於ける俗悪文學取締に關する方法の大要を心得置くことは、必ずしも無用の事ではあるまいと思ふのである。

第五 獨逸に於ける俗悪フィルム の跋扈と其取締

此文起稿の後に到着した獨逸の新聞雜誌によると、其後の活動寫眞流行は一層劇烈で、フィルム製造会社の如きも大資本のものが多數起つた。而かも當事者は到る處其弊害に堪へぬので、特に各市では競つて重い娛樂税を、持主に課して、半ば禁壓の手段に出で居る。それで活動寫眞の持主は全國に亘る連合會を開いて、之に反對を試みて居る。本年三月伯林に開かれた總會に於て其主張する所によれば、ケルン市の四つの活動寫眞館では年二十萬マーク以上の娛樂税を課せられる割合で、爲に切符が高くなつたから入場者も處によつては半數にも減じた。斯様な次第であるから總會を開くに當つて、發起人から全國の活動寫眞の持主に招待状を發した處が、百二十通も住所不明の爲に戻つて來た。此等は皆重税の負擔に堪へずして廢業したのである。又、青年入場者の年齢を獨逸の西部では十八歳迄引上げ、十八歳以上でなければ入場を許さぬといふ事迄も規定されるに至つた。此等は畢竟市當事者などが不當の處分をするのであるから、總會では市當事者に向つて税の軽減を促し、若し聽かれぬ場合には、同盟して營業を廢して了ふといふ事を議決する等、活動寫眞に關する事は斷えず問題となつて居る。又一方に於ては、活動寫眞の藝術上の價值について、之を非認せずして、寧ろ其長所を利用して、一種の藝術品を作り上げ、ふいと企てが、最近に於て起つて來た。伯林の獨逸劇

場の管理者として有名なるマックス・ラインハルト氏は目下特に活動寫真向の劇を從來の無言劇を土臺として工夫研究中であるといふ。又イブセンの遺族はフィルム會社の交渉に應じて、故人の作意を害しない範圍に於て、特別の作者をしてイブセン劇を活動寫真劇に改造する事を承知したといふ。斯様な次第であるから、程なく一種の藝術的價値を有つた活動寫真が世に行はれるに至るかも知れぬと思ふ。

活動寫眞の流行は世界の大勢である

近來歐米諸國に於ては、俗惡文學のみならず、俗惡フィルム即ちシンドフィルムの防遏に關しても議論が頗る盛んである。元來フィルムの使用は近年非常に盛況を呈し、俗惡なる方面のみならず、善良なる方面にも盛んに利用される。殊に通俗講演の如きは、活動寫眞の伴はぬものは、聽衆が之を使用するもの、半にも達しない。故に教育家も亦活動寫眞の利用を必要と認めて、近時伯林に於て「民育普及會」の催に由つて開かれた同地の小學校長會議に於ては、成る可く各小學校に活動寫眞を備附けること、若し不可能の場合には兒童を引率して時々教育的の活動寫眞を見物させる事等を、全會一致を以て決議した。斯様な次第で今日では全く活動寫眞を主とした通俗學術講演會が諸處に起り、其中でもウルテンベルグ國王を保護者

に載いてゐるウイッセン・フール・アルレ即ち總ての人の爲の知識と稱する講演會は伯林のモツアルト座を本據とし、諸名士の贊助を得て盛んに活動寫眞を利用して、各種の學術講演を開いて居る。加之活動寫眞は今芝居の背景の補助にも遣はれるやうになつて居る。

併し又活動寫眞芝居の流行するに連れて、在來の劇場は漸次衰微する有様となつた。或人の調査によれば、一九一〇年の終りの三箇月中の活動寫眞の見物は三十三萬九百二十四人であつて、一九一一年の始めの三箇月中の其れは四十四萬四千五百二人である。即ち十一萬三千五百餘人の増加である。之に反して右の二期間に於て芝居の見物は十二萬八百四十三人から、十一萬六千六百五十人に、又演奏の聽衆は十六萬三千七百七人から、十三萬六千三百十六人に減少したといふ。又維納のブルグテアターといへば歐洲で二位と下らぬ王立の劇場であるが、之さへ活動寫眞の跋扈の爲に、維持に困難を感ずるとの噂さへある程である。

且又今日では頗る名ある俳優例へば佛蘭西のサラ・ベルナルの如きでさへ、一部の非難は盛んであるに拘らず、甘んじてフィルムの種類となるやうになつた。而し

て、フィルム會社が之が爲に支拂ふ手當は驚くべき巨額に達するのである。例へば佛蘭西の女優ラ・ボレールは一週間の仕事で七千圓を得たし、英吉利の俳優ハーバート・ピーヤブームは其連中と共にシークスピア物の數段を演じて三萬圓を得たといふ。かかる例を推して考へると、サラ・ベルナルが得た報酬の極めて多額であつたらうといふ事は、略、想像のつくことである。又近着の獨逸の新聞紙に依れば、伯林の小劇場即ちクライネステアターと稱する頗る凝つた劇場の人氣役者アルフレッド・アベルといふ男も、年五萬マークの給料で或る活動寫眞製造會社に買收されて了つたと云ふ事である。

其他活動寫眞は又政府に於ても之を種々の方面に利用する處がある。例へば亞米利加では之を用ひて海軍生活の實際を示して志願兵を募集し、露西亞では官吏に活動寫眞を携へて各地に巡廻講演をさせて、模範農業の有様を映寫して一般農民に農業の知識を増進させ、兼ねて之を愛好するの心を涵養することを努めて居るが如きは之である。

活動寫眞會社の事業

活動寫眞は佛蘭西リオンの人リ・ミエールが始めて一八九六年に之を發明した以來猶十七年に過ぎないが、其普及の盛んなることは實に驚くべきものがある。十年前には獨逸全國で僅かにハンブルグとミュンステルベルヒとに常設活動寫眞館があつたに過ぎなかつたが、近來になつては獨逸全國を通じて五百以上の常設活動寫眞館を見るに至つた。之につれてフィルム製造所の大資本を要するものがまた相尋いで各國に起つて來た。其中最も大なるものは佛蘭西と亞米利加とにある。就中有名なるは我國の人も其名を知つて居る佛蘭西のバテール會社である。此會社は非常に大規模で、會社の所有に係る舞臺があり、且又專屬の俳優及び作者を有つて居る而已ならず、時としては亞弗利加に迄遠征して獅子狩を試みて、其實況をフィルムに收めるなど、其事業が實に大袈裟である。而して毎日千人以上の職工を使用し、一日に六十五軒、即ち二百萬箇の映畫を製出する盛況であるといふ。随つて其資本も亦莫大なるもので、二百五十萬圓以上に達して居る。其他にも大きなフィルム會社は其數が少くないが、就中五十萬圓以上の資本を有するものでは、佛蘭西のルックス會社(七十五萬圓)、伊太利のキネー會社(百五十萬圓)、獨逸のエルネマ

ン會社(五十萬圓)等が其著しいものである。また五十萬圓以内のものでは丁抹の北方フィルム會社(二十五萬圓)などが最も有名である。又亞米利加には近來更に大なる會社が起つた。以上は二三年前の調査に依つたものであるから、現在は其資本の増加は勿論、其事業も更に一層擴張されて居るであらうと思ふ。

俗悪フィルムの種類

俗悪フィルムの種類は俗悪文學と同じく、之を二種に大別することが出来る。即ち没趣味であるが道徳上害なきものと、没趣味であつて且道徳上有害なるものである。而して道徳上有害なるものを更に區別すれば、性慾的のもの、刑事的(犯罪的)のものとの二種がある。此中、刑事的のものには俗悪文學として流行したニッタク・カーター、セルロック・ホルムス等のやうな探偵を主人公としたものが多い。

俗悪フィルムの及ぼす害悪は略、俗悪文學と同一である。併しこの場合には尙之に附帶して、見物人の衛生状態にも悪影響を及ぼすことがある。——歐米諸國では見物の際に於ける男女風俗上の弊害は問題とはなつて居ないやうである——尤も之はフィルムの本體とは密接の關係を有つて居ないから、茲に評論する限りでは

ない。今次に其弊害の實例を擧げるに先つて一言すべきは、俗悪文學の弊害の實例として擧げらるゝものは、多くは新聞紙の報道に止まつて、實際の調査によれば、一々事實と認め難いものも無いでは無いといふが、併し少くとも俗悪文學は勿論、特に俗悪なる活動寫眞は少年の想像力を過度に刺撃し、又は其道徳的感情を粗野ならしむることは道理上あり得可き事であるから、よし直接に罪惡に導かずとも罪惡に導かれ易い傾向を與へるといふ事は毫も疑ひない事である。今左に引用する實例は、最も慎重に調査した結果によるもので、總て活動寫眞を見物した少年が、直接俗悪フィルムに影響されて犯した種々の罪惡であるといふ。

俗悪フィルムに影響された犯罪の實例

或處で十五歳の少年が活動寫眞を見て、俄に遠方に漫遊し度いといふ希望を起し、此目的を達する必要上他人の金六千マートを横領した事がある。又或少年は活動寫眞で自殺の場を見て、急に家に歸つて其見た通りの方法を實行した。又或妬癖ある著述家は活動寫眞で女の不貞筋の出し物を見るや否や、一目散に我家に駆け歸つて、有無を言はず其妻をピストルで銃殺した。又二人の少年は活

動寫真で鐵道の列車を惡漢が襲撃する有様を見て、之に倣つて市街電車の前に立塞がつて之を抑留しようと思つた事がある。又或殺人犯の罪人があつたが、之は活動寫真の人殺しの場を見て、最も容易に人を殺す方法を知つたので、此知識を實行して見ようと思つて、故なく此重罪を犯したのであるといふ。又或少年は活動寫真で首縊りの有様を見て、自分も之を學んで縊死を遂げた。又或者は活動寫真で、盜賊が人の住居に忍入つて物品を奪ふ様を見て、其手段の巧妙なるに感じて、之を其儘實行した。最後に、亞米利加のオハヨー州のヨングスタウンでは誘拐の有様を活動寫真で見せる事が禁じた。之は件の活動寫真を興行した結果、黒奴の間に白人種の少年を誘拐する事が流行したからであるといふ。

斯様な例は尙多々あるが、以上のものは其中で最も信すべきものであるといふ。併しこれとても、多くは本人の裁判所に於ける口供によるものであるから、悉くは信用する事は出来ぬ。中には其犯罪の動機を故意に活動寫真を見たからだといひくろめる場合も無いとは限らぬやうである。近く英國のデーリー・メール紙上に一少女の竊盜事件の記事を載せて、且此少女の自白に依れば其動機は或活動寫

真を見たからで、殊に其巧妙な竊盜の手段は全く此活動寫真から得た知識である由を記してあつたが、或活動寫真の持主が百ボンドの懸賞の下に、果して此少女の言ふやうなフィルムが英吉利の何處かにあるかどうかを廣く世間に尋ねた處が、何人も確かに其存在を指摘する事が出来ななだといふことである。此一事によつても、犯罪者の口供なるものが、必しも一々信用するに足らぬものである事を知るに足るであらう。

矯正手段は如何

併し兎に角、其弊害の少からざる事は争ふ可からざるを以て、近來は之が矯正を目的とする協會が諸方に起つて、盛んに俗惡フィルムの攻撃を爲しつゝある。今其矯正手段を見るに、凡そ之を二様に大別し得らるゝやうである。其一は好意的のもので、他は強制的のものである。

先づ好意的の方法から述べよう。之に種々の手段がある。善良なるフィルム製造の爲に補助費を支出する事は其一である。此案はドレスデン、ヂュッセルドルフ等で行はれてゐる。又教育的のものを興行する條件で、一定の活動寫真館の持主

に補助を興へるも一案であつて、之はライブチヒで行はれて居る。又一定の活動寫眞館を指定して、之をして教育的のフィルムのみを興行させ、學校教員が兒童を引率して時々見物する方法を執るのも一案で、之はハンブルグで行はれて居る。尙此方法に就いて少し詳しく言へば、ハンブルグでは活動寫眞關係者は一團體を結んで、同地で名の知れて居る三十の活動寫眞館が之に加入し、而して此團體とハンブルグの學務局との間に一定の約束が成立して、數十人の學校教員は學務局の依頼によつて、右團體加入の活動寫眞館のフィルムを嚴密に調査した處が、何れも健全であつて教育的の種類のものであつたから、學務局では此團體をして普通の日は午後四時から、又日曜日は更に少し早くから特に小兒の爲に興行させて、學校兒童をして隨意に行つて見物させる事とした。其結果、有害なフィルムは自然に減少したから、ハンブルグの此舉は、今は大に世間の賞讃を博するに至つた。以上の外、伯林の「民育普及會」では、フィルムを精選して、之に詳細な説明を附けて地方の民育會などに貸渡す方法を採用して居る。而して之も其成績が頗る佳良であると聞いた。

本年二月伯林では俗悪フィルム取締の爲に教員會議を開いて、此席上へ特に伯林

の警視廳の教育顧問ドクトル・ブルンナーといふ人が列席して、將來は教員社會と警視廳と協力して取締の方法を講じようかと相談し、其際、教員は時々兒童の出入する活動寫眞館を見廻り、警察の取締を要する事實を發見した場合に、直接之を警視廳へ告げるのも、教員としては、警視廳の手先になるやうな嫌があるから、先づ之を教育顧問に通告し、教育顧問より其意見として、更に警視廳の採る可き方針の参考としようかと決議した。其時のブルンナーの話によると、活動寫眞見物人の七八割といふものは兒童であつて、益増加の傾があるといふ次第であるから、特に教育上から見て、其取締を必要と認めて此會が起つたのである。

刑事手段に依る矯正法

以上は謂ゆる好意的の方法であるが、又一方には右各種の俗悪フィルム撲滅を目的とする協會に於ては、政府の當局者に迫つて、或は關係法律の改正を促し、或は警察令を改正して取締を嚴重にする事を建議するなど、其運動が中々盛んである。先づ此事即ち強制的の方法に關して第一に問題となるは刑法である。刑法に於ては第八十四條に猥褻の行爲を罰する規定が頗る具備して居る。これで俗悪フィ

ルム中の猥褻なるものを取締ることが出来るが、今日獨逸の輿論は其處罰を以て輕きに過ぐるものとして、帝國政府も亦之に同意し、既に出來上つて居る改正案には、其罰則は一年迄の禁錮を二年迄とし、又五百マーク迄の罰金を一千マーク迄にするなど、頗る之を重くした。併し此刑法の規定は右のやうに猥褻な行爲を罰する事が出来るだけであつて、其他の刑事的なるもの乃至沒趣味なるものは之を罰することが出来ぬ。是等に對しては右の規定は何等の效力が無い。

次に問題となるは營業法である。獨逸營業法の第三十二條には演劇、演奏等は政府から營業許可を受けることになつて居るから、活動寫眞の興行も此中に加ふべしと論ずるものがある。併しこれでは一旦許可を得た營業者は他の競争を或程度までは之を避け得ると同時に、新に善良な計畫を爲すものは容易に其營業の許可を得る事が出来ないといふやうな不利益を來すであらう。要するに此問題に關する獨逸の議論は猶未だ一致する場合に至らぬものやうである。

然らば刑事的並に其他のもの、取締は如何といふに、これは聯邦各自の國法に基づいて、警察令を以て之を取締ることが出来る。尤も此國法が警察に與へる權

限は稍不明瞭で、或は獨逸憲法によつて保障された營業の自由、刊行の自由と衝突せずやとの疑がないでもないが、一九〇八年に柏林の警視廳が始めてフィルムの檢閲を行ふに當つて、之に關する高等行政裁判所及び其後の大審院の判決は、共に警察に於てフィルムを檢閲し、並に少年の活動寫眞見物を制限することを以て敢て違法で無いと認めたことがあるから、右の疑問は實際に於ては既に解決されたと視て可い。但し活動寫眞の興へる悪影響は、人をして直接に犯罪的行爲を爲さしむるのではなく、唯之をして背德の思想を起させるに過ぎぬから、此心意内部の状態に立入つて取締をなすは、一般の法律上の原則から見ても果して正當であるかどうか、此點に就いては尙多く議論の餘地を存して居る。併し實際を云へば、前述の如く警察の此取締は既に國法の認むる所となり、而かも此事に就いては社會の何れの方面からも異論を挟むものもなく、平素警察の干涉を好まぬ社會黨すら大に之を歓迎して居る。

フィルムの檢閲

かくして今日に於ては殆んど凡ての獨逸聯邦は其警察に於てフィルムの檢閲を

實行し、而かも其中に就いてサクセンは此點に關して最も早く先鞭を着け、且最も精細なる檢閲の標準を定めた。今少しく其事情を述べれば、其内務省は一九〇六年に初めて警察をしてフィルムを檢閲させる事とし、之に關する省令を發布したが、當時の規定は頗る簡略なるものであつた。然るに其後舊教員の聯合團が活動寫眞の教育上の危害を述べて、之が取締を各聯邦の政府に建議するに當つて、一九〇九年に右の内務省は更に一の省令を發布し、其中にサクセンの國法に據つて、其警察が此取締に關して執り得可き手段方法の如何なるものなるかを頗る詳細に説明した。こゝに於て其首府ドレスデンは此省令に基づいてフィルム檢閲に關する警察令を制定したが、其中俗悪フィルムと視做して之が興行を禁止するものは、總て道徳上、宗教上及び其他の關係に於て有害なるものを包含し、而して所謂道徳上の關係に於て有害なるものとは、獨り兩性的關係に於て然るのみでなく、道徳上の一般原則に反し、若くは總て人心を粗野にする悪影響あるもの、例へば殺戮、自殺及び大なる激感、惡感を催すべき人生の不幸並に其他の殘刻悲惨なる事件の外、尙動物虐待及び殺人、盜強、押入等の如き犯罪事件等であると規定し、尙以上の外特に兒

童に見すべからざるものとして、凡て兒童の觀念に不良の影響を與へる虞あるもの、又は兒童の想像を刺撃して悪しき方面に馳せしむるもの等を挙げた。此ドレスデンの詳細な規定はサクセン國內は勿論、他の聯邦殊にバーデンに於ても學ばれ、かくして警察令によつて刑法の規定に洩れた刑事的のものは、言ふ迄もなく、或程度までは沒趣味のものまでも取締る事を得るに至つた。尤も以上の規定では、更に進んで總て美學上の要求に合はないフィルムまでも之を取締ることは出來ないが、こゝまで進んで取締を爲すは固より警察、否法律の權限以外であるから、之は教育の力を以てその矯正を圖るより外はなからう。

警察と活動寫眞

右の如くサクセンに於て卒先して嚴重精細なる警察令を設けて、俗悪フィルムの取締を爲した結果は、非常に好成绩であつて、この令の出るや否や、活動寫眞館の持主等はフィルム製造會社に注意して、爾來製造するフィルムは新に發布の警察令の要求に合致するやうに心掛られ度い、然らざれば活動寫眞館もフィルム製造會社も雙方共に立行かぬ事になるのであらうからと申込んだ。随つて此警察令は單に活

動寫眞館の持主のみならず、延いてフィルム製造會社迄も警戒する結果となり、其外一般に活動寫眞館の持主の此令に對する態度は頗る良好であつて、寧ろ嚴重な警察檢閲を歓迎する位で、現にミンヘンの活動寫眞館の持主の如きは、率先して本會の趣旨に賛成の意を表したといふ。然れども一部の世論は尙未だ之を以て全く満足せずして、小都市に於てこそ警察の外、教員社會の注意に因つて俗悪フィルムの興行を事前に防ぐことも得ようが、大都市に於ては、例へば伯林の如く其附近の市を併せて三百に近い活動寫眞館を有する處に於ては、人も時も足らぬから、到底十分な取締を爲すことは出来ぬといつて、其不備を鳴らすものがある。特に檢閲は既製のフィルムに就いて爲すよりも、寧ろ其製作の際に爲す方が、取締の上にも、又フィルムの製造者の利益を保護する上にも、共に效力が多からうとの議論があつて、之に賛同する論者も少くないやうである。

二種の制限法

俗悪フィルム取締の他の方法は、兒童の活動寫眞見物に就き警察に於て一定の制限を加ふる事である。而して此事も獨逸に於ては大審院及び高等行政裁判所の

適法と認める所である。獨逸の多くの市にては、少年の活動寫眞見物は、十四歳或は十六歳迄は、大人殊に父母の同伴なき場合には、之を許さぬ事とした。獨り獨逸の市のみでなく、例へばリバール、ニール、ヨーク等に於ても亦同じ例に依つて居る。併し右の規定のみでは、兒童の活動寫眞から蒙る危害を十分に防ぐには足らぬ。何となれば父母が同伴すればとて、必ずしも父母が兒童に見すべきものと否とを鑑別し得るものと豫期する事は出来ぬからである。加之、同伴の父母が果して眞の父母であるかどうか、他からは容易に見分け難く、或はかゝる制限がある爲に、往々悪人の同伴を求めて、爲に却つて不測の害を受けるやうな場合が無いとも限らぬであらう。

尙他の取締法は、或種類フィルムは、之を兒童には見せないといふ條件の下に許可するといふのである。伯林、ドレスデン其他にも此規定を存する所が多い。併し之も亦實行上には困難が伴ふ。既に入場して居る兒童に對して、之より後は禁制のものであるから退場す可しと命ずるは、實際不可能であるのみならず、兒童は却つて好奇心にかられて、引續いて之を見ようと企てるであらう。又處に依つて

は、右取締の一法として、兒童の見物時間を制限するものがある。或一定の年齢に達する迄は、兒童の見物はハンブルグでは夜の七時迄、ドレスデンでは同八時迄、伯林では同九時迄と定めてある。これは一方では、夜分の外出は兒童の教育上有害であるといふ處からして、かく制限したものであつたが、單に此理由に基く事とすれば、警察が之に干渉するは穩當では無い。であるから此制限には他に理由が無くてはならぬ。多分夜間の興行には兒童に見せてはならぬものが多いから、之を慮つて斯様な制限を設けたものであらうが、これでは大人の同伴があれば之を許すといふ理由が明白でない。のみならず實際に於ては、晝間の興行にも俗悪フィルムを見せるものが少くないから、特に夜間の見物を制限したからといつて、これにて取締の目的が充分に達し得られるとは言へなからう。

折衷的取締法

右のやうな次第であるから、以上の二つの方法は之を別々に施行する場合には、勿論多少の効果はあるであらうが、之で以て充分の取締を爲さうとすることは到底不可能である。こゝに於て右の二つの方法、則ち時間の制限とフィルムの制限と

を合一して、新に一種の取締法を工夫した處がある。其方法は、晝間に於て特に兒童の爲に教育上有益なるフィルムのみを見せる興行をさせて、他の大人の爲にする一切の興行は、晝夜を問はず、又大人同伴の如何に拘らず、兒童をして見物させぬといふことにした。現にドレスデンのイムペリアル活動寫真館では、午後四時から七時迄の間を特に小兒の爲に開き、理科、地理、童話等に關するフィルムを見せ、夜になつて大人のみを相手とする興行をして、之に依つて頗る好成績を挙げた。其他ハンブルグに於ける計畫は、既に之を前に述べて置いた。

尤も斯様な特殊の活動寫真館に對する警察の態度は一定して居らぬ。多くは他の活動寫真も或條件の下に兒童をして見物させる方針であつて、兒童の見物を前述の特殊のものに限つて居る處は、今日では尙甚だ尠いやうである。併し眞に能く充分に兒童を活動寫真の悪影響から遠ざけようと思ふならば、一方には此特殊の活動寫真館を奨励すると共に、他方に於ては漸次兒童の見物を之に限るといふ方針を執らねばならぬ。要するにサクセンのフィルム檢閲法と、此特殊活動寫真館の設置とを併せて行つたならば、少くとも俗悪フィルムに對する兒童の保護は略

遺憾なく行届くやうになるであらう。

併し若し俗悪フィルムを根本的に一掃しようと思はば、更に進んで一層深く考慮する必要がある。前に述べたやうに刑法又は營業法の改正も必要であらう。或は進んで別に之に關する特別法を制定することも必要であらう。特に今日は各國が相競うて新奇のフィルムを製作して、盛んに之を外國に輸出するのであるから、行く／＼は俗悪文學と同じく國際協商に依つて、之が取締を爲す事も亦大に必要であらうと思ふ。或は斯様な取締は之を法律の力を俟たずして、學校から兒童並に其父母に訓誨して俗悪フィルムの見物を禁ずれば、それで事足るではないかと説くものもあるが、法律上の拘束力を伴はぬ訓誨のみで、今日の滔々たる惡風潮を抑制しようとすることは、到底望む可からざることである。

丁 抹に於ける取締法

以上は獨逸の俗悪フィルム取締に關する概況であるが、最後に獨逸以外の諸外國に於ては如何なる方法を講じつゝあるかを述べよう。先づ丁抹に就いて言へば、此國は活動寫眞の取締に關しては、模範的であると云はれて居る。此國では全國

一般に向つて統一的檢閲を設けてあるから、甲處に許されたものが、乙處に禁ぜられたといふ様な矛盾がなく、隨つて活動寫眞館の特主の迷惑となる事も少い。此國は、コーペンハーゲンに中央檢閲官があつて、其檢閲の效力は、丁抹全國に及ぶのである。而かも其目的は獨り兒童の教育上有害なるものを撲滅するにあるのみでなく、總て道徳上並に宗教上有害なるものは勿論、更に進んで政治上妨害となる虞あるものまでも之を禁遏するにある。其他道徳上直接に有害でなくとも、苟も兒童の想像を過度に刺撃し、興奮させるものも亦一切之を禁ずる。兒童の活動寫眞の見物時間に就いては、十五歳未満の兒童に對しては、午後八時以後は大人の同伴なしには入場を禁じ、違反するものは五十クローン以上百クローン以下の罰金に處するといふ事に規定した。併しこれだけでは前述のサクセンの警察令の規定と大なる相違は無い次第であるが、丁抹の取締の最も誇とする點は他にある。即ち教育上有益であるとしても、之が製作に多額の費用を要する場合には、政府に於て之に對して相當の補助を與へるといふ點である。此事は一九一〇年に開かれたブリニッセルの萬國活動寫眞會議に於て決議したものであつて、此會議は右の

決議を各國の政府に通知し、併せて其實行の希望を述べた。丁抹は則ち各國に先立つて此希望を實行したのである。丁抹以外に於ては一九一一年に、伊太利のナポリンの活動寫眞博覽會開催に際して、其地の僧正は學術上、教育上及び藝術上有效なるフィルムを多く得度いと希望して、多額の金を投じて懸賞募集をした事がある。之が成績の如何は其後どうなつたか聞かないが、活動寫眞の取締の方面にのみ主として力を用ふる今日、斯様な積極的獎勵の方法を採つたのは、最も歓迎すべき美舉であると謂はねばならぬ。

瑞典伊太利に於ける取締法

瑞典でもフィルムの檢閲法を制定して、總て道德上、宗教上及び政治上有害と認めらるフィルムを禁じ、其他又特に兒童教育上不良の結果を來すものをも禁止したといふ事であるが、其詳細は之を聞く事が出来なかつた。伊太利がフィルム製造に於て有名であることは、既に前に述べた通りであるが、此國でも一兩年前に少年犯罪調査委員の動議に基づいて、議會にフィルム取締に關する法律案が提出された。此案に依れば、同國に於てもフィルムの檢閲を行ひ、檢閲委員には、其地の小學校教員を以

て之に任じ、十三歳未満の兒童——伊太利人は早熟で十三歳で小學校の課程を終る——は大人と同行しなければ活動寫眞の見物を許さぬ。檢閲の結果、教育的のものであると認められたものは、其課税を免じ、之に反して道德上有害と認められたものは禁止するのである。若し此規定に違反したものは、一千リラ迄の罰金に處するといふのが、其要旨であるといふことである。大人同行の事に關する利害は、前に述べた通りである。又小學校の教員をして檢閲の任に當らせるのは、獨り其職務の性質と相容れぬのみでなく、又其見解が狹隘に失して、フィルム製造業の利益を全然無視するが如き弊害が無いともいへぬ。併し、教育的のフィルムの課税を免ずるといふ一事は、之は益、善良なるフィルム、の製作及び興行を盛んにする所以であるから、頗る好箇の思付であると言はねばならぬ。又罰金の高も活動寫眞營業の收入状態に對して、前の丁抹のそれよりも一層好く適切して居るやうである。此點に關しては、獨逸の警察の罰金の三十乃至六十マークの如きは、最も收入状態に適合して居らぬ、全く無意味のものといつてよい。獨逸に於ける活動寫眞營業の收入の極めて多い事は、其多數の市に於て之に課する娛樂税の少額でないのを見て

も、之を推知する事が難くはない。ケルンの如きは娛樂稅總額の一分三分は之を活動寫眞の營業者から得るといふことである。前に述べたやうに、獨逸では其現行法を以て俗悪フィルム取締をなす事が出来ることになつて居るが、斯様な實際に適合せぬ事柄も少くないから、一部の人が現行法の改正、又は特別法の制定を唱へるのも無理でないといつて可い。

俗悪フィルムと新聞雜誌

最後に一言すべきは、獨逸では教員社會の熱心なる運動によつて、教育雜誌は勿論、世間一般の新聞紙なども黨派の別なく、俗悪フィルム有害であることを認めて、盛んに之を攻撃することである。尤も之は獨逸の新聞雜誌のみでなく、歐羅巴諸國特に伊太利、瑞典等も亦さうである。是等の諸國の新聞雜誌の態度を以て、之を我國のそれと比較すれば、我れの彼れに及ばぬ事の甚だしいのを認めぬわけには行かぬ。俗悪文學の場合に述べたやうに、我國に於ては、所謂俗悪文學は小説の中よりも寧ろ多く新聞紙の三面記事の中にある。中には世間の信望の厚い謂ゆる大新聞紙の紙上に於てすら、強盜殺人、自殺等に關する出來事を、殆んど惡漢教育の

爲にするかと思はれるばかりに事細かに報道するものがある。かくて我國に於ては若し俗悪文學、又は俗悪フィルムに對して、其罪惡を鳴らして、開戦しようとするものは、勢ひ同時に多數の新聞雜誌を相手に戦ふの覺悟をせねばならぬ。而して是が實に我國に於ける俗悪文學、並に俗悪フィルム征伐の特に困難なる所以である。歐羅巴諸國に於て、俗悪文學、並に俗悪フィルム征伐の着々其功を奏するは、主として其新聞雜誌の多くが、此後援者となるに因るからである。特に我國に於ては、東京其他主要なる都市の新聞紙は、近來著しく其紙面を改善して來た今日に當つて、地方多數の新聞が却つて十數年前の東京新聞紙の陋態を學ぶが如きは、最も俗悪思想、及び俗悪趣味の排斥を妨げるものである。であるから、今日我國に於て事に矯風の業に従はうとするものは、已むなく先づ此種の新聞雜誌に對してポイントを企てるも、敢て辭する處でない程の覺悟がなければならぬ。

俗悪フィルム取締は我教育界當面の問題である

次に當面の問題たる俗悪フィルムに關しては、我國に於て過般ジゴマの興行を禁じて始めて世上の問題を作つた位のものであつて、尙一向之に關する研究を怠つ

て居るが、油断をすればジゴマ式のフィルムは續々輸入されて、何時の間にか幾多少年の心情を荒敗して、其害悪は實に戰慄すべきものがあるやうになるであらう。現に新聞紙の廣告を見れば、其後多くのジゴマ式文學の翻譯せらるゝものがあるやうである。今日は前に述べた如く歐羅巴の諸國に於ては既に國內に於ては勿論、他國とも協商して俗悪文學並に俗悪フィルムは其製造國にはこれを見ずして却つて我國に於て見ることがある。佛蘭西に於ては明年後の末迄には、一も残らず教會立の學校は閉鎖される事となつて居るに拘らず、却つて我國に佛國流の教會立の學校の盛んなるを見ると同じく、歐羅巴諸國に於て禁止された俗悪フィルムが却つて我國に入つて得意に跋扈することが無いとも限らぬ。俗悪文學は翻譯を経て始めて世間に流布するものであるが、俗悪フィルムは輸入と共に其儘見物の思想に影響を及ぼすものである。其利も害も兩つながら靚面であるから、殊更に警戒せねばならぬ事と信ずる。

第六 獨逸及び瑞西に於ける良書

出版及び普及法

(公益事業としての圖書刊行)

俗悪文學の弊害及び其救治策の事に就いては、他の場合に話した通りである。而して其救治策の一法として善良なる圖書、就中善良なる青年讀物を出版し、及び之を普及せしめるといふ事を擧げて置いたが、其詳しい方法に就いては其際論及しなかつた。併し實際家の爲には、此詳しい方法が却つて實用に供する上に参考として必要であると思ふから、今茲で此事に就いて少しく話して見度いと考へる。善良なる圖書の出版及び普及の方法に就いては、西洋諸國の例によると、小學校の教科書は別問題であつて、之は政府の檢定を要する處も少くはないが、教科書以外の圖書の選擇について、政府が何等かの干涉をして居るのは、自分の知る範圍内では、唯ハンガリーの文部省で通俗圖書の選擇をして居る事だけである。其方法は我國の通俗教育調査會で行つて居たものによく似て居る。即ち同國の文部省内

に其係りの役人があつて、新刊書中で大體上有益であると認めるものを選定して、之を豫て文部省で委員として囑託してある大學の教授、中學校、小學校の教員、其他民間の著述家などに配布して意見を徴し、時々此等委員の會合を開いて其採否を決定するのである。而して其檢定済となつたものを年に一回づゝ纏めて、其書目を發表する。其檢定数は非常に多數であつて、自分も其檢定書目録を實際見たが、歴然たる大冊である。此外には政府自ら干渉して居る國は無いやうに思ふ。奧太利などは國定教科書を政府で專賣して居るにも拘らず、唯其圖書局から時々教科書出版の傍ら、有益なる忠君愛國的精神の奨励といつたやうな書物を出版して居る位のものである。

其他の國々に於ては、善良なる青年讀物の出版及び普及の事に關しては、主として民間の有志、就中、小學校、教員、團體が、其事に任ずるものが多い。又中には本屋の後押しをして居るものも少なくなく、或は本屋自ら經營して居るものもある。善良なる圖書出版及び普及は、殊に獨逸では有力なる本屋が競争して行つて居る。此適例と見做す可きは、我國の人もよく知つて居る彼の「レクラム」及び「自然及精神界」「フーレル・ウン・デア・ガイスト・スヴェルト」

と名づくる叢書などである。其他獨逸では此に類する叢書が多いが、此等は何れも良書の出版及び普及を目的とする事業である。又通俗教育などを標榜して居る會などでは、大概傍ら之を爲して居る。而して此事業は獨り獨逸のみならず、他の國でも行はれ、就中瑞西の如きは最も盛んである。

併し之は善良なる圖書を廉價で手に入れる事が出来るといふ便があるのみであるが、一步進んで考へて見ると、かくして出版せらるゝ所謂善良なる圖書が、果して善良なりや否やは何人が之を定めたのか分らない。表面に立つて其責任を負ふものは出版者の外にはない。唯出版者が徳義を重んずる結果、悪いと思ふものを刊行せずと信ずるまでである。一定の機關があつて、其處で檢閲した結果、可否を定めた譯では無い。前述の本屋では、實際比較的善良なる書物を廉價で賣る事は疑ひなきも、根本は營利事業たるに過ぎぬ。尤も瑞西では會員組織にして、會費で以て缺損を補ふことになつて居るから、此等は寧ろ公益事業に屬す可きものであるが、それでも出版物の選擇は會の幹部限りの仕事であつて、之が爲に特に責任ある機關を設けてない。而已ならず以上の謂ゆる良書は必ずしも青年の讀物と

限つて居る譯ではなく、寧ろ一般社會の爲の讀物であつて、青年教育とは餘り直接の關係はない。但し瑞西の會では實際は青年讀物といふことに、主として力を注いで居る。

一 獨逸青年讀物委員聯合會

茲に一つ事業の範圍も限定し居り、目的も明白で方法も非常によく整つて居る仕組がある。詳言すれば一般の圖書に非ずして、青年讀物として善良なる圖書、就中、小學校の一年生位から補習學校在學中位の青年、即ち六歳から十六歳未満迄の青年の讀物を極めて責任を負うて選擇して之を發表する會がある。尤も大人の讀物は全然措いて問はぬといふのではなく、傍ら注意しては居るが、主たる仕事として十六歳未満の青年の讀物といふことに限つて居る。此會は獨逸青年讀物委員聯合會と呼んで居る。委員組織であつて、創立以來既に二十二三年に及び、隨分名高い會で、今はハンブルグに其本部を置いてある。而して委員會を獨逸の各都市に設けて居る。此會は其名の示す通り、獨逸全國に互つて居る委員會の聯合で

あるが、實際の仕事はハンブルグの委員會で行つて居る。

今其組織を少し詳しく言へば、此委員會には、總幹部といふものがあつて、各地方にある委員會の會長を以て組織し、其下に聯合會の書記がある。而して此書記が若し地方委員會の會長である場合には、同時に總幹部員の一人となる事は言ふ迄もない。此總幹部の會長は聯合會の所在地、即ち以前は伯林、近年はハンブルグの委員會の會長が同時に之を兼ね、副會長は同じくハンブルグの委員會の副會長が之を務めるのである。丁度普魯西の總理大臣が同時に獨逸の總理大臣であり、又彼の大藏大臣が同時に此の大藏大臣であると、同じ關係になつて居る。

會の方針、或は新事業に關しては、總幹部の決議で決定するが、普通の事務はハンブルグの委員會に委任してある。つまり實權はハンブルグの委員會にあるといふことになつて居る。で、ハンブルグの委員會を名づけて、主地委員會といふ。會の規則によれば、主地は總會の決議で何處へでも變更する事が出来るやうになつて居るが、元來此事業はハンブルグに有力な人が居つて、其盡力によつて發展したもので、又此ハンブルグの委員會が主となつて全國の委員會を聯合した譯である

から創立當時のみは主地は伯林にあつたが、爾來久しくそれがハンブルグに移つて居る次第で、將來と雖も他に移る事はなく、又其必要もないと思ふ。凡て此會と密接の關係のある獨逸小學校教員會なども本部は伯林に置いてあるし、其他の會でも本部は伯林が多いが、此會だけは今言ふ通り實際の本部がハンブルグにあるのは、此地に實際の仕事をする人が居るから、謂ゆる人物本位で、其位置が定まつたものである。斯様な事は誠に些細の事ではあるが、一體獨逸では、我國のやうに凡ての事業が何でも彼でも其本部を常に東京に置き、單に首都であるからといふ關係のみからして東京を中心とするのとは異つて、人物本位の傾があつて、人物の所在地につれて假令僻遠の地であるにも拘らず、此處に本部を置くといふ風があるが、此會がハンブルグを主地とするのも其一例である。凡て教育上に於ては、ハンブルグは獨逸の中では最も進歩した地であつて、伯林などは之に學ぶものが尠く無いのである。で、此會なども伯林が首都であるからといふので、早速こゝに移すわけには行かぬことであらう。

地方の委員會といふのは、此聯合會の爲に特別に起つたものではない。もとく

國內到る處にある小學校教員會には、必ず青年讀物に關する特別委員會があつたのを聯合して、之を地方委員會となし、而して此種の委員會が集つて出來たのが、即ち聯合會である。今日迄は聯合會の委員は、此等の種類に限つて居て、他の會の人や、其他特別の人を加へようとするには、總幹部の決定を俟たなければならぬ。それ故、此點から言へば、此會は全國に亘れる獨逸小學校教員會の別働隊の觀がある。故に總幹部の總會は、必ず獨逸小學校教員會の總會の際に同時に開く事になつて居る。而して獨逸小學校教員會の總會は、其主地が年々變るから、總幹部の總會だけは之に伴つて年々變るわけである。尤も常務の位置はハンブルグであつて、動かぬことは言ふまでもない。で、獨逸小學校教員會總會の開かれる場合には、總幹部の會長は聯合會の費用でこゝに出張して、教員會の總會と並行して總幹部の總會を開くのである。

此聯合會からは毎月一回青年讀物指鍼といふ機關雜誌を發行する。之は聯合會の主義、即ち青年の爲に善良なる圖書を出版普及する主義を鼓吹すると同時に、委員會で檢査濟となつた書目及び其批評を發表する爲のものである。此雜誌は

各地方の委員に無代で配布する。併し各委員會は年額十マークをハムブルグの委員會に納めて居る。ハムブルグの委員會では出版者と交渉して、其出版に係る圖書を成るべく無代で各地の委員會に提供せしむることにして居るが、必要の場合にはこれを買入れる。而して其時の費用にこの地方委員會から納める金を使用するのである。委員は今では百三十餘人ある。而してこれを十二部に分けてある。この十二部といふのは一定不變のものでは無く、必要に応じて増減する事が出来る。それで檢閲を要する新刊書が出ると、ハムブルグの委員會から此十二部に對してこれを送附する。其他又地方の委員からハムブルグの委員會に必要と認める書物の送附方を請求する事が出来る。——以上は言ふ迄もなく出版者から直接に地方委員に提供をなさざる場合である。ハムブルグの委員會から地方委員に新刊書を送附する場合には、檢閲に要する期間を六週間以上に於て適宜に定めて、其間に之を檢閲して報告する事に指示してある。又十二部の委員會が必ずしも悉く同一の書物を檢閲する必要はないから、此は甲部、彼は乙部といふやうに手分して檢閲する。各部の委員に於ては其檢閲せんと欲する圖書を定めて、此

旨を直に本部に報告する義務がある。而して檢閲の圖書に關しては、一部の委員會では同一書物に就いて少くとも三人以上の委員の意見を添へる必要がある。其意見としては之を採用すべきものであるとか、或は修正の上採用しても可いとか、或は拒絶す可き者であるとかいふ理由を、可なり詳しく書き添へてハムブルグの委員會に報告せねばならぬ。尤も在來の圖書の翻刻例へばグリムスの童話といつたやうな本の場合には、其必要は無い、只原本と對照して、誤謬の有無を檢閲して出せば可い。而してこの檢閲に關する意見は、直接に出版者に通知してはならぬ、必ずハムブルグの委員會に報告して、前述の機關雜誌によつて發表す可きものと規定してある。で、ハムブルグの委員會ではこの意見が、檢閲を引受けた委員部から集つて來れば、其成績を調査して可否の數の統計を取り、三分の二以上の賛成を得たものは合格とし、三分の二以下のものは不合格とする。若し期日迄に引受けた委員部から報告が無い時は、其來るのを待たずして直に他の委員部に廻送して之を調査させる。又二部の委員會の意見が反對である時は、更に他部の委員會に移して、其意見を徴して最後の決定をなす。委員會の檢閲は獨り圖書の内容の

みならず印刷製本、紙質等の可否にも及ばねばならぬ。斯様にして出来上つたものを機關雜誌に掲載して公表する。而して其掲載の方法は著者、書名、出版所、定價を示し、其下に例へば賛成八、反對一とか、又は賛成五、反對四とか記してある。此の場合でいへば、前のものは合格で、後のものは不合格といふことになる。而して之と共に尙隨分詳しい批評的意見をも添へてゐる。其合格数は年に依つて同じからざるも、一九〇八年には九十一の中より四十、一九一〇年には百二十五の中より三十二を採用して居るから、此例で以て見ると、檢閲全數の約二分の一乃至四分の一位の割合である。又中には修正の上採用すべしなどいふ條件附きのものもある。此檢閲は中々嚴重であつて、而かも其檢閲者は全國に亙つて居る事であるから、本屋の運動などは効力が無い、到底買收などをしきれぬものでは無いから、彼等は大に之を憚つて居る。又會では此檢閲の責任を重んずる爲に、各委員部から提出した意見書類は一切ハンブルグの委員會に記録掛やうのものを置いて、之を永く保存して置く。又之と同時に各委員に配布した圖書は、用済となれば之を返却する事になつて居るが、ハンブルグの委員會では圖書館やうのものを作つて、此處

に之を所藏して置くが、これ丈では狭いから、今ではライプチヒにも之を設けて、此處にもそれを所藏してある。

斯様な次第である故、此會で檢閲の候補者として採る圖書は、俗悪文學などは無論初めから手に觸れずして、大體有害ならざるもの、中から青年讀物として善良なるものを選択するのであるが、而かも只漠然と善良なるものといふのではなく、青年の年齢によつて第一類は六歳より七歳、第二類は八歳より九歳、第三類は十歳より十二歳、第四類は十三歳より十四歳と分けてあつて、其檢閲す可き圖書が、果して此中の孰れの類かの讀物として極めて適切のものなりや否やを嚴重に考査する事となつて居て、餘力を以て小學校卒業後、補習學校在學者の讀物をも選定することとなつて居る。斯の如く檢閲は極めて學理的の方法によつて居るが、併し其選擇の當否に就いて、若し問題が起つた場合があると、更に之を實際的に解決す可き組織が備はつて居る。それはハンブルグに此事に關する實驗委員といふものがあつて、其問題となつた本を採つて之を兒童に試みて、心理的並に教育的効果を實驗上から證明するといふことである。一體獨逸の教育者は一般に兒童を精確

*Experimentausschuss.

に理解して居るから、前のやうな年齢別の選擇法も案外容易く出来るのであるが、尙それで一旦問題が起れば、今言つたやうにして學理的に之を解決するのであるから、其選擇の嚴重精確なることは、推して知らるゝことであらう。機關雜誌に掲載した選擇圖書は、毎年クリスマス前の頃には必ず一纏めにして、世間に紹介すべき青年讀物の目錄を作成して、之を廣く世に配布して良書の普及に力を致して居る。尙又一旦此目錄に採用したるものに就いても、地方委員に於て其選擇に異議がある時は、ハンブルグの委員會に其旨を申出して、再調査を要求する事が出来る仕組になつて居る。

次に注意すべきは、此會は聯合會も、地方委員會も、其會員は殆んど凡て小學校長、又は小學校教員であるといふ事である。我邦の通俗教育調査會などの様に各省高等官、大學教授、貴衆兩院議員など、云ふ顔振れではない。獨逸などでは斯様な人は小學校の事は知らない者としてあるから、随つて此種の會には決して之を加へない。總幹部會長も地方委員會長も皆小學校長、又は小學校教員である。自分は獨逸に滞在の折、態々ハンブルグ迄行つて親しく委員の一人なるゼンゲルとい

(1) Heinrich Wolgast.

(2) Elend der deutschen Jugendliteratur.

ふ人に會つて、色々會の事情などを聞いたか、——それが緣故になつて、今でも此會の機關雜誌、其他の印刷物を送つて呉れて居る——會の委員は孰れも公務の餘暇を以て、殆んど無報酬で其任に當つて居る。此ゼンゲル氏は主として外部に向つて主義宣傳の任に當る謂ゆる運動委員で、随分多忙の役であるが、僅か女書記一人を使つて、各處から來る堆高い書類を熱心に整理して居た。其他の諸掛員も大抵女書記一人位を相手に頗る繁雜な事務を處理し、孰れも俗惡文學の跋扈を防いで、善良なる青年讀物を普及せしむるは、教育者たる者の天職であるとの意氣込で以て、獻身的に其事に従事して居るは、感服の至りである。特に本會の事業を述べると共に是非紹介すべきは、創立者の一人であるハンブルグの小學校長ハインリッヒ・ウルガストといふ人である。此人は久しき以前に「獨逸青年文學の墮落」と題する一書を著はして、獨逸の教育社會に廣く名を知られた人であつて、此人の識見と熱心とで此會は今日の盛況に達したもので、今も尙此會の中樞人物として世間からも充分其功績を認められて居る。聯合會の主地が伯林になくして、ハンブルグにあるのも、全く此人が此地に居るからである。氏は一九〇八年に倫敦に開かれた

萬國倫理會議に此會を代表して列席し、各國委員の前で獨逸の青年讀物普及に關する會の運動の有様及び其主義に就いて演説を試みて非常に好評を博した。自分はその演説の要旨を印刷したものを前のゼンゲル氏から貰つたが、之を一讀すると、此會の事業及び其主義を了解し得るのみならず、併せて俗にいふ學校外の讀物のみならず、小學校の教科書を如何にす可きかの問題に關しても、亦此會の意見を略知する事が出来るから、今其大意を左に述べようと思ふ。

第一は抑、讀本教授の目的は善良なる書物を讀み得る能力及び之を讀まんと欲する傾向を養成することである。而して此能力及び傾向を養成する爲には、學校内に兒童用圖書館を設置して、其天稟に應じて高尚なる趣味の發達を妨げぬ範圍内では、兒童の任意選擇に任せて、勝手の本を選んで之を讀書せしむる外に、更に一步を進めて、在學中の八年間を凡そ四期に分けて、此一期毎にせめて二冊、若くは三冊の當該年齢に適應して感化力ある善良の圖書を選んで、之を學校でも讀ませ、又家庭でも讀ませるようになせぬと、到底此目的を達する事は出来ぬ。第二は少年は兎角冒險暴行を好む傾向を有するものである。教師は此傾向を抑へずして

利導する方法を講ぜねばならぬ。之には本を讀まするよりは旅行又は競技などをさせて、此自然の欲望を満足せしめて、以て少年を漸次正徑に導くが可い。此點に就いては今日世間では餘り重きを置いて居らぬが、之は國民教育中に在つても最も重要な部分を占むべきものである。第三には學校當事者は、兒童をして惡書を讀まぬ事を以て、自己の榮譽として誇るに至らしむるやうに仕向けねばならぬ。第四には兒童と同時に其兩親に對しても、惡書の弊害に就いて訓戒せねばならぬ。即ち兩親の爲に時々惡書に對する注意書を發し、或は講演を開き、或は善良なる青年讀物の目錄を作成して配布し、以て兩親にも充分惡書の弊害を悟らしめねばならぬ。第五には良書を澤山出版して、讀書の欲望の旺盛なる青年が之を廉價に、且容易に手に入れ得る様に仕組まなくてはならぬ。第六に政府は宜しく進んで一の法律を作つて、總ての政治上宗教上の黨派から公平に選任された委員を以て一の會を組織し、此會に對して苟も青年に有害なりと認むる圖書は直に之に發賣禁止を命じ得る權限を附與するが可い云々といふのが其要旨である。勿論氏の此意見は、説としては敢て珍らしいといふ程でも無いが、或程度迄は氏が關係

する此會で實際に行つて居る事であるから、頗る聽者を感動せしめたと云ふ事である。

以上ウォルガスト氏の演説の主意が、或程度迄ハンブルグに於て如何に實行されて居るかに就いては、俗悪文學の事に關して述べた時に、其大要を話して置いた。併し多少重複の嫌はあるが、茲に更めて其要點だけを述べよう。ハンブルグの委員會では是より先き俗悪文學調査委員を設けて、之が排斥方法を攻究して居つたが、愈一、一九一〇年に至つて先づ其第四に述べた注意書の配布を實行する事にした。それが爲に特別委員を選定して注意書を起草させ、之をハンブルグの學務局の同意を得て、同市小學校の兒童をして其兩親に配布させた。其數が十四萬部に及んだ。加之、其他獨逸は勿論、奧地利などの小學校、及び其他知名の人々に對しても此注意書を送つた。此數が十一萬部といふことで、尙其他にも所々に配布したのも少くないから、總計では約三十萬部以上を配布したといふ事である。併し委員の意見では、之は只父兄をして俗悪文學の影響に對して冷淡でない様にと注意を催したに過ぎぬから、これだけで止めて置けば、程なく又舊の通り冷淡になつ

て了ふからといふので、教育雜誌は勿論、日刊新聞に於ても盛んに其弊害を論じて、俗悪文學退治の教育上必要である事、風教上の大問題である事を一般の人民をして覺らしむる爲に、努力至らざるなく以て今日に及んで居る。

又屢言ふ通り、獨逸では小學校の兒童と云ふのは、多くは中以下の家庭に屬するものであるから、隨つて労働者の家庭に屬するものが比較的多い。而して此労働者は到る處で労働者同業組合と稱するものを設立して居る。で、此ハンブルグの委員は、此同業組合と聯絡して、先づ此多數の労働者の心を大に動かさうと努めた處が、同業組合の方では最も熱心に此舉を歓迎して、其主意を擴める爲に、各所に講演會を催した。而して其會に於ては委員は勿論、委員以外の小學校教員、又は女教員なども出席して盛んに俗悪文學の攻撃をなし、又委員會で調査した良書目録は勿論、其他此會と同一の主義を有する、獨逸詩人記念會——後に説く——及び其他一二の會で發行する圖書目録等をも來會者の縦覽に供して、成る可く良書に對する興味を喚起し、又之を買ふやうに仕向けた。加之、單に良書の目録を示すに止まらずして、其中の或本を例に引いて其一部を讀んで聞かせて、俗悪文學以外に斯様

な面白く、且高尚にして有益なる圖書が幾らもあるといふことを覺らしむる事をつとめた。其結果は非常に良好であつて、以來労働者に關係の深い同地の社會黨の新聞も此會の主義を賛して、其發達を援助する爲に執筆するやうになつた。斯の如き方法で此會は良書の普及を圖つたが、まだ之では充分に良書の眞味を味はせる事は出来ないとして、更に進んで、委員會では労働者及び其家族の爲に、三箇所の労働者町に於て藝術に關する「日曜娛樂會」といふやうな會を設けて、此處で昔の詩人の傑作などを朗誦するとか、或は又昔の音樂上の傑作の演奏會を催すとか、其他又後には子供の爲にも、特別の娛樂會を開くとかいふやうな事も企てた。此舉には市の當局者も大に賛成の意を表して、今日では市立の學校の建物をその會場を使用する事を許したのみでなく、二三年前に此委員會から市に向つて、年に一千マークの補助を三箇年間下附するやうにと、請願したのを採用した故、今日では此會は場所の外に、金の上でも市から相當の保護を受けて居る。又此會の爲には、學者、藝術家等も皆好意を以て、無料で働くといふ様な有様であつて、一般の受けは中々よい。尤も此事業は此委員會のみが主として經營するといふのでは無

い。ハンブルグには維納の平民館と共に世に聞えた「平民館」があつて、——此平民館は労働者の精神的向上を圖る爲に、土地の政治家、實業家、辯護士、醫師、教員等あらゆる名士が代るゝ労働者を集めて講演をなし、又此處に寢泊りして間接に彼等を感化教導する仕組のものであつて、英吉利のユニヴァーシティ・セットルメントが大學生によつて行はるゝとは稍、其趣を異にし、又維納の平民館のやうに講演を主とする學校風のものとも大に其性質を異にして居る——これが平民的娛樂事業に就いては絶えず種々の施設をして居り、尙此地には「愛國會」及び「其他幾多の會があつて、之も矢張り特に下層社會の爲に、趣味の向上を圖る事に努めて居るから、此會のみが最も此點に於て勝れた事業を爲して居るものと思ふは誤解であるから、一言茲に注意して置く次第である。

尙此會の主義鼓吹の爲には、前のゼンゲル氏が主となつて色々運動も計畫もして居る。先づ前に云つた年に一回宛作る檢閱濟の圖書目錄を廣く世間に配布する、其數が凡そ三四十萬冊に上つて、之を各所の市町村役場に送つて、此處から一般の人々に配布して貰ふのである。又此圖書目錄中にある圖書の展覽會を、諸所の

小學校で開かせる。其他既刊の圖書を検閲する事の外に、獨逸青年文庫と名付くる叢書を發行して居る。此事は會に言はせると、決して重きを置いて居る事業では無いと稱して居るが、併し本屋などで此會の事業に對して不平を抱いて居るものは、此點を捉へて公益を標榜して居ながら、裏面に於ては營利を目的となして居るは可くないと言つて批難をして居る。が、會の方では之に對して決して營利を目的とするのではなく、只著者に相應の原稿料を支拂ふのみであつて、其れ以外には何人も少しも報酬を得る事なく、全然公益的に良書出版をなして居るに外ならぬと辯解して居る。要するに多少の批難はあるとしても、之は大抵は此會の檢閲の爲に、自分のところから發行した書物などが落選して、不平を抱いて居る本屋などが主として爲す事で、此會の委員は前にも言つた通り全國に亙つて人數も多く、且多數で決するのみならず、異議ある場合には再調査も請求する事が出来る仕組になつて居るから、出版業者などが買収しようとしても、中々出来難いし、其上に、採否に關しては、一々其理由を附して、之が顛末を毎月の機關雜誌で詳細に發表して居るから、只單に多數決といふのみで、理由も責任も明かにせず、に置くのとは、大に

其趣が違ふ。で、先づ大體は公明正大の遣方であると言つて可からうと思ふのである。以上に述べたやうな圖書選定の細密な方法は、まだ我邦には行はれて居ないが、少くとも圖書の選定をなすに當つて相當の理由を明かにする丈の事は、我邦でも早晚宜しく之を行ふべきこと、信ずる。

二 瑞西の良書出版會

以上は主として良書選擇普及の方法に就いて、卓越して居る組織に就いて述べたのであるが、次には、一般良書出版の事に就いて話して見よと思ふ。之については、始めに本屋が企て、居るものが多いと言つたが、此等は營利的であるから問題外である。我邦にも近來國書刊行會、國民文庫刊行會、文明協會などいふ圖書刊行の會があつて、之は一定の會費を收めて、其代りに刊行書を分配すると云ふ仕組で、即ち一種の豫約出版法であるが、此種の會も獨逸などにも無いではないが、此外に會員組織で今言つた良書の出版普及の目的を達せんとする、少しく性質の異つた會がある。これは會員が會費を出すのは、刊行書を其代りに得る爲ではなく、其

會の事業を助けるのが目的である、即ち良書を廉價で發行しようとするれば算盤が
 取れぬから、其缺損を補ふ爲に會費を出して其會の事業を補助するのが目的であ
 る。それ故我邦の前に言つた種々の刊行會が一種の豫約出版を行つて居るのと
 は、大に其性質を異にして居る。尤も此等の會で刊行する良書と稱するものは、子
 供向きのものも少くはないが、必ずしも之と限つては居らずして、廣く一般の讀者
 を相手として居る。此點は前に言つた獨逸青年讀物委員聯合會が青年の讀物と
 其範圍を狭く限定して居るとは異なるから、兒童の年齢を標準として細かい區別を
 立て、之に適當するかどうかと云ふ事まで細密に研究する必要はなく、只良書で
 さへあれば差支ないのである。此種の會の起りは、世間では、ハンプブルグが始めで、
 獨逸が一番早い様に思つて居るが、實際はさうでない。一八八九年にドクトル・フ
 ーレンケルといふ人がワイマルで始めて之を企てた。フレンケルは、ミルラー・
 グッテンブルンス——劇評家で今維納に居る——といふ人が斯様な會を起し度い
 といふ考を有つて居て其意見を發表したのを見て、之に基づいて其事業に着手し
 たのである。而して其主義と云ふのは政治上、宗教上の黨派以外に立つて、教訓的

にして、且趣味ある圖書を主として、貧困者に廉價で賣渡して、之が精神的向上を助
 けるといふことであつた。かくて此趣旨に基づいて起つた會は、獨逸全國到處
 に支部を設け、進んで瑞西、奧太利から露西亞、亞米利加の獨逸人間に迄も其主義を
 宣傳して、頗る大々的に其事業を擴張する積りであつたが、不幸にして其經營法が
 宜敷を得なかつた爲に、幾もなくして倒れて、僅かに残つた二千マークの金を後に
 話す獨逸詩人記念會に讓渡して解散して了つた。

併し、之が抑、今日の良書出版會の元祖といふべきであつて、その刺撃を受けて始
 めて起つたのが、瑞西のバーゼルに今も在る良書普及會である。之が一八九〇年
 の事で、こゝで始めて會員組織で行つて見た處が非常に好成績であつて、隣國の獨
 逸のバーデンなどにも賣捌所を設けるといふ程の勢であつた。次に此バーゼルの
 例に倣つて起つたのが同國のチャーリヒで、又これに次いで起つたのが同國のベ
 ルンであつた。尤もチャーリヒは最初から獨立で起つたが、ベルンは初めバーゼルの
 支部であつたのが、後に獨立したのである。かくて瑞西の主なる三州に起つた
 此良書普及會は各獨立はして居るも、互に聯絡を保ちつゝ、事業の重複衝突を避け

て、益、其會運の發展を圖つて居る。此三會は何れも夫々各地方に支部を有つて居り、又到る處の小村落の隅々迄も多數の賣捌所を設けて居る。又三會は一八九〇年に聯合して瑞西聯邦議會に、其會より發送する圖書の遞送料免除を請願した處が、議會でも三會の功績を認めて、郵便税は勿論、小包の運送費も、二キログラム迄は、全く免除する事にした。併し其後一九一〇年に郵便税の改正に伴うて此特權は取上げられたが、三會では豫め此事は承知して居つたから、之に先つて會は聯合して補助金を議會へ出願した處が、之も許可されて一會に對して五千フラン宛、三會で總計一萬五千フランを年々交付する事になつた。三會の收支は大概四萬乃至五萬フランで、其中約一割が會費で、此外に臨時の寄附が少許あり、之に前の五千フランの政府の補助金を加ふれば、約一萬フランの金と云ふものが商賣以外に這入つて來るので、此會の事業經營は決して困難でない。充分に公益事業としての働きが出来る。此三會が創立以來凡二十年間に賣捌いた圖書の數は、約七百萬冊を下らぬといふ事である。が、之は主として其賣捌の方法が宜しきを得て居るからである。前述の通り三會とも地方に支部があつて、其上に到る處の小村落に迄も

澤山の賣捌所を置いて居る。又三會は互に他の會の刊行圖書を自分の目錄中に採録して、之を自分の物同様にして賣るのである。三會が互に其刊行圖書を配付し合ふ場合には、以前は三割引であつたが、今は四割引である。又三會が其賣捌所へ卸す場合には、以前は二割引であつたが、今は三割引にして居る。であるから本の賣捌上には非常に都合が宜い代りに、利益と云ふものは極めて割合が少い。又前の賣捌所の主なるものは、小さい本屋、又は紙屋などであるが、其他に瑞西には到る處に消費組合があつて、組合員は日用品をこゝへ買ひに行く事になつて居るが、此組合に屬する店をも賣捌所にして居る。此外肉屋、野菜屋などでも、傍ら此會の刊行圖書を賣つて居るといふ有様であるから、何處へ行つても本が買へる。今如何に此賣捌所がよく行届いて居るかを一例を舉げて示せば、ベルン州——州と云つた處で、我邦の郡の少し大きい位のものに過ぎないが——だけに四百からの賣捌所があるといふので、其大體が想像されるであらう。

斯様に賣捌に關して周到なる注意を加へてあるから、一方から見れば、本業の本屋に取つて由々敷き大敵である。で、自然之との折合が面白くなく、本屋から出し

たものを此會で翻刻しようとする場合に、相當の翻刻料を支拂ふといつても中々承知しない。夫故外國物を出さうとする時などに、既に其物が他の本屋から出版になつて居るものであれば、別に新に人に依頼して異つた翻譯をさせなければならぬといふやうな不便もある。併し公益事業であるから、營業税なども納めないのみならず、會費の外に前述の如く政府から多少の補助を受けて居るから、通俗圖書の賣捌に就いては決して普通營利を目的とする本屋に負けない。尙此三會から出版した書物は、自分も各二三冊宛持つて居るが、獨逸のレクラム其他の叢書に比較して、紙質印刷表装等が遙に勝れて居る。又其出版物も獨逸などに比較すると、教育的、教訓的のものを多く出して居る。此等も此三會の事業の一の特色であらう。それで此三會から出す本は、獨り瑞西のみならず、獨逸語の行はるゝ國には澤山輸出されて居る。獨逸の國內にもバーデンの外に、其賣捌所が多數あつて極めて評判がよい。かくて此瑞西の三會は、獨逸の今日の良書出版を目的とする會の成立の動機となつたのである。特に其著しい一例を挙げれば、獨逸のウイスバーデン民育協會は今日では良書の出版で名高いが、之は初は此三會で發行する本の

取次をして居たもので、今日獨立するやうになつたのは、全く瑞西の此會の影響に因るものである。其他獨逸詩人記念會なども亦同じく此影響を受けて成立したもので、其他にも澤山ある。

三 獨逸詩人記念會

獨逸詩人記念會は前に言つた通り瑞西の例に倣つて起つたものであつて、一九〇三年即ちパーゼルに後ること十三年に、始めてハンブルグに設けられたものである。其當時の創立者の一人にドクター・エルンスト・シュルチエーといふ人があるが、此人は俗悪文學の事に就いても種々の著述があつて、殊に此會の爲には貢獻する處が多めで、丁度獨逸青年讀物委員聯合會に於けるウルガストの如き位置を、此會に於て占めて居る。此人の獨逸詩人記念會に就いて書いた本を見ると、前の瑞西の三つの會の事については少しも言及せずして、全然無關係に偶然起つたもののやうに思はれるが、事實刺撃は瑞西の會から受けて居る事は疑ひ無い處である。諸此會は獨逸で之に類似の會の中では最も名高いものであつて、自分が普魯西

の文部省に就いて、良書出版事業の調査方法に關して色々尋ねた時に、其掛りの役人は第一に此會の名を擧げて、此會をよく調べたならば、獨逸に於ける良書出版の事業の性質の一般は、それで解ると言つた位である。此會は會員組織であるが、會員としては個人もあるが、團體加入者もある。就中、普魯西の商工務省も加入して居て、年々五百マート位の會費を補助的に納めて居る。又郡役所或は市役所などで、百マート以上の會費を納めて加入して居るものもある。其他種々なる會が團體的に加入し、また富豪の徒も會員に列して居る。總て、一萬人からの會員を有し、之が獨逸全國に散在するのみならず、奧太利、瑞西亞、米利加等に迄も及んで居る。而して此等の會員が會費も出せば、又時々寄附金も出すのである。

事業の概要を云へば、第一に良書の分配をなす事、第二に良書の出版をなす事、第三に俗悪文學攻撃及び良書普及に關する施設、特に俗悪文學の展覽會を催す事などである。先づ良書分配に就いては、どんな方法を採用して居るかといへば、之には通俗圖書館、學校圖書館、兵營圖書館、病院圖書館、消防船及び燈臺圖書館といふ様なものがあつて、良書を普通の圖書館は勿論、兵營にも病院にも、消防船にも燈臺にも

送るのである。消防船及び燈臺圖書館といふのは、獨逸の北海岸の各處にある、消防船、燈臺等に於て寂しく生活して居る人の爲に、巡廻文庫の形に於て甲處の消防船から乙處の消防船、乙處の燈臺から丙處の燈臺といふ風に、良書を廻覽せしむる方法であつて、之は新しい思付きで餘程當事者の満足を得て居る。又病院圖書館も近來は好評であるが、之も巡廻文庫の形で引換え、良書を送る仕組である。又兵營圖書館も今日迄に二百餘の各種の兵營に廻覽して遣つて居るが、併し獨逸の兵營の數は非常に多いから、全體の上から見れば、此二百といふ數は未だ極めて小部分であるから、會では先頃更に一步を進めて大規模の兵營圖書館設置の計を立て、居り、又軍艦圖書館の計をも立て、居つたから、今では之も實行して居る事であらうと思ふ。併し最も多く圖書を分配するのは通俗圖書館である。一九一〇年の一箇年間にあらゆる方面の大小三十許りの圖書館——巡廻文庫をも含む——に分配した圖書の總數が八萬冊であつて、此賣上高が卸し値に見積つて約十萬マートに達する。其中で最も多いのは通俗圖書館の二千四百に對して七萬冊で、此卸し値九萬三千マート丈を送つたので、殆んど全體の九分は通俗圖書館に分

配した譯である。で、會では此良書分配に就いては通俗圖書館に最も力を注いで居る事が明かで、事實又通俗圖書館が最も需要が多いのである。

次に第二の良書出版は、家庭文庫及び平民文庫といふ二種の叢書を、毎年十冊内外宛年々に繼續して出版し、今では其数が非常に多數に上つて居る。併し會が各種の圖書館に分配する圖書は、此等の叢書のみに限らず、一般に良書を仕入れて之を卸し値で分配して居る。

會の經濟狀態は一九一〇年には約十萬マークの歳入歳出で、其中會費としての収入は約四五萬マークである。此外に臨時多少の寄附もあることは言ふまでもない。

會の組織は略、前の「獨逸青年讀物委員聯合會」と同じであつて、總幹部に該當する「行政評議會」と云ふものがあつて、大體に互る事は此評議會に於て決定して、實行は幹部に任せてある。行政評議會の會長は現普魯西商工務大臣のヘンチヒといふ人で、幹部の會長は前に申したドクトル・エルンスト・シルチーであつて、此人が實際上萬事を處理して居つて、會の中樞人物となつて働いて居るのである。其他會計

書記などあり、又監査役が居つて會計を嚴重に監督する。又行政評議會及び幹部には、夫々各方面から出て居る議員役員も少くないが、雇員を除いては皆無給で、名譽職である。

此會の第三の事業として居るのは、俗惡文學の展覽會であるが、此事は既に俗惡文學取締の條に述べた通りである。之を始めて開いたのは一九一〇年にハンブルグで農業巡迴博覽會を催した時で、此處の一部を借りて開いたので、其時は俗惡文學に關する統計調査書類を陳列したと同時に、特に農村の爲に模範的圖書館を作つて觀覽に供した處が、地方の地主や、村役場の吏員などの注意を惹いて、爾來大に此の會の信用を高めて、其の發賣圖書を多く購入するやうになつた。併し自分が此の會の關係者に會つて聞いた處では、會の出版事業は年々盛大になるが、之と同時に類似の叢書類を出し、而かも名迄似せて、而して内容はニッタクカーター本と同じやうなものを發賣するものが段々出來て、之が爲に大に迷惑を感じて居ると語つた。それでも此會の出版物は獨逸は勿論、歐洲到る處中々評判が好いのである。其他此會に類似の事業を爲すものには、伯林の「民育普及會」を初めとして、凡そ通俗

教育を目的とする多くの會があつて、良書出版及び普及は今日では通俗教育の附物であるかの觀がある。併し、良書選定の標準のよく立つて居ること、良書を多く供給する方法のよく整うて居る事に於て、獨逸青年讀物委員聯合會と獨逸詩人記念會と、モ一つは前の瑞西の良書普及會とに勝れて居るものは無いやうであるから、今此三つのものを代表者として、之に就いて比較的詳しく述べたのである。かくの如く歐羅巴では良書出版といふことが殆んど一種の流行のやうになつて居るが、併し我邦でいふ豫約出版とは幾分其性質を異にして居る事は、前述の通りであり、且又出版圖書の性質も異つて、我邦の様に昔の作物で、學者専門家相手のものではなく、成るべく社會の多數を占むる下層人民に向つて、徳育上及び趣味養成上有益なるものを選び、古いものよりも新作物を多く出すといふ主義である。此點は我邦に於ても通俗教育上の出版普及を企てる場合などには参考にならうと思ふ。要するに書物と云ふものゝ性質、詳しく云へば營利の爲にせず、又貧富の區別を知らざる書物と云ふものゝ性質に協ふ前述の如き刊行及び普及の方法は、宜しく早晚我邦にも採用すべきものであらうと信ずるのである。

第七 青年獨逸

(獨逸の青年元氣振興策)

獨逸には、以前より小學校卒業後の青年の補習教育を目的とする各種私立の團體があつて、折角小學校にて受けた教育の効果を空しうせざる様にと、世話を致し來つたものである。此事業を普通には通俗教育(民育)と稱する。此種の團體には自から學術講演、音樂演奏、又は色々な體育上の施設などに依つて、實際に仕事をし、て青年の教育を造つて居るものもあるが、この外に唯其團體の主張する綱領の宣傳、鼓吹をなすに止まるものもある。獨逸では今日は最早八箇年の兒童就學年限では、國民教育の目的を到底充分に達することは出來ぬものと、一般に覺悟して居る。

そこで今では都市といふ都市は、皆それ以上二箇年、若くは三箇年の補習教育を義務として、之を一般に課することにして居る。獨り都市のみならず、地方にも漸次この補習教育の義務を推及ぼすことになつて居る。現に昨年度普魯西の議會

には更に新に三四の州、即ち、プロブレンツにこの義務を課するといふ法案が提出されて、異議なく可決された。當局の話に依れば、二三年以内には此義務は少くも普魯西全國を通じて、キツト一般に實施される様になるといふことであつた。而して此事、即ち補習教育を義務とするの必要は、前の民育を目的とする團體などが平生主張して、屢其筋に建議などを致したものの一つである。尤も此團體の外に、主として青年の體育を目的とする無數の組合も、ズツ以前から獨逸の各地に出來て居つた。其中でも特に國防協會と申すのは、主として壯丁の體育を目的とするものであるが、これなどは以前から頗る有力なる團體として、世に知られて居つたものである。

處が普魯西政府では、一昨年(一九一一年)の一月に「養年教養」といふ事に關して、文部省より一つの省令を發した。此省令は既に我が文部省に於ても之を翻譯して關係者に頒つて居る。さて此省令は如何ういふ者かといふに、小學校と兵營との間、即ち小學校教育を畢へて兵役に就くまでの間に存する間隙に於て、青年が最も多く邪徑に迷入るから、此間に處する教育上の注意が最も必要な事である。それ

で公共團體は勿論、私立の團體に於ても、相當其方法を講じて之を豫防して欲しい。體育の外、講演、演奏などはそれに最も適當な、且有效な手段方法である。教育家は勿論、市町村吏員、僧侶、醫師其他の有志者は宜しく協力一致して其事に當るが好いといふのである。之は丁度我が報德會、斯民會などで、これまで地方各方面の力を集めて、遣つて來た民育の事業と甚だ善く似て居る。併し流石は理窟詰めの獨逸、特に普魯西である。其爲さんとする仕事の目的と範圍とが、如何にも明瞭に限定されて居る。即ち小學校から兵營までの間隙を教育的に充たさうといふのであつて、相手は老若男女、誰でもござれといふやうな空漠たる意味のものではない。従前はこんな種類の青年教育の事業をば、獨逸では「青年救護」といつたものであるが、併しこの言葉の中には、元來親たるものが出來ない世話ネーデルラントを、他人が之に代つて爲して遣るといふ意味があるのみならず、又既に墮落したものを、心身上人並以下の謂ゆるアブノルマルな青年の世話を致すといふ意味もあつて面白くない。特に原語の Fürsorge は Fürsorgeverbindung と續けて感化教育の意味にも取れるから、青年救護の事業は其所管から言つても、自ら内務省の仕事に這入るから、かたゞ右の

やうに術語まで改めたものである。然るに小學校と兵營との間隙を充たす教育上の仕事といへば、それまでの學校教育の効果を空しうせざることを目的とする譯だから、其仕事は當然文部省の所管に屬するものである。而してこれが現今獨逸、就中普魯西が最も其力を盡して成功を圖りつゝある教育事業の一つである。前に申した民育といふ意味の廣い仕事は、これは彼の國では民間有志の事業であつて、政府は直接に關係せぬ事になつて居る。而かも此民育といふのは、能く、よく研究して見れば、實際は多くは労働者教育であつて、其目的と範圍とが餘程前に申す青年教養とは違つて居る。中には民育といふものには、政府の目から見れば甚だ面白くないものもあるやうである。併しこれは他日別に題を改めて委しくお話を致すことにしようと思ふ。

さて、さすが武健の獨逸も永い間の泰平で、青年の志氣も大に消沈し、其風紀も頗る弛んだといふ際に、獨逸國民に取つては非常に残念な事が起つた。それは外でもない、彼のモロコシ事件である。此問題の切迫した頃には、英吉利の新聞などは頻りに獨逸陸軍の怯弱を嘲つたものである。將校が背後からピストルを擬しつゝ、

號令でもせねば、獨逸の兵卒は敵に向つて進むことは出来ないなど、頗る酷いことを言つたものである。そんな、こんな事情からして、獨逸國民は大に憤慨して、其結果青年の元氣恢復といふことが、一般の大問題になつたのである。さうして遂に一昨年一月の文部省令も出て、尙其十一月には我邦の乃木大將の様な人で、且乃木大將とは懇親の間柄であつたホルツ元帥を戴ける、青年獨逸聯合團といふものが産れ出たのである。青年獨逸といふのは一寸英吉利の少年義勇團に似て居るが、其仕組はズットこれよりも大袈裟で、且其總てが獨逸式に系統立つて、如何にも徹底的に善く實行されさうである。

此青年獨逸聯合團の起つたのは、丁度自分が伯林滞在の時であつたから、其成立を耳にするが否や、ホルツ元帥に手紙を差出して、其事業の研究を許され度いと願つた。處が直ぐに其主任の人から返事が来て、喜んで面談しようといふことであつた。而已ならず、遂に同時に自分の方でも日本の青年團——返事の手紙には青年會とあつた——の事も聞きたいから、其積りで来て呉れといふことであつた。行つて見ると、主任の人は嘗て我が廣島の師團に居つたといふ陸軍將校のトロシ

ユケ氏であつた。氏は非常に快活な親切な人で、自分が尋ねる事は何んでも腹藏なく話して聴かして呉れた。其話の中には、獨逸では近頃田舎の青年の間にまで段々居酒屋入りが盛んになつて、如何うも一般に元氣がなくなつたが、貴君の國では如何うだ。武徳會など相變らず盛んかなど、いふこともあつた。そして自分の方からも先方で聴きたいといふ青年團の話などして、今後は互に通信して、聯絡を保ち合ふことに約束して別れた。其後氏からは約束を守つて、其會から新に出した機關雜誌など贈つて呉れて居る。

さて此青年獨逸聯合團といふのは、これは只今は伯林の地續きのシヤルロッテン市のウイーランド街にその事務所を設けて、右のトロシユケ氏が事務員の一人として其庶務を擔任して居る。尤も聯合團其もの、目的といふのは、自ら仕事を爲るといふよりも、これまで既に在つて、且略同一の目的を有する各種の青年教養に關する組合を統一して、互の間に重複や矛盾を起さぬようにするのが第一で、それからこんな種類の組合が未だ起つて居ない處には之を起すやうにし、又既設の組合で相談の必要があれば、其相談に應じて相當な世話も補助もするといふのである。

(1) Bundesleitung. (2) Vorstand. (3) Vorsitzender.
(4) Schatzmeister. (5) Schriftführer.

聯合團の機關としては、一切の事務を評議し且處理する爲に合議制の統率部と稱するものがある。又此統率部の中から選舉した幹部といふものがある。⁽¹⁾之に統率部は其決議で以て普通事務の處理を委任する。⁽²⁾幹部は座長、會計及び書記の三つから出來て居る。現今統率部の人員は右の幹部を含めて總て、⁽³⁾二十三人ある。聯合團の實際の事務は主として幹部で處理するも、外部に對する責任者は勿論右の統率部である。會員の募集、會金の管理、使用等は皆この統率部の名義に於てするのである。この外聯合團の重要事業たる青年教養の鼓吹や、各種同一目的の組合との聯絡保持の如きも、皆悉くこの統率部が爲すべき重なる仕事である。トロシユケ氏の話では、統率部はモ少し人員を多くする必要が無いでもないが、それでは會合を屢する譯に行かぬ事情もあるから、事務の敏活を圖るといふ精神からして、斯う人員を少くして居る。幹部の外、部員は悉く青年教養の事に經驗ある人で、是非なくてはならぬ人許りだといふことである。總て此聯合團の方針が事務の簡捷を主とすることは、自分も親しく其事務所に就いて實見した。而已ならず會から參る書簡などにも、何うか往復文書には用事だけを書いて、餘計な敬語敬稱な

どは廢めて、朝らひ度いといふことを注意してある。併し重要事件を決定する爲には、別に大なる委員がある。これは聯合團に屬する各組合の代表者と、——その員數は組合員の多少に依る——特に聯合團から委嘱した委員から出來て居る。この委員部は青年教養に關して最も多く知識と經驗とを有して、且何れも社會に重要な位置を占むる立派な人々から組織されて居るから、其議決は最も重んずべきものであるが、併し其人員も多く、且平生各地に散在して居るから、毎々之を召集する譯にも行かない。唯、重要事件ある毎に臨時之を召集して、其意見を聴くことにしてある。尤も問題の性質に依つては、委員の中から必要な人だけを呼んで、其意見を聴くことは統率部の見込に一任してある。委員は統率部から事務報告を受取り、之に對して責任解除を與ふる權利を有つて居る。右の如く統率部も委員も多大の權力を有つて居るも、聯合團其物の最後の意志は矢張團員總會に在ること勿論である。而して此團員總會は毎二箇年に一度統率部で指定する場所に開くことになつて居る。それで聯合團の機關としては、統率部、幹部、及び委員と、モ一つは團員總會である。而して此各機關の議事に當

つて、其議長は即ち前の幹部の會長が兼ねて之を務むることになつて居る。これが只今では有名なるゴルツ元帥である。併し定款上には二人の代理座長がある。而して其一人は我國にも來られた事のある、獨逸前拓殖大臣デルンブルグ氏である。其他の役員も皆知名の人が多い。それから團員は如何うかと云ふに、聯合團の性質から考へて解かるやうに、成るだけ社會の何れの階級からも募集する方針である。特に女子の團員は尤も之を歓迎するといふことになつてゐる。又聯合團の經濟は之に加入する各組合からの納金——これは統率部の議決で額を定めて各組合に割當つるのである——及び其他の有志の寄附金の外は、總て團員の納むる會費で以て立て、行くことになつて居る。併し團員の納むる會費の額は一定して居ないで、團員各自の見込に一任してある。但し一時に千マーク以上又は年三百マーク以上を納むる者は之をスチフター(寄附者の意)とすることになつて居る。それから同じ會費を納むる團員の中にも、助成團員と助務團員との二種がある。助成團員は會費で團を補助するだけで、助務團員は會費を納むる外身を以て會の事業を助くべきことになつて居る。即ち助務團員は自ら運動遊戯等に參

加するのみならず、凡て青年を訓育する任務を有して居る。而して青年團員は、會費を納むるに及ばぬ。そこで之は組合に關する法律上に於ては、正當の團員とは看られぬものである。正當の團員は右に述べた會費を納むる助成團員と助務團員とのみである。併し青年團員にしても、任意に會費を納むるは妨げはない。此場合に於ては、此會費は其青年團員が屬する組合の事業費のみに使用する筈である。又定款上に聯合團解散の場合を規定してある。此場合には其財産は獨逸帝國の國庫に寄附して、帝國內務省——帝國には文部省はない——をして獨逸青年教養の目的に使用せしむる事になつて居る。

さて此聯合團の地方に於ける代表者——委員を派遣する組合ではない——は目下普魯西では十三箇所にある。即ち軍團の所在毎に一人宛置いてある。而して代表者は多くは現役陸軍將校で、中將以下少佐以上の人である。バイエルン、サクセン、ウールテンベルグ、バーデン、ヘッセン、オルデンブルヒ等總て普魯西以外の聯邦では、其聯邦にある各種の青年教養の組合の長が、兼ねて此聯合團の代表者を務めて居る。而して此長も同く多くは陸軍將校である。キールの如き軍港では、海軍

軍人の代表者もある。中には小い聯邦では文官が其代表者である處もあるが、之は極めて尠い。尤もハンブルグやブレーメンの如き自由都市では、學務官吏等が右の代表者を務めて居る。が、併し大體から云へば、青年獨逸の仕事は、恰も軍人の仕事のやうになつて居る。前のトロシユケ氏が自分に示された地方役員の人名表に依れば、地方の代表者は軍人であるが、其評議員には文官も、教員も、實業家もあつた。氏は此事業は決して軍人專有の仕事では無い、唯、仕事の性質上軍人を頭に置く方が便利だから、自然さうなつたのだと申して居られた。又氏は頻りに此事業は全く私立のもので、政府とは何等の關係はないと申されたが、實際は右の地方特に普魯西以外の聯邦の代表者などは、多くは聯邦の首長の推薦に依つて定めたと云ふのであるから、實際は、矢張り半官的のものである。

それから今日迄に既設の青年教養の組合にして、聯合を申し出でたるものは既に澤山ある。近い内には殆んど總ての組合が聯合に加はる事になるであらうと思ふ。又これからは聯合團に於て一層盛んに新なる組合の設立を奨励し、又總ての小學校卒業生——他の高等の學校に進まざる——を、残らず何れかの組合に入

れる筈であるから、其曉には獨逸全國に涉つて統一的に、而かも獨逸特有の規律的に青年の教養、別して其體育が盛んに行はるゝことであらうと思ふ。何さま中外に聲望高いゴルト元帥を戴いて、而かも現役將校自ら進んで其任に當るといふのであるから、其成績は擧らざらんと欲するも豈得べけんやである。

それから此聯合團が主として國防上の關係から起つたものである事は、ゴルト元帥が一昨年の末に公にした聯合團設立の趣意書や、又昨年の一月に獨逸の各新聞紙に寄せた檄文を見れば能く解かる。檄文中には現今青年の元氣消沈せるを慨き、今日の有様では彼の一八九〇年の戰役普佛戰爭の様な勝利は到底六ヶしい、否或は勝敗地を換へぬとも限らぬ。そこで今後は大に青年の身體を鍛鍊して、其元氣を振作せねばならぬといふ事から説き起してある。それから世界の列強が此點に就いて早くから注意して居る事實を擧げ、佛蘭西でどうして居る、伊太利ではかうして居るといふ事を述べ、遂に日本の事に及び、日本は此點に於ては全く模範的であると稱賛してある。かくて獨逸に於てもこれ等の諸國に劣らず、小學校卒業生の總てを必ず何れの組合かに入れる様に致したいと切に希望して居る。

これで以て此聯合團の最後の目的が、國防力の増進を圖るにある事が解かる。此檄文が出た頃は例のモロッコ事件の餘熱尙冷めず、陸軍擴張論の盛んに唱へられた時であつたから、餘程世上の注意を惹起して、聯合團の景氣も却々好かつたのである。而已ならず本年は昨年の第一回陸軍擴張に引續いて、更に第二回の陸軍擴張を行つて居るから、此聯合團の事業も爾來益々隆盛を極めて居るやうである。

次に此聯合團は恰も前に申したやうに、普魯西政府に於て獎勵して居る青年教養の事と同じ目的を有つて居る。否其定款に明かに此政府の主旨を奉じて、事業を營むのだと書いてあるから、聯合團と政府とは深い關係があることは言ふまでも無い。トロシユケ氏の話では、聯合團は普魯西政府から幾分の補助を貰ふことになつて居るが、併し皆之を實際仕事を各組合に分けて遣つて、其事業費に充つるのだと言ふことである。而して實際どの位の補助を得るか、未だ創業の際であるから解らぬが、蓋し少からぬ金高であらう。これもトロシユケ氏の談であるが、聯合團では別に大々的に有志の寄附金を募集する計畫である。別けて男の子を持たぬ者からは充分取立てる積りだと、氏は頗る意氣込んで話して居た。

それから政府の方のこの種の事業に對する補助金は如何うかと申すに、これは前年度の普魯西議會で百萬マークを議決してゐる上に、昨年度の議會では更に五十萬マークの増額を議決した。恰もその折に自分は伯林に居つたが、新聞紙の報導や其筋の人の話に依ると、此増額は大に議會に歓迎せられ、滿場一致を以て可決せられた。而已ならず中には獨り男子の爲にするのみならず、女子の爲にも此種の金を支出する事にするが宜しいといふ事を論じた議員もあつた。此金額の外に普魯西では通俗圖書館補助の爲に、年々十萬マークを政府より支出することになつて居る。さて之に就き普魯西の文部省の參事官のシッパ―と申す人――重に此人に就いて自分は伯林滞在中同國の教育に關する調査をした――は此補助金は尙に少額であるが、併し實際は先づ公共團體で以て一定の補助を與へさせ、政府の方では此補助額を標準として、例へば公共團體で百マークを補助する場合には、政府に於ても之と同額の補助をするといふ風に遣つて居るから、詰り此少額の補助金は一種の刺撃劑、即ち獎勵費と視て貰はねばならぬのであると言つて、呉れ呉れも其金額の少い事に就いて疑惑を起さぬやうに注意された。そこで普魯西

政府が特に青年教養の事業の爲に支出する金額は、右の通り百五十萬マークであるが、實際、此事業の爲に使用さるゝ金額は、少くも其三倍以上、即ち凡そ五百萬マーク以上に達するものと視て宜からうと思ふ。却々太したものである。尤もこれは悉く青年獨逸の爲に使用さるゝ譯ではない。之に加入しない各種の組合にも類たるゝは勿論であるが、今の處では青年獨逸が最も有力でもあり、且其目的が最も善く政府の方針に協つて居るから、其大部分は將來は此青年獨逸の爲に支出さるゝ事になるであらう。それから一つこゝに注意して置かねばならぬ事は、普魯西政府から出る金は勿論普魯西内の事業に限つて支出せらるゝ譯であるから、バイエルン始め各聯邦の政府に於ても、普魯西同様に其國內の事業の爲に補助の道を講ずる筈である。此事に就いては普魯西と各聯邦との間にそれ／＼協議を遂げたことは新聞紙にも見えて居て、各聯邦の政府に於ても既に相當の補助を爲す事になつて居るやうである。

それから此聯合團で、獎勵する運動遊戯などの種類は如何うかといふに、獨逸には英國のクリケット米國のベースボールといふ風に、一般に流行る國民的遊戯とい

ふものはない。今日では何んでも遣つて居る。クリケットもベースボールもロンテニスも撃剣も競走も水泳も氷滑も端艇も何んでも遣つて居る。が、今日では成るだけ困厄に慣らして、心身を鍛練するに適したるものを選ぶといふ傾きがある。室内の體操よりも野外の運動を取るといふ傾きがある。其外色々なボードフィンダー(小徑を見出す人と云ふ意)など稱する冒険遊びがあつて、山林に分入つて敵を捜出すといふ様な事を遣らす。之に關しては色々な考案を立てた新しい本も續々出版されて居る。それから一寸目先の變つたもので、渉り鳥と稱する一種心身の鍛練を目的とする旅行がある。これは重に中學程度の青年を幸ひ、山野を跋涉して成るべく之をして困厄に慣れしむる事を務むる仕組のものである。其行先きの路筋なども多くは餘り人の通らぬ處を選び、而かも成るだけ徒歩で行く。已むを得ずして汽車に乗るも、この場合には四等に限つて特に許すことになつて居る。獨逸には三等の下に四等の客車がある。糧食や炊事道具も持つて行つて、野外で石塊を集めてこれを竈にして、其邊の枯木などを採つて之を燃いて以て食物拵へをするのである。宿泊も天幕を用ふるとか、農民の納屋などに於てして、成

男子「渉り鳥」野外炊事



女子「渉り鳥」遠足



男子「渉り鳥」山火事防禦演習



る可く普通の宿屋に就いてしない。途中では色々な戦争遊びなどをやるが、又餘暇にはギターに合せて「涉り鳥の歌」——こんな歌が澤山出来て居る——を歌ひなどして愉快に而かも勇壯に其日を送るのである。旅行は日返りが多いが、中には長期の休みには三四日もかゝつて大仕掛な戦争遊びなどすることもある。例へば去年のオステルン祭に當つて、北方獨逸に在る「涉り鳥」の組合が聯合して催す筈であつた戦争遊びは、昔のカール大帝對ウツテキンドの戦争に擬したるもので、リューネブルヒ、ハンブルグ、シュレスウヰヒ、リュベック、キール等の各地方に在る「涉り鳥」が各敵味方に分れて、遂にリュベックに會し、こゝで以て最後の決戦をするといふ、頗る大袈裟な仕組であつた。さてこんな事をするときには必ず軍事に精通した、専門の人が其細大の計畫を定めて遣るのである。而已ならず、豫め之に關した歴史の概要を參加者に能く教へて置いて、成るだけ史實に縁故ある地方を選び、其時の實際の状態に遠ざからぬやうに萬事仕組むのである。例へば右の戦争は火薬發明以前の事であるから、此際は銃——勿論模擬銃——を携帯させぬとかいふ風にするのである。それから又、近頃は女子の「涉り鳥」も出来た。元來西洋の女子の體育は殆

(2) Bund der Deutscher Wanderverein.

(1) Wandervogel.

(2) Alt-Wandervogel.

んど、男子と同様で、各種の運動遊戯は勿論米國當りでは女子が自働車を獨りで乗廻はして得意がつて居る位である。そこで女子の「涉り鳥」が出来るとも別段不思議もないが、それでも今までは女子の方では普通の遠足が多かつた。處が彼の地の人の話に聽くと、リュベックの女子の「涉り鳥」では昨年始めて六時間餘りも嚴寒中に積雪を踏んで、リュベックとラッテニブルグ湖との間を往復し、而かも此湖の畔にある土窟の中で炊事をして、一同非常な元氣で以て歸路に就いたといふ事である。この分で以て行けば、追々は女子も男子と同じやうに戦争遊びでも、何んでもする事になるだらうと思ふ。現に女子の兵役論なども既に一部の女子の間に問題になつて居る。衛生部員として許りでなく、輻重輸卒位には女子を採用するも好からうとの議論も出て居る。

尙少しく此「涉り鳥」の組織に就いて話して見れば、此種類のものには獨逸全國には可なり多く在るやうである。中には名稱は別になつて居ても、其實は此「涉り鳥」に同じいものもある。現にハンブルグだけの青年にしても、三つに分かれて別々な「涉り鳥」の組合に屬して居る。一つは「⁽¹⁾涉り鳥」に、一つは「⁽²⁾舊涉り鳥」に、モ一つは「⁽³⁾獨逸跋

「渉團」に屬して居る。併し自分がハンブルグに參つた頃には、前の二つの者の合併に就いて下た相談があつたから、多分今は少くも右の二つの者は既に一緒になつて、而かも前の青年獨逸聯合團に加入したこと、思ふ。さて右の組合は各地に其會員(會費を納むるもの)と渉り鳥(青年にして跋渉に加はるもの)にて一定の會費を納めざるもの(とを有して、それが一人の指導者の下に一群を爲して居る。之を名付けて地方群と稱して居る。さて此地方群の人員は極めて區々で、多いのも少いのもある。一例を擧ぐれば、舊渉り鳥のハンブルクの地方群は會員が百五十人で、渉り鳥が三百四十六人である。これなどは多い方の側で、其他は大概會員が二三十人以内で、渉り鳥が四五人以内のものが普通である。併し地方群は到る處にあるから、全體の人員をいへば却々少くはない。旅行に關しては、前以て二箇月分の「プログラム」を指導者よりして、各組合に共通の機關雜誌に掲載することになつて居る。この「プログラム」に依ると、大概毎日曜に日返りの遠足を舉行して居る。何月何日の旅行先は何處、集合の場所は何町の何處、其時刻は何時何分、歸宅は凡そ何時、引率者は誰某、經費は何マーク若くは何ペンニヒといふやうなことを日取

りの順に掲記してある。而して一體に經費は極少い。大概日返りは一マーク即ち五十錢内外で済むことになつて居る。地方群の指導者は多くは中學校の校長又は教員で、稀にはキールの如き市長自身が之を務めて居る處もある。女子の渉り鳥の指導者は申す迄もなく女子、特に女教員である。

以上は「渉り鳥」なるもの、概略である。此外にも戦争遊びを主とするものが幾箇所もあつて、中には頗る面白いものもあるが、こゝには之を略する。唯、尙一言したいのは、獨逸も早くから瑞典式の體操を大分採用して居るが、近頃は之に對して多少の反對が出て居る。現に自分が伯林市の視學の注意で參觀した「シーネベルヒ」の小學校では、寧ろ非瑞典式の體操を遣つて居る。此體操教員は「ブリッデール」と申す人で、自分は親の代から體操家で、伯林で體操學校を卒業した後、ハンブルグで拳闘、擊劍を學んだが、此上は是非日本の柔道、擊劍を學びたいといつて居つた。此人は大に瑞典式を非難して、彼んな衛生學から割出した體操は人間を柔弱にする許りで、實際の役に立つものぢやない。今日は困難に打勝つといふことが最も必要だから、其積りで以て體操を遣らなければならぬ。そこで自分は呼吸體操と擊

劍とを課して居るといつて、活動寫眞のフィルムを見せて、自分で工夫した擊劍の型の順序を説明して呉れた。それから自分に向つて、日本では何故擊劍を正科としないかと問うたから、今日では既に中學校の正科になつて居ると答へたら、無論さうならなければならぬ事だと申して居つた。之は一例だが、かゝる傾向は確かに獨逸の體育界の一部に存して居る。自分もストックホルムで彼の有名な國立體操學校を見たが、其遣方は如何にも衛生學には適つて居るやうだが、身體を鍛鍊して困難に堪へさずるといふ點では如何うかと疑つた。特に其處にある醫的體操といふのは、全く醫療の一種で、病人を相手にするものである。元來瑞典式の體操は、其開祖リングが自分の病身を土臺として工夫したもので、一體に手柔かである。又瑞典では軍備といふ事は餘り重要な事でないから、自然其體操にも其思想が雜つて居ない。それで體操としては理想的のものか知らんが、それでは獨逸のやうな國柄には適當しない。之に反して獨逸の體操はヤーンといふ人、自ら進んで戰爭にも出かけた程の非常な愛國者に依つて開基されたものであるから、初めから自然手荒い處がある。それにつき自分が伯林に居つた時に新聞紙で讀んだ面白

い昔話がある。或時一人の體操教員が生徒を引連れて、ブランデンブルグ門を通抜けた折りに、此教員先生はイキナリ一人の生徒の頬邊をビシヤリと遣つた。生徒は勿論アツトばかりに魂消た處に、先生は又もや他の一人の生徒の頭上を目がけてボカリと遣つた。そこで生徒一同は驚くまいことか、先生は氣でも狂つたかと思つて大騒ぎした。處が先生は益、不興の體で、これでも未だ氣が付かぬかと云ひつゝ、又もや他の一人を擲ぐらうとするから、生徒からお詫をして先づ其不興の次第を尋ねた處が、それはこれまで此ブランデンブルグ門の上に載せてあつた勝利の女神像が、當時ナポレオン一世に掠められて巴里の見世物になつて居るといふ國の有様だから、之を取還すようになるやうにとて、我々は斯うして心身の鍛鍊に餘念がないではないか、それにも拘らずお前達は此門を潛りながら齒がみ一つしないで平氣で居るから、それで如何うも腹が立つて堪らないで、ツイこの始末だといふ事であつた。此昔話は或は後で拵へたものかも知れんが、獨逸の體操といふのは、その以前はこんな目的のものであつて、唯、立派な圓滿な身體を作るといふばかりが、其能事でなかつたことが能く想像さるゝであらう。而して今日では此昔

の思想が稍復舊して、而かも體操ばかりでなく各種の遊戯にも及ぶやうになつたのである。尤も自分は特別に體操の事を専門的に研究した次第でないから、右の觀察が果して能く獨逸の全國に當嵌まるや否や、それは保證の限りでないが、少くも青年をして今少しく困厄に堪へるやうに教育するの必要は、其方法の如何を問はず、獨逸に於ては何人も共に之を認むる所であるやうである。

尙申し残したことは、何れの青年教養の組合でも、唯運動や遊戯を奨励する許りではない。之と同時に講演や演奏を催して、其精神の修養をも怠らぬ。旅行のプログラムの外に講演や演奏のプログラムが機關雜誌に出て居る。また、涉り鳥などでは「巢籠り」と稱へて、時々一處に集合して色々有益な話などする。而して總て前に述べた勤務團員——これは大學の學生などが多いさうである——と申すのは、唯運動遊戯等の世話をするばかりでなく、青年團員の爲に昔の愛國者や勇士名士などの物語りをして、其愛郷愛國の心を涵養すべき義務を有すといふ規定になつて居る。それから又彼の國の其筋の人の話によると、獨逸の陸軍省でも大に此頃の新氣運を歓迎して、涉り鳥などの旅行の際には兵營の一部を開けて其宿泊に

* Nesthocken.

供し、將來兵卒と寢食を共にするやうに致したいといふ事である。何れにしても大袈裟な遣方で、而かもチャンと一定の方針に依つて、着々と其實功を擧げようといふのである。或は之は英吉利の少年義勇團の眞似だといふかも知れんが、自分は稍、此二つの者を實地に就いて觀察した結果、數年ならずして、青年獨逸は英國の少年義勇團よりも、必ずより多くの成績を擧ぐるに至ることを、信じて疑はぬのである。

〔追記〕 果然、普魯西の議會は本年度に於て更に、女子教養の爲に百萬マークを支出することにして、議會一致の協賛を得た。これにて青年教養に關する國庫の支出は合計二百五十萬マークとなつた。此議決と前後して我國では一旦起つた通俗調査會は廢止の厄運に逢つたのは、誠に妙な對照である。併し彼の國でも軍人が青年教養に關係する事や、兵營に青年を宿泊させることに就いては、少數の社會黨議員などから異論を持出さるゝが、固より時の大勢を動かすことは出来ない。

第八 獨逸農村の教化事業

(獨逸地方幸福及び郷土保護協會)

西洋の通俗教育は主として都市に行はれて、特に其大規模の事業は都市中でも謂ゆる大都市に於て經營されて居るが、近來は特に農村の衰頹を防ぐ目的で、地方一般にも通俗教育を奨励することゝなつた。郷土保護會とか、民育普及會と云ふやうなもの、大概傍ら此地方の通俗教育を行つて居るが、就中地方幸福及び郷土保護協會と云ふものは、其事業も廣汎で、且獨逸でも此種の會の中では最も有力なるものである。そこで次には此會の事業を中心として、特に獨逸の地方教化事業の一斑を述べて見ようと思ふ。

此會の事業は前述の如く頗る廣汎ではあるが、併し約言すれば都市の急激なる發達に伴うて農村の漸次衰微するを防ぐと云ふのが、其主たる目的である。獨逸は近來急に工業が發達したので、毎年農村から都市に集つて來るものが特に多い。例へば一八七一年には獨逸の人口が四千八十萬であつたのが、一九一〇年には六

千四百九十萬に上つて居る。然るに二千人以下の村落では出産の數は死亡數より非常に多きに拘らず、其人口は却つて減少して居る。大都市即ち人口十萬以上の都市及び中都市即ち人口二萬以上十萬迄のものを合して、一八七一年には全人口の一二・五%であつた。然るに一九一〇年にはそれが三四・七九%に増加して居る。之に反して小都市即ち五千以上二萬迄及び地方市(町)即ち二千人より五千人迄及び其他の村即ち二千以下の人口を有する者を合して一八七一年には全人口の八七・五%であつたのが、一九一〇年には六五・二一%に減じて居る。就中今日では人口二十萬以上の都市は二十三もあり、十萬以上の都市は四十八もある。而して此十萬以上の四十八の都市に集つて居る者が全人口の二一・二八%即ち其二割一步強と云ふ者は謂ゆる大都市の住民であるのである。然るに今日でも下士官及び兵士の六〇%は、二千人以下の人口を有する農村から出て居る。であるから此儘で以て益進んで行けば、他日は必ず獨逸の兵力の上にも非常なる悪影響を及ぼす事必然である。かう云ふ次第であるから、此地方の人口減少に對する防禦策は、國家の一大問題とならざるを得ないのである。而して之には政府に於ても相當

の措置をなさねばならぬが、國民自身に於ても大に警戒を加へなければならぬと云ふので、近來は民間に於ても此防禦に關して各種の運動が起つて來たのである。然らば其防禦の方法は如何と云ふに、先づ其物質的改善策としては、地方の經濟及び社會的状態の發展を圖らねばならぬ。大資本の跋扈は地方にも行はれて土地兼併が盛んになつて來たから、之に對抗することの出來るやうにする爲には、農村銀行、貯蓄組合等を設けて小農に自衛の手段を授けて遣ると云ふことが必要である。又農民をして高利貸の犠牲にならないやうにする爲には、今一層信用組合を奨励しなければならぬ。が、差當り法律上の相談相手となつて、近來地方に遣入り込む潛りの毒手に罹らぬやうにして遣る必要がある。其他購買組合、消費組合等の各種の産業組合の普及を圖ることは言ふまでもなく、病氣、養老、火災、家畜霜害等いろ／＼の保險を附けることの奨励も亦必要である。それから今日は農村でも水道、電氣、瓦斯の如き謂ゆる文明の利器を相當使用して其便利を得させなければならぬ。又農家の副業、小作人の保護に關してもそれ／＼指導をし、奨励もしなければならぬ。以上は先づ地方の物質的方面に關する改善の方法であるが、之と

同時に其精神、的方面の改善を怠つてはならぬ。其方法としては幾らもあるが大體之を別てば衛生に關するものと、及び教育に關するものとの二つであらう。それから一般に農民の愛郷心を涵養することも、また國內殖民を奨励し及び交通機關を普及して、地方分權否分力を實行することも亦勿論缺くべからざる事である。かう數へ立て、來れば、爲すべき仕事は幾らでもあるが、要するに(一)農村の經濟状態を改善し、(二)其教化を振興し、(三)國內殖民を行うて地方の空地を充實するのが、今日一般地方の衰頹を防ぐ重なる方法であらうと云ふので、此方法を實行せんが爲に此地方幸福及び郷土保護協會と云ふものは起つたのである。

以上三箇條に分けた此會の事業の中で、第一と第三とは自分の専門以外の事であるから之は略して、唯、第二の農村の教化、即ち廣い意味の教育に關して、少しく述べて見たいと思ふ。農民の生活は一寸見ると、都市の生活に比ぶれば面白くない。が併し能く味つて見ると、中々興味濃かなもので、純朴にして飾氣のない中に言ふべからざる面白味がある者である。農民をして此面白味を覺らすると云ふ事は、彼等をして其土地に親しみまする所以であるから、之は實に大切な問題の一である。

そこで、此會では成るべく農村に共同集會所(Gemeinschaftshaus)を設けさす事を奨励する。併し之は必しも新に金を出して建築するには及ばない。教會、學校等の古建物とか、又は學校内の體操場等を利用して之に充つるのである。マ―一種の俱樂部である。此俱樂部に村の人々、就中若者等が時々集會して或は講話を聴いたり、或は合唱を催したり、或は其他總て共同的の娛樂を爲すのである。こんなものが無いと、兎角飲食店などに近寄つて酒を飲んだり、其他好くない事をする様になる。而已ならず此建物が無いと、第一總て共同的の娛樂をしようと思つてもそれが出来ない。

又近來は獨逸でも地方が追々と都市の眞似をするので、地方固有の我國で云ふ村祭の遊樂のやうなものが漸く廢つて來る。それで此會ではこんな地方傳來の舊慣を取調べて之を保存する事を努めて居る。いろ／＼昔の舞蹈や俚謠のやうなもの(Folklore)を研究して、其結果を本にして之を出版して居る。自分の手元にも獨逸地方人民の祭式及び遊戯(Festspiele)と云ふ本が一冊あつて、其中には年中行事の體裁で降誕祭、戒食節、復活節、五旬祭、收穫祭等に關した儀式と及び各種の此際に舉行する遊戯とに就いて述べてあるが、實際どんな事をするのであるかは一々實地に就いて見な



祭ルーロネルカ

いから能くは分らぬが、何んなでも儀式も遊戯も主として地方固有のもので、概して單純な無邪氣なもので、我國の鎮守祭や盆踊と云つたやうな類が多いやうである。尤も例のカルネワール祭だけは見たことがあるが、之は全く東京の山王祭の大きいもので、それに一層多く道化趣味を加へたものである。それから又村芝居と云ふのも亦此會で頻りに奨励して居る。之が爲に會には特別な委員があつて、地方向きの簡單な脚本を集めて「村芝居」と云ふ書物を出版して居る。又若し地方から注文をすれば、此委員の方で適當な脚本を選定して與ふことになつて居る。尤も地方向きの脚本は今日までは餘り好いものが出來て居ないから、此會では作者の方に相談して成るべくそれを作らする事に盡力して居る。農村生活を描いた脚本を農村

で興行すると云ふことは、至極好い思付である。これは我國でも行つたら宜からうと思ふ。東京の真中で興行するものを田舎の隅でも興行するのは、これは観客の嗜好に合はぬのみならず、風教上にも悪い結果を生ずる。それから又近來は教育を目的とする巡廻劇場と云ふものが盛んになつて來た。これは新に地方の爲に作つた脚本も興行するが、其主なる目的は品の好いクラシック物を地方にも興行して、其處の住民の趣味の向上を圖ると云ふ事にある。伯林にある民普及會其他でも之を行つるが、ライン河及びマイン河の沿岸地方を包括する。ライン・マイン民育聯合會と云ふ會では最も盛んに之を實行して居る。一九〇九年乃至一〇年に此聯合會で催した興行が百八十回で、其中四十回は人口二千五百以下の村で催したと云ふことである。併し此巡廻劇場は専門俳優が前に云つたやうに主としてクラシック物を打つのであるから、此會で主として奨勵して居る簡單な村芝居とは其趣が異つて居る。此會で集めて居る脚本は道具も多く要らず、又所作も込入つてゐない素人にでも出来るやうなもので、特に農村生活の趣味を描いて農民に土着心を起さすやうに仕組んだものである。これも今は追々各地に行はれて、其成

績は大に見るべきものがあると云ふことである。其他地方圖書館も近來益々盛んである。併しこれは他の場合に話して置いたから茲には申さぬ。

郷土保護の運動も近來益々盛んである。普魯西政府では夙に古代記念物の保護に關する法律の草案が出来て居るが、それは未だ色々の故障がふつて發布の運びに至らぬ。併し年々名所舊蹟が實利一點張りの起業の爲に其犠牲に供せらるゝから、之に關しては議會を始め各種の郷土保護を目的とする會でも頻りと研究を始めて、而かも既に多數の公共團體では其地方限りの條例で以て管内記念物の保護を圖つて居る。而して保護すべき記念物としては、名所舊蹟の外に森林、生壻、池沼、鳥類等もある。農村特有の建築、服装等も亦其中に加へられてゐる。獨逸の國民はフランケンとかシラーセンとか、其血統を異にした二三種の民族から出來て居るから、其地方々々の農民の住家の構造等にも各、其特色が備はつて、之を研究して見ると面白いさうである。で、かゝる農民の住家の建築を學術的に研究する事を學校の内でも遣るやうになつて來た。即ちシャルロッテンの高等工業學校の教授のチエザールと云ふ人が一昨々年始めて應用郷土藝術として此題目に關して講演

を開いた。無論此以前からして地方風俗の研究は随分盛んであつて、面白い本も澤山公にせられてある。特に此郷土保護に關しては獨逸全國に亙つた大なる郷土保護聯合會と云ふ會があつて、時々會合して種々意見を交換して居る。現に昨年(1)も此會合があつて我國の留學生も出席して其情況を書いた報告書が官報に出

て居る。併し近來の大勢では、此郷土保護の事業は追々と各地に起る、此會から分

かれて獨立した同じ目的を有する謂ゆる地方協會の手に移るやうである。

それから、村落博物館の事業、これは近來別けて盛んである。各地方で郷土の古物を集めて展覽會を催すことも流行する。一九一〇年にアイゼナハでは其處の博物館でチリゲン古代の衣服展覽會を催したが、中々評判が好かつた。此種の臨時の展覽會などが刺撃になつて、近來は年々諸處の村落で村落博物館を起すやうになつて來た。ワイマル大侯國の教育局などでは其領内の一部で既に實行して居るやうに、領内の各地方でも必ず最寄りの學校に其土地に縁故ある古物を蒐集して、之を學校の教授に利用する様にと特に注意書を發して居る。此外に特に参考にならうと思ふ事は、バイエルン王國のノイスタット——ノイスタットとは新町

と云ふ意味で獨逸には數箇處に在る。これはザール河の新町と云ふ其中の一である——と云ふ人口二千人許りの小さな町では、近年當局者から一の告示を公にした事がある。而して其注意の趣旨と云ふのが如何にも親切丁寧である。曰く、近來は商人、仲買、蒐集家等にして地方を旅行して古物の買入れを爲す者が極めて多い。如何なる僻村でも此種の人物が這入り込んで、古物の持主を口説き落とし廻はつて居る。僅かばかりの代價で品物を買取つて、これを都市に持つて行つて、大い商人に轉賣し、それで甘い汁を吸つて居る。而して此大い商人は更に之を金持の蒐集家又は資金の裕かな博物館に轉賣して、それで又前者に劣らぬ多額な利益を貪つて居る。彼等が主として目指して居るものは中世紀の木彫類である。此外彫刻物、壁額、天井板、格子、宿屋看板、錫製家具及び土器、陶器、硝子器などから古文書、肉筆物及び總て古本類も彼等の注目する所である。往々戸飾、窓飾及び其他の飾付を取外して賣拂ふものもある。甚しきに至つては禮拜堂の十字架、殉教柱及び其他の形像まで此商人等の手に奪ひ去らるゝことがある。勿論我住民に限つて故なくかゝる祖先の記念物を手放しすることはあるまいと信ずるも、萬一にも

其必要に逼られたる場合には、バイエルン國內には多くの博物館があれば、先づ之に往つて相談をするが宜いと思ふ。總じて一定の建物に附屬する古物は之から分離するのは好くない。それで其一部分を所有する人は、どうか進んで之を元の場所に返し、元のまゝに保存することに努められたい。又假令簡單なる日用品にしても、苟も此町又はレーン地方に——レーンは我國の五家庄と云ふやうな處で同名の山中に在る——に縁故を有するものを賣拂はんと欲する人は、先づ之をレーン博物館に提出して、然る後に處分方を決せられん事を望む云々とある。

これが右のノイスタットの役場から出した告示の大意であるが、之を讀んで見ると、或はこれは我國の地方の爲に特に訓誡を爲すのではあるまいかと思はる。節が多い。元來支那人は保守主義と言はれて居るが、昔の記念物などに對する取扱は實に亂暴である。之に反して西洋人は進歩主義で發明又發明で日々目先きを換へて居るが、一方には非常に保守主義で古物、舊記の保存に大に力を盡して居る。到る處の市廳には大概其市に關する古物、舊記の類を蒐集してゐる。就中倫敦市廳の圖書館、博物館及び繪畫館は世に名高いもので、博物館などは其地の發掘物な



部一の館博天野名一館物博土郷るけ於に内閣物動ヒキアスヒコーケ
てつ條に例の典理が氏スーラク・トーラムイハゲ長岡同は之)
(のもたし置設に岡同てめ初て以を目的の存保信古の逸獨

どを多數陳列して全く一種の人類學博物館を見るやうで、倫敦の古今の沿革が能く分かる。獨逸では市廳の陳列以外に特に其地方の歴史的古物舊記を集めた大きな博物館もある。伯林の地方博物館、フランクフルト、アムマインの舊記館の如きは即ち其例で、外にも此種のもものが幾らもある。それで前の村落博物館の如きも亦、此國民一般の保存を好む傾向が近來は地方にも普及した結果、追々と起つて來たものであらうが、併し此會の奨励なども亦今日の盛況を致すに與つて大に力あることは勿論である。郷土保護に關しては右の如き大勢であるから、隨つて郷土に關する歴史的、研究的、近來は中々盛んである。而かもそれが我國のやうに縣史、市史と云ふやうな稍廣いものばかりでなく、隨分小さな部落に

まで立入つて、其に關した事を歴史的に、否詳しく云へば文明史的に研究するのである。而して此研究者は多くは其處に居る教員、牧師等であつて、之を研究した結果を利用して其處の住民の愛郷心を養成する手段となして居る。學校教育の事は後に廻して、此處で一、寸宗教と郷土との關係を云へば、教會の方でも今日では傳道上特に地方の事情を研究する必要を認めて居る。その爲には、村落教會（Dorfkirchen）と云ふ雜誌も發行されて居る。説教の方法も地方では自から都市と異つて、其事情に適切であるやうに工夫する必要がある。さうするには先づ其事に當るものが能く地方の人情風俗を理會して居らねばならぬ。外から持つて行つてクッ付けるやうな説教では何んの役にも立たぬ。聽く人を其心の底からして動かさうとすれば、之は其處の人情風俗を充分に理會したものでなければ出來ない。それで教會でもかう云ふ風に特に地方の研究に其力を盡す事になつたのである。加之教會の方では近來は更に一步を進めて、牧師は悉く此地方幸福及び郷土保護協會（Heimat- und Wohlfahrtsvereine）に加入して共に其事業に従事する事に決議して居る。一九一〇年にケーニヒスベルヒ（Königsberg）に於ける牧師大會の決議は即ちそれで、其中には右の趣旨の外此地方幸福及び郷

¹⁾ Einfache christliche Grabmaler für Niederdeutschland.

²⁾ Prof. E. Högg.

土保護協會の主義に基く農村保護に關する講座を哲學科大學及び神學科大學に設け、特に神學科大學では實際的神學及び郷土的教會史と云ふ題目で講義を開くべしと云ふやうな希望を發表して居る。此外教會では近來地方教會の舊慣なども往々廢れて來るから、こんな事も能く調査して保存するやうに務めて居る。特に從來地方に行はれた墓碑と云ふのは頗る純朴で又高雅なものであつたが、近來は工場製の一寸見の好い粗製品が地方にも流行して其品格が下つて來たから、此弊を防ぐ爲に牧師と技術家とが協力して地方の情況に適する墓碑を研究をして、其結果を發表するなど云ふ事も爲して居る。前の村落教會と云ふ雜誌の附録として出た、¹⁾ 低地獨逸の爲の簡單なる基督的墓碑は、²⁾ プレイメンの工業博物館長プロフ・ニール・ヘッゲの指導の下で、プレイメンの建築家が牧師のホルツと云ふ人と協力して、特に地方向きの墓碑に關して其模範を示したもので、今日流行の工場製墓碑の跋扈を抑ゆるには餘程効果が多いと云ふ事である。

それから前に村芝居の事を言つたが、こればかりではない、此會では繪畫の如き美術に對する趣味も亦之を地方に普及させよう、と骨折つて居る。一九一〇年に

ハンブルグで獨逸農會の第二十四回巡迴博覽會が開かれた時、此會の催して特に地方の爲に繪畫展覽會を催した。此展覽會は八部に分かれて、第一部は宗教畫、第二部は農業畫、第三部は地方特有の郷土藝術、第四部は風景及び浮世繪、第五部は雜、第六部は廢狀、第七部は教訓壁額、第八部は圖案であつて、毎日大入りを取つたと云ふ事である。此種の繪畫展覽會で、而かも右の如く特に地方向きと限らず、一般に古今の傑作を複製して之を地方の住民の間に播布する目的の展覽會は、此外にも處々で催されて居る。南バイエルン民育普及聯合會でも同年中に南バイエルン地方の十三箇所の小村で此種の展覽會を開き、數千枚の複製古畫を賣つたと云ふことである。尙此外にも他のいろいろの會で之を行ひ、又地方の教員などが學校の教室で此展覽會を開くこともある。代價は普通よりは餘程廉くなつて居るから、貧乏人でも之を買ふことが出来る。かくの如くにして漸次高尚なる美術趣味が村落の隅々までも普及するやうになる。田舎廻りの怪しい畫家に對して、多額の金を拂ふよりは、確かな名畫の忠實な複製を買ふ方が寧ろ大に得策である。特に其郷土で出來た美術品を集めて、之を其住民に見せることは、之は教育上から見

ても亦最も利益ある方法であらうと思ふ。

次は地方學校教育の事であるが、此點に關して、農村保護と云ふ方面から、目下大なる問題となつて居るのは、農業補習學校である。近來此學校に關しては、獨逸の聯邦では何れも大に其力を盡して居る。普魯西では一八九九年から一九〇九年に至る十年間に、此學校が千四十六校から四千五十三校に殖え、又其生徒が一萬四千八百二十三人から六萬一千八百四十二人に増して居る。既にヘッセン、ナッソー、ハノーヴァー、シレージエン外五六の州の爲には、其公共團體に於て此補習教育を強制し得る法律が發布され、其餘の州の爲にも追々とそれが出來ることになつて居るから、近い將來に於ては普魯西全國に互つて此補習教育が強制的に實施せらるるに相違ない。尤も普魯西では初めから一律に之を強制しないで、能く州の事情を考へて強制しても差支ないと見る州の爲には、漸次議會の協賛を経て其公共團體に於て之を強制し得る權力を授くるのである。今年の議會には其案が出て居ないが、昨年の議會には二三州の爲に新に此權力を與ふる議案が提出されて可決された。此農業補習學校は普魯西では農務省の所管に屬して、其案も監督規定

も此省で以て拵へるのである。而して其大體の方針としては、成るべく土地の情況に適應するやうにして、之を劃一にしない。随つて又右法律が出たからと云つて、何れの町村でも一齊に之を設置すると云ふ譯ではない。これを設置すると否とは町村の任意である。併し設置した上は、町村に此教育を強制する權力がある。併し今日の現状では、普魯西全國で此學校が大概十三若しくは十四町村毎に一箇の割合で、但、ヘッセン、ナッソー州だけは三町村毎に一箇の割合になつて、最も能く普及して居る。而してこれは全く右の強制法發布の結果である。學校の設置は町村の任意であつても、斯様な法律があると自然町村でも多く之を設置するやうになる。此會などでは會の主義として、頻りに其他の州に對しても此強制法の成るべく早く發布せらるゝやうに運動して居る。普魯西以外の國では、普魯西よりも進んだ事をして居るものも少くないが、概して言へば未だ此補習學校は一般に強制されて居ない。併し大勢は既に定まつて居て、早晚獨逸全國を通じて此補習學校が純然たる義務教育となることは蓋し疑ひがない。

かく補習學校即ち農業補習學校は増設されても、尙此學校以上の青年は依然と

して學校監督の以外に於て放縱な生活をすることを免れない。それで此種の青年を何等かの方法で取締つて行かねばならぬと云ふので、一九一〇年に普魯西政府では彼の有名な青年教育に關する文部省令を發布して、今は盛んに地方の通俗教育又は體育等を目的とする各種の團體をして、青年の風紀矯正及び元氣振作に努めさせて居る。この事は他の場合に詳しく話して置いたから茲には略する。

それから小學校教員養成の事に就いて、尙一言したいことがある。獨逸では單級學校の数が中々多い。而して言ふまでもなく此學校は主として農村にあるから、此處に奉職する教員は老練な地方の事情に通じたものでなければならぬが、實際は師範學校の新卒業者などが多く此學校に従事して居る。それで之を改善したいとの運動も盛んである。でも普魯西では小學校教員の養成に關しては、昔から餘程善く農村教育の事に注意して施設して居る。例へば現在百七十四の全國の師範學校中、其百三校は悉く人口一萬以下の小都市に在る。これまで伯林第一の繁華なフリードリヒ街に在つた師範學校なども、近年に至つて郊外のスバンダウと云ふ閑靜な小都市の而かも野原の中に移轉した。これは其卒業生が概して地

方の小學校に奉職するのであるから、在學中に於ても成るべく地方の事情を實地に研究させる爲にさう云ふ事にしたのである。加之、文部省では前の地方幸福及び郷土保護協會などの事業に就いては、師範學校卒業生は能く注意して、傍ら此會の精神の貫徹を助けるやうにせよと訓示までして居る。

次に軍隊に於ける農業教育、これも近來は可なり好成绩を収めて居る。尤も此農業教育は農業上の知識技能を授くる事を主とせず、農村農業等に關する一般的概念を授け、地方生活の眞味を知らしめ、農村と國防との關係を説き、其他一般に愛郷心を涵養すると云ふやうな事に重きを置くのである。之は各地方で遣つて居る。講師は多く此會又は此會の支會等から出して居る。伯林附近の兵營では、此會の前理事であつたブレンニングと云ふ人が主として此講演を擔任して居る。東普魯西州では一般に此農村保護に關する運動が盛んであるが、此處では講演に出席した兵士をして農業的手工の競争をなさしめ、終つて褒賞式を舉行して大に農事思想を鼓吹するなど云ふ事も行つて居る。それから序であるから茲に申して置くが、此處では前に牧師會で議決した大學に農村保護に關する講義を開くと

*Löwenhagen.

云ふ事も既に實行して居る。一九一〇年に此處の支會長からケーニヒスベルヒの大學に交渉して、其理事を或教授の助手として、之をして將來地方の事業に従事せんと欲する學生の爲に農村保護に關する講義をなさしめた。尙講師は其講義を實地の見學にて補充する目的で、學生を引率して農村保護に關して模範村と稱せらる、レーウエンハーゲンの寺領の視察をなしたと云ふ事である。此外、此處では右の理事をして、州内の二箇師範學校（カトリックとプロテスタント）に就いて、各前後六回の土曜講演を、同じ問題に就いて開かした處が、これも好評であつて、州の大守の方では、今後は各師範學校に於て定期順番に此講演を開くのみならず、郡教員協會又は郡教員協議會等に於ても同様時々之に關する講演を爲すことに定むるに至つた。

尙農村保護の事業としては、貧民田を設くる事や、乳牛を貸付する事や、産婦乳兒を保護する事や、看護婦産婆を養成する事や、共同浴場を設置する事や、無職業者に職業を授くる事や、節酒の習慣を養成する事や、女子に家政に關する教授を施す事や、其他總て一層衛生を改善する事や、數へ來れば殆んど際限もないが、併し其中の重なる教化事業として現に獨逸に於て特に力を盡して獎勵且實行して居る者は

大概前に挙げた位のものである。而して此事業を見れば、我國に於ても既に多少は實施されて居るものもあつて、——兵營内の農業教育も既に我國に行はれて居る——敢て悉く珍しい事柄と云ふ譯ではないが、但、官吏、公吏、教員の外に、特に僧侶が、此事業の中心となつて大に働いて居るのは、我國では大に之を鑑戒として可からうと思ふ。前の模範村のレーウエンバーゲンの如きも、其處の中樞人物は牧師のウインクレルと云ふ人で、此人が土地の教員等と協同して其事業を完成したと云ふ事である。それからモ一つは彼地の事業に就いて一寸目先きの變つて居る點は、遊戯娛樂に最も力を盡して、之を善用することである。我國のやうに農民に向つては唯、勤儉とか風紀とか喧しい事ばかりを注文せず、農民をして成るべく其生業を楽しみ、其土地に安んじさする爲に、其日常の生活を出來る丈活潑に愉快にさせるやうに注意して居る。前のレーウエンバーゲンの如きも村落には稀に見る立派な共同集會所を有つて、此處は一村の男女老若が集つて講演を聴き、談話もし、また唱歌、音樂、演劇等も舉行するのである。又此集會所の外に大地積の運動場も有つて、各種の遊戯運動も盛んに獎勵して居る。最も獨逸でも此地方幸福及び郷土保

護協會の主義に基く遣方に就いては異論を唱ふる人もある。斯様な遣口は、我國で云へば謂ゆるハイカラで、往々農民の氣象を柔弱にする、農民などに藝術を味はするのには農民の特色たる純朴の性質を失はしむるものであるとか云ふ風な批難を加ふる者もある。で、獨逸の農會は大抵此會に加入して居るも、中には前述の如き反對意見からして入會を欲しないものもある。併し實際には斯様な悪い結果は少しもない。加之農民であるからと云つて、國民共有の文化以外に立たしめんとするのは道理に合はない。況んや強ひて一般の文化から農民を遠けんとするれば、農民は必ず他の方法で以て却つて悪い方面に向つて其欲望を充たすやうになる。それで今日では右の如く一部の反對あるに拘はらず、前述の如き農村保護の事業は少くも有識者の間に於ては一般に是認されて居る。

追々話は横路に入つたから、元に戻つて最後に此會の組織並に其現状を述べて此講演の結末を付けやうと思ふ。地方幸福及び郷土保護協會は會員組織の公法人であつて、會長は普魯西農務省の局長と云つてもエキセレンツの稱號を有する
*ドクトル・チールと云ふ人で、幹部には國會議員、大學教授、農會長、地方協會會長等の外

*Dr. Thiel.

に前に屢言つた中央民福會の理事等も加はつて居る。理事はプロフッソール、ゾーリンレーと云ふ、此方面に於ては諸種の著述もあつて最も知名な人が務めて居る。會は本會と支會とに分かれて、本會の事務所は柏林に在る。支會は東普魯西州以下の五州に設けて、各其首都に事務所がある。本會支會を通じての會員は個人五百二十人、團體五百六十六箇で合計五千七百七十二人である。此外前に申した本會より獨立して之と聯合して居る地方協會と云ふものがバーデン、ウールテンベルヒ、チーリングゲン、メクレンブルグ等の諸國にあつて、其會員が五千五百十四人であるから、本會支會及び地方協會を合するとき、總計約一萬二千人に達して居る。此會は元一八九六年に普魯西及びサクセン政府の援助に依つて成立したと云ふ緣故からして、會員の會費——之は農會は百マーク、小村は十マーク、個人は六マークと云ふ風に相手に依つて多少がある——寄附金の外、獨逸帝國內の内務省、普魯西の農務省、普魯西バイエルン及びサクセンの内務省、并にオルデンブルグの政府から多少の補助金を受けて居る。一年の收支は約四萬マークであつて、事業の割合に金は多く使つて居ない。之は此會は主義の鼓吹を主として、自分では別に何

等直接に事業を經營しないからである。(以上數字に關する調査は一九一〇年乃至一一年の現在に依る) 此會の機關雜誌は「地方」と題して前のゾーリンレー氏が其主筆をして居る。會員には之を無代で配付し、尙質問相談に應答する。此雜誌の外に農村保護事業に關して實際の参考になる幾多の著書を發行して居る。其中で「地方幸福及び郷土保護の案内」と云ふ本は最も有名である。又前に言つた村落教會の外、地方の社會的事業を報告する「郡及び町村行政」と云ふ月刊雜誌等も此會の勸誘に基いて發行するものである。尙一つ申して置きたいことは此會には前述の如く村芝居に關する委員が設けてある外に、農家の趣味養成の目的を以て開く繪畫展覽會に關する特別の一部があつて、地方の依頼に應じ運賃は先持ち、其他は一切無料にて必要丈の繪畫を送付する事にしてある。之が前に話した各地に催す複製繪畫等の展覽會の世話をするのである。其他に此會で地方新聞をして成るべく、其郷土的農村的の特色を保たしむる爲に、特に會員をして其記事を助けさする事にして居るなども如何にも、其注意の周到なるに感服せざるを得ない點である。

第九

ドレスデンに於ける民福協會の事業 「平民娛樂及び平民親睦會」

三一六

歐米諸國に於ては、公益事業は他の場合に述ぶる如く、大なる會社などが主となつて之を起す例が多いが、又特に篤志の人が首唱して同志の人を集めて其國民の生活を幸福にしようと努力する例も少くない。此類の事業中で名高いものは、ドレスデンの民福協會の事業であらう。此協會は一八八八年の創立で、其第一の目的は國民に高尚なる娛樂を與ふるに在る。殊に終日生活難と戦ふ労働者に少時間なりとも慰安を與へて、處世の苦痛を忘れしむるといふ點にある。労働者などいふ者はとかく處世上の苦痛の爲に、餘暇さへあれば動もするとアルコールに近づいて、其結果自墮落になり勝ちである。而してかゝる弊害を避けるには、之をして品好き芝居を觀させ、面白い談話を聽かせなどするのが一番可い。此協會は初めは禁酒の目的で設立せられたものであつたが、今日は仕事の範圍が非常に擴大して、禁酒といふ事は只其仕事の一部となつて居る。第二の目的は國民の階

級を調和し、相互憎惡の念を去つて、共に平和の生活をなさしむるといふことにあ
る。日曜日丈は教會に行つて、神様の前で暫くの間は人間が平等の位置に立つて、階級といふ事を忘れるが、其他の時は貧富貴賤と云ふ考が頭の中を去らないで、互に面白くない感じを持つて居る。加之、平日は此教會で受けるやうな精神上の感化を受くる機會が殆んどない。それで上下打混して交際をし、又互の親睦を圖り、兼ねて此感化の機會を多くする爲に一種の施設が必要となつて來る。而して此會は則ち此施設を爲して、而かも其施設が模範的であるといふので、世界の評判になつて居る次第である。獨逸には平民娛樂及び平民親睦といふ事があつて、此會は特に此事を實行して居るのである。而かもそれが非常に甘く行はれて居る。これは一つには獨逸の南方に行けば行く程、一般に上下の階級が圓滑に交際して、役人などでも北方のやうに威張らないから、さういふ結果にもなるが、併し其原因は唯こればかりではない。其主唱者ドクトル・ウィクトル・ベームルトを始め幹部の人々の注意宜しきを得て居るからである。此ベームルトといふ人は經濟學者であつて、當時はサクセン政府の統計局長で高等工業學校の教授を兼ねて居た人で、

社會政策に關する著述なども數種あつて、此方面に於ける功勞者であるが、此人が今から凡そ二十餘年前に始めて此會を起し、爾來年々會員が増加して、今日は會員の數が一萬二三千人に達して、殆ど總ての階級を網羅して居る。會費は年に三マ^{ルク}であつて、會員から得る總額は二萬四五千マ^{ルク}に過ぎぬが、其他篤志家の寄附金、遺産の贈與等が斷えずあつて、毎年凡そ六萬マ^{ルク}を收入し、又之に相當する支出をなして居る。それで此會は右の如く會員と云ふものこそ一萬二三千人に過ぎないが、其家族を合算するときは、此處の五十萬の人口の十分の一になるから、實際はド^{レス}デ^ン市民全體の共有物と云つても、可い程の關係の廣いものになつて居る。

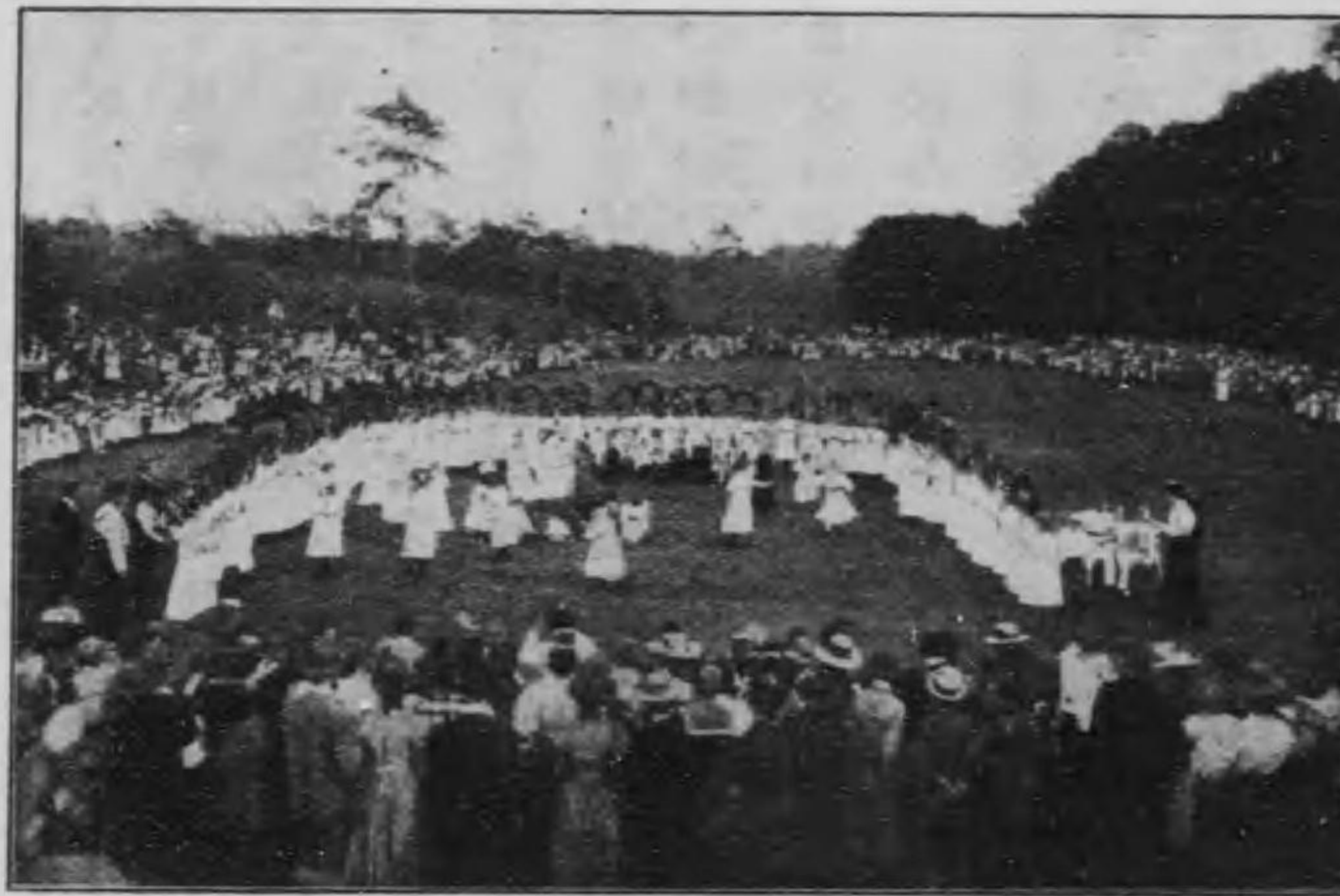
今此會の事業の大要を述べんに、ド^{レス}デ^ン市を横斷するエル^ベ河の上流の河岸近くにゐるハイ^デバルクと云ふ公園の松林の一部を借受けて、此處を以て會員の共同遊び場に充て、新聞雜誌も見られ、又廉價で食事をなす事も出来る、平民館といふ一寸したバラック式の建築があつて、其外運動遊戯に關する設備も相當にしてゐる。藥劑綑帶等應急治療を施す丈の用意は整つて居る。此處では時々運動會

*Volkshaim.

などを催すのみならず、野天芝居をも興行する。成る丈金を使はずに清新なる娛樂をさする仕組であるから、ド^{レス}デ^ンの市民、就中貧乏人などは喜んで此處に集つて來る。ハイ^デバルクの施設は漸く世間にも聞えて、瑞典のゴ^ーテン^{ブル}グを始め其他の歐羅巴の都市でも之に倣つて施設して居るものが少くない。此處は前述の如く市街を離れた森林の中にあるから、空氣は清新で最も散歩運動に適する。而して此處へ行くには電車なれば三四十分で充分である。又此處に行くには電車の外に小蒸汽船の便があつて、之が子供の團體などの送り迎へをして呉れる。それから斯様な場所には兎角不自由勝ちである水道の水が、此處では直ぐ近處の兵營に引いてゐる軍隊用のものを陸軍省から、特に之を分つて呉れることになつて居る。野天芝居興行の際には昔のアン^フィ^テア^{ター}の形を採つて座席千五百許りを設けるが、大入の時は三千人以上もあるから、其時は多くは周圍に幾重にもなつて立見をして居る。出し物は言ふまでもなくクラシクな教育上善なきものである。兒童は十ペン^ニヒ(五錢)會員は二十ペン^ニヒ、會員以外は三十五ペン^ニヒの廉價を以て見物させる。役者には初めは兒童を使つたが、これは教育上好く

三二〇

ないと教育關係者から苦情があつたので、今日では本職の俳優に出て貰つて居る。芝居の外に小學校兒童より成る唱歌の團體があつて、此處で演奏をする。之を聴く兩親達は今更の如くに己が兒童の伎倆に驚いて、これが話の種になつて會員になるものが多いといふことである。或時此團體がハイデバルクからの歸り路に、王城の前で當時御不例であつた國王の爲に平癒を祈る唱歌を歌つて、大に國王の御感に與つたといふやうな事もある。それから又年に幾回かは此ハイデバルクの野天芝居を各派の教會で宗教上の式場に利用する。時としてはオルガンの代りに喇叭を吹奏し、之に伴れて集つた老若男女が一齊に讚美歌を歌ふのである。其聲が木魂に響いて何んとも云ひ知れぬ感^ハが起る。教會の本堂で聴くよりは、此方が餘程敬神の念を起す效がある^ハと云ふことである。ハイデバルクは言ふ迄もなく誰れ彼れの差別なく一般の娛樂場であるから、幼稚園の幼兒も來る、青年の團體も來る、女工の連中も來る。そして一日の休みを此處で愉快に暮らすのである。ハイデバルクの位置は丁度東京の隅田川の上流の水神の森を大きくしたやうな處で、其遊び方は過般報知新聞社の催して行つた羽田海水浴場に於ける運動會と



ハイデバルクに於ける兒童遊戯

いつたやうな風である。併し日本の如く名義は運動會であるが、其實は飲食ひの會であると云ふことは、特に此會では務めて避けて居る。

此會のモ一つの事業は、平民館と云ふもの、設置である。ハイデバルクにも之が一箇所置いてあるが、此外にドレスデン市中に尙七箇所ある。之を設置する目的は、今日では段々と料理屋に行つて食事をなす風が盛んになつて、特に中以下の社會ではさうである。然るに料理屋といふものは一般に殺風景なものである。尤も西洋の料理屋は日本の料理屋のやうに贅澤をしに行く處では無い。食事が主であるが、それでも矢張り酒を飲ん

で無用な費用がかかる。で此弊を救はんが爲に、此會では右の様に市中七箇所
 平民館といふものを建て、居る。此處には會員以外の人も出入りが出来て、而
 も只新聞を讀んで休息するだけでも差支ない。立派な位置の人も時々来て勞働
 者など、珈琲を飲みながら談話を交換する。無論食事の用意はいつも充分に整
 つて居る。そして之を殆ど原價同様で客の求に應ずるのである。こゝは食事が
 主であるから、酒はビールに限つて、其他のアルコール分を含んだものは一切賣ら
 ない。ビールでも坊間普通の價と同じで敢て廉くない。煙草もさうである。之
 に反して、アルコール分の無いリモナードや牛乳、珈琲は坊間よりも非常に廉價で
 賣る。それから此平民館には會の費用で一人の支配人を置いてある。即ち有給
 の役人が其仕事をして居る。であるから、別に強ひて酒などを多く賣つて金儲け
 をせずとも可い。随つて會の禁酒主義も此處では實行される譯である。自分も
 會から附けて呉れた案内者の案内で以て其中の一箇所を見たが、階下は臺所、食堂、
 階上は閱覽所、談話室等であつて、後の方には小さいながらも一寸した運動の出来る
 庭も附いて居た。案内者の話では謂ゆる平民館は大小不同で、八十人から二百人

位の人の晝食をなし得る設備であるさうで、其中で最も大なるものは民福協會所
 屬の青年會の集會所で、こゝには百人以上の人が冬はスケーティングをなし得る設
 備もしてあるさうである。參觀した時はまだ朝の内であつたので、臺所では盛ん
 に晝食の用意をして居た。馳走になつた大きな磁器のコップの一杯の珈琲がたつ
 た五ペンニヒである、モット小さいのになると僅かに一ペンニヒだと案内人は話し
 た。

此會の事業中で最も人氣も好く、且又多くの經費をかけて居るのは、民福座とい
 ふ劇場である。之は今から約四年前に本會で或劇場を借受けて此名を附けたも
 ので、頗る大なる建物で千四百人より千七百人を優に容るゝことが出来る。此劇
 場が呼物となつて、會員も六千人から九千人近くに激増したといふことである。
 興行は毎日の外、其他の日にも行る。毎回大入りで、平均千三百人以上の觀客が
 あると云ふ。座附きの俳優は總て百二十三人あるが、皆常雇といふのではない。
 重なるもの十餘人のみが常雇で、其他は日給雇である。此外に座附きの舞臺監督
 もあり、又其作者も居る。ニマークの會費丈で此劇場までを維持することは出来

ないから、別に入場料を取る。而してこれが五十五、三十五、二十ペンニヒの三等に分かれて、日曜日興行は十ペンニヒの割増しを取る。會員以外の者の入場料は右の定額に更に二十ペンニヒを加へたるものである。外題の選擇は成る可く何れの方面の人にも満足を與へる様に注意して、例へば月曜日にはクラシクのもの即ちゲーテ、シルラー、レッシング、シュークスピヤ、グッリルバルチルス等の作を出し、水曜日には輕快なる現代の作品を上場し、日曜日の晝間には子供の爲に、お伽芝居、其日の夜間興行は喜劇、滑稽劇等を見せると云ふ風に仕組んである。自由、平民劇場のやうに、現代物に重きを置くと云ふやうな事は、しない。此外に年に一回位はオペラをも興行する。而して之は會からドレスデンのオペラ協會に交渉して、其會員の出演を乞ふのである。

此芝居も折よく會の世話で一ト晩見物する事が出来た。其時の出し物の大體の筋は、田舎漢が伯林に出て色々の失錯をするといつたやうなものであつて、誠に無邪氣なものであつたが、場内は謂ゆる満場立錐の餘地なしといふ有様であつて、觀客としては顔色なども餘り好くない男女の労働者が多數を占めて居て、男はピ

ールを飲み、女はサンドウヰチを喫べながら、自由に打寛いで見物する様は、誠に終日の勞を一時に忘れるやうに見えて、孰れも靜肅の間にも喜色満面といふ有様で如何に此劇場が労働者社會の精神的陶冶、就中其精神上の慰藉をなすか、よく了解された。

此會の事業は以上の他にも色々ある。「自由青年組合」といふのは青年、就中小學校卒業後のもので未だ十八歳にならぬものを集めて一團としたものである。此組合は前に申した平民館の内に其集會所を設けて居て、之を名づけて青年集會所と呼んで居る。大概日曜日に組合員がこゝに集つて、晝間は各種の運動遊戯スポーツをするとか、又月に一回位は専門家に引率されて博物館、動植物園等に見學遠足をなし、時としては外國に迄旅行を企てることもある。而して夜間は重に講演を聴くのである。此講演は文學、理科其他凡ての方面に亘り、幻燈、活動寫眞等を説明の助けに入れて、其講演をして趣味あらしむるやうに務めて居る。講演者は孰れも青年の趣味をよく理解した人に依頼することになつて居る。今日迄の此成績は頗る良好であつて、爲に幾分かは俗惡なる舞踏場へ足を入れずして、眞面目な講演を聴

いて一日の休みを有益に送る事が出来るから青年の風教上に貢献する處が尠くない。此集會所は近頃迄は一箇所であつたが、追々組合員が多くなつて集會所の狹隘を告げる様になつたから、一兩年前から更に又他の一箇所の平民館を選んで第二の集會所を開いた。併し此事業は大體餘り盛んではない。といふのは、今日ではサクセンの政府も此種の催しを奨励し、教會も亦此方面に對して盡力する結果として、此種類のものは到る處に設立されて居るから、青年は此等各種のものへ引張り合ひの有様である故、ドレスデンの多數の青年が獨り此青年集會所へのみ集るといふことは出来ぬ。其大多數は多くの會に分屬し、此所へ集るものは僅かに其一部分に過ぎずして、而かも將來左程發展しようとは思はれぬ。故に之は本協會の事業としては重なるものとは言へぬ。

又此會では「婦人會」をも數箇所に開いたが、之も多くは不成績であつて、場所によつては一箇所に一回二十人足らずの人が集まるに過ぎぬ場合もあつて、費用を投じて之を催す程の効果はなかつた。夫故に其後は一回二十人以上來會せぬ場所は皆閉鎖する事となつた。自分が當地に行つた頃は、只一箇所だけ稍盛んな處が

あつたから、或は今では此處だけが残つて居るに過ぎぬかも知れぬと想像する。

又前に述べた青年組合の一種とも見る可きもので、徒弟のみから成つて居る別箇の團體がある。而して此團體だけで名士の講演を開き、又は運動、遊戯、遊行などもするが、單に此範圍のみでは一般の青年組合と異ならぬが、一寸異つて居るのは、此頃流行の公民心得シチズンシップに關して評判の良い著書に就いて、此團體員が互に相會して研究し、且討論會ディスカッションを催すことであつて、之は稍、眼先が變つて居る。併し此團體加入者の人數も多くない。此外に本會に附屬の圖書館もあつて、最大の平民館の中に設けてある。併し其藏書の數も少く、多くは寄贈に係るものであつて、貸出數も多くは無い。で、これも此會の重なる事業ではない。又唱歌團體操團などもあるが併しドレスデン市中には他に幾らも之に類似の團體があつて、その方が一般に盛んであるから、此會のものは振はない。又「平民親睦」といふ機關雜誌フオルクナクツツゼンヒロイトを此會から發行して居るが、之は會で興行する芝居の外題や、事業報告等を主として掲載するに止まるので、雜誌としての價値は尠い。

最後に、此會の施設中有益な事と思ふのは、應問所アウスタクンフトスタルを設置して、無料で會員の種々

の質問に應ずることである。大抵一ヶ月に二回宛時間を定めてある。質問の件は多くは法律上の事柄であつて、殊に雇主と被雇人との争などに關する法律上の問題に就いての質問に應じて、之が解答を與へてやる。其他種々の請願書、督促状等をも無料で認めて遣る事もある。之は會員にとつては誠に便利である。モ一つ有益な事は、レールリングスハイム、即ち、徒弟寄宿舎を設けて居る事である。これは地方からドレスデン市に出る若い徒弟に、ホンの實費だけで宿泊させる所であつて、一箇所ある。監督を附けて保護して居る。常に三十人位の宿泊者はある。斯様にホンの實費だけといふのであるが、此處に居るものゝ爲には圖書館も運動場もピアノもあつて、之を使用する事が出来、又凡そ此會で催す娛樂、講演等にも無料で列席し得るから、誠に此等徒弟の爲には好都合である。

以上が民福協會の事業の概要であるが、ドレスデン市には之に對してゲー財團法人といふ公益的の事業があつて、世に聞えて居る。此二つがドレスデン市の呼物である。而して民福協會は前に述べたやうにペーメルトが今から二十年前に創立したものであつて、此人が自己の理想を實現せんが爲に起したもので、丁度次

に述ぶるが如く、アップペーがツァイスの工場を新に自己の理想に合するやうに組織したのと似て居る。此人は創立以來約二十年近く會頭として盡瘁して來たが、二年前に退いて、今は名譽會頭となり、會頭は同じペーメルトといふ人が之に代つて居る。此人は出版業者で、資産家で、且、徳望家である。恐らくは創立者ペーメルトの子か親戚であらうと思ふが、其實否を質す機會を得なかつたのは残念である。其他幹部としては政府及び民間の各方面から出た、官吏や實業家などであつて、孰れも無報酬で獻身的に働いて居る。自分が參觀の際案内して呉れた役員は、創立以來二十年間も獻身的に働いて來た人であるが、當日も深切に終日案内して呉れたから、少し許り心附けをしようとしたが固辭して決して受けなんだ。何故かと尋ねた處が、本來會の事業其ものが既に公益的の事業であるから、當然の所得以外は決して他から貰ふ事はせぬ。殊に遙々極東の地から來られた珍客に對しては、參觀して戴いたといふ事が既に望外の次第であると言つた。以て會の性質の一般も推察せられて、床しく感ぜられた。要するに前述の如く、此會は平民的娛樂、平民的親睦を圖るを以て其主要目的とし、之が爲にハイデバルク、平民館、民福座其他種

種の施設をして居るのであるが、其主なるものは此三つである。併し此平民館はウイーンのものゝ其組織が異つて居る事は自ら明かであらう。尙之を約言すれば此會は規模の大なる常設的市民親睦會である、即ち市民一般に亘つた組織的の親睦會といふ可きである。で、斯様な組織が將來我國にも必要なる時期が来るかも知れぬから、今茲に參考迄に其大要を述べた次第である。

第一〇 *カール・ツァイス財團法人とエーナ市

(營利的事業と公益事業との一致)

*Carl Zeiss-Stiftung.

凡そ都市の存立には、其存立すべき原因がある。其都民を養ふだけの金を産み出すものがある。官廳所在であるとか、學藝の中心であるとか、又は觀光の場所であるとかいふことも、或る程度までは人を引寄せて、其處に都市を成立たすものである。併し斯様な原由は到底大都市存立の原由としては、固より不充分である。今日の重なる都市は大抵皆商業否工業を以て其存立の原由となして居る。例へばグラスゴは造船業により、マンチェスターは紡績業により、リオンは絹織物業により、セーブルは陶磁器業によつて繁榮して居るが如きは即ち是れである。而して中には其都市が只一箇の會社などに依つて存立する者もある。例へば亞米利加のピッツバーグはカーネギーの製鐵事業により、獨逸のエッセンはクルップ會社の事業によつて、殆んどカーネギーのピッツバーグ、クルップのエッセンといふ様な關係になつて居る。カーネギーやクルップ會社が其都市の爲に如何に貢獻し、又其爲に如何

に各種の慈善公益の事業を起して居るかは、世に名高い話して、更めて言ふまでもないことと思ふ。それから西洋の都市では、其存立の原由である事業、即ち其生命とも云ふべき事業の爲に、深く其根本を培養する方法を善く攻究實施して居る。絹織物の産地には染織學校、陶磁器の産地には窯業學校、礦山附近には礦山學校といふ風に、學校の教育で以て其地の主産業の根本を培養する事にして居る。併しこれは今日では我國でも同じことで敢て珍しくもないが、唯ライプチヒは獨逸の出版業者の根據地であるが、此出版業の發展を圖る爲に此處には製本、印刷、挿畫等に關する教育を施す宏大なる官立の學校を設立し、加ふるに本屋仲間ブック・イン・ヘルハフで「書籍商會館」といふ大なる會館を建て、其中に古今内外の書籍出版に關するあらゆる参考品を集めて居る。これは一寸他國に例のないもので、聊か目先きの變つたものである。それから此ライプチヒといふ處は、決して出版業を營むに何も特別に天然の關係上都合の好い事があるのではない。もとは出版業者は多くフランクフルト・アム・マインに集つて居た者であるが、何時しか此ライプチヒの方へ移つて來たのである。それで此ライプチヒの出版業といふものは、全く人力に依つて、其處の

出版業者の共同努力の結果、今日の隆盛を致したものである。此人力に依る、即ち特別なる天然の恩恵に依頼せずして、否、人力によりて却つて天然を征服しつゝ、其主産業の發展を圖つて居る都市が、此外に幾つもある。例へばバイエルンのニルンベルヒは鐵道機關車其他を製する處として世界に名高いが、其處の附近に格別石炭や鐵が産する譯でない。此等の原料は遠方から取寄せて居るにも拘らず、其製作品は名聲を世界に轟かして居るのは、全く優良なる技術によつて他の缺點を補うて居るからである。此處の會社の重役などは、原料を得る上には不便が少くないが、技術の上には於ては天下無雙の人物を多く有つて居るから、我會社の基礎は永遠に亘つて動くことはないと言言して居る。此等は實に西洋人の意氣の壯なる處で、彼等は決して一も二もなく唯、天然の恩恵に依頼することなく、寧ろ人力を以て天然に打勝たんことを努め、地利に於ては全然見放された都市でも、必ず何等かの工夫をして其繁榮を圖らずには置かない。

次に述べようとする事も亦此西洋人の意氣を見るに足るもので、即ちエーナのカール・ツァイスの光學機械製造會社についてある。エーナは獨逸聯邦中の一小

國の一都市で、其人口は僅に三萬五千に過ぎない。谷合ひの處に位して、風景は我
 京都に似た所があつて稍佳であるが、其外には別に何等の取柄もない處である。
 然るに此地は夙に日本にも其名を知られて居るのは何故かと云ふに、此處には昔
 から有名な學者が多く居る大學と、カールツァイスと稱する有名な顯微鏡其他の光
 學器械を製作する會社とがあるからである。而して此會社と右の大學との關係
 並に此會社とエーナ市其物との關係が餘面白。而已ならず、此會社其れ自身
 の組織が更に面白い。此總ての事柄が悉く吾れ々の爲には大に教訓になるで
 あらうと思ふのである。

さて此會社といふのは、今より凡そ五十年許り以前の創立で、其當時は固より極
 めて小規模であつたが、今日は非常に發展し、役員職工合せて三千六百有餘人を使
 用して居る。而して此會社で製造する顯微鏡、望遠鏡、測量器械、幻燈器械等で、此處
 の新發明に係るものだけでも三十二種あつて、其製作品は普ねく世界の隅々まで
 行互つて居る。日本でもツァイスの顯微鏡といへば、最も名高いもので、其道の人は
 之を知らぬものはない。殊に日露戰役の際には、軍用の雙眼鏡、測量器械等を多額

*Schott und Gen.

に供給して、大に便利を與へたと其支配人は誇つて話して居た。現に此會社の代
 理店は東京にもある。其他今日では此會社は伯林、フランクフルト、アム・マイン、ハ
 ンブルグ、倫敦、維納、ペーテルスブルグ等に支店を有するのみならず、倫敦、維納其他
 の二箇所には分工場も置いて居る。又之と同心一體であるシット及びゲン硝子
 製造所といふものがあつて、此會社の爲に製作の原料を供給する事になつて居る。
 此硝子製造所の資本も大半カールツァイス會社の持ちで、此處にも千二三百人の役
 員職工を使用して居る。斯く此會社は中々盛大であるが、併し單に盛大であるとい
 ふ點のみから云へば、同じ獨逸國の内でも之に勝つて居る會社が澤山ある。そ
 れで此會社に對して特に感心すべき處は他にある。即ち其組織と其外部に對す
 る事業とにある。元來此會社はカールツァイスと云ふ人が始め獨力で起した者で
 あつて、而して此人の考へといふものが少しく他と異つて、顯微鏡などの製作は、之
 は只技術のみでは不可である、宜しく學術上に基づけて之を製作すべきものであ
 る。従前のものは只經驗に依つて造つたが、自分は之を是非一つ純然たる學術上
 からして、精確なる合理的方法に依つて完全な器械を拵へて見たいと決心した。

であるから、當時其處の天文臺長を務めて居たエルンスト・アッペーと相談の上、之と共同して此目的を達する事にした處が、此計畫は全く圖に當つて大に成功し、最初は顯微鏡のみであつたが、後には光學に關する凡ての器械に手を延ばし、其結果は前述のやうに三十二種の新發明をなすに至つたのである。アッペーと云ふ人はアイゼナハの紡績職工の子であつて、全く實際の經驗を重ねて獨修して其位置に至つた人である。さてカール・ツァイスが死んだ後は其子が之に代つたが、此人はどうもアッペーと意見が合はなかつたので、相當の分前を取つて此會社を退いて了つた。斯くして此會社はアッペー一人の所有に歸したが、さて其後のアッペーの遺方といふものが大に見物である。

アッペーは豫てから専門技術の外に、社會政策に就いて深い考へを有して、これに關して種々の著述を遺して居る程である。それで此會社が自分一人の所有になつてから、茲に一々其平生の理想を實際に行はんと企てたのである。アッペーは今此會社を自分の私有とすれば、自分すら時々利害の爲に道に離れた事をしないと限らぬ。況んや之を子々孫々に傳ふれば、或は其中に不心得者が出て、如何なる

間違ひを起さぬとも限らない。元來此事業の成績といふのは、全く自然を研究して之を自然から得たものである。即ち自然の賜である。自然の賜は結局自然に返すのが、自然に對する人間の道であらうと、かう考へたのである。そこでアッペーは先づ第一に此會社を自分の存命中に財團法人に変更する計畫を立て自から定款を作つて之を創立者の名に因みてカール・ツァイス財團法人と名づけて、政府の認可を得た。かくてアッペーは自分の全財産を擧げて、唯、必要だけの生活費の少額を除き、残りの莫大なる財産を此財團法人に寄附して了つて、爾來自分は唯、此法人の普通取締役の一員として其生涯を送つたのである。さて此アッペーが定めた定款の重なる箇條は、第一、此會社は従前の事業即ち光學的器械と硝子の製造とを繼續し、益之を發展し行くこと。第二、此事業の經濟的基礎を鞏固にして、之に従事する職工をして充分の給養を得せしめ、之に依つて學術的及び技術的利益を増進する事。第三、個人にて爲し得るより、より以上の大なる社會的義務を盡すこと、即ち此會社の職工の個人的權利を確保し、又其經濟的權利狀態を改善する事。以上の三目的を達したる上は、更に進んで其所得を以て、此會社以外の公益の爲に盡すこと、

詳しく云へば、其一、一般光學的工業の進歩を圖る事。其二、エーナ及び其附近の労働者の爲に必要にして利益ある施設經營をなす事。其三、物理學、數學等の研究及び教授の進歩を圖る事。先づザットこれが定款中の重なる箇條である。此定款は一八九六年に制定せられ同年に政府の認可を得たが、其實行の後其細目は多少改正された。今日行はるゝものは一九〇六年即ち今より七年以前に改定せられたるものであるが、其精神に至つては前述のものと同様に差異は無い。

アッペーの非凡の人物である事は彼が多くの學術上、工業上の發明及び此大工業の創立並に指導の上に於て、既に之を充分に認めらるゝが、併し彼が普通の發明家、事業家と異つて、特に一般人道の上から見ても偉人として仰ぐに足る點は、彼が一切利慾の念なく、此天意に従ふとも云ふべき財團法人の定款を作つて、且能く之を實行した處にあらうと思ふ。特に彼が労働者並に總ての雇傭者の保護に關する思想の最も進歩した見地から出て居るのは、頗る注目し得る事であらうと思ふ。アッペーは前に述べた如く平生社會政策に關して一家の意見を持つて、現今の法律に依る公けの貧民救助に就いては、大に反對である。法律の力よりも寧ろ大

工業の經濟組織を改善して、労働者の權利を保障し、此權利に依つて其品位を向上せしめ、又其生活状態を改善するが可いといふ考へである。慈善と云ふ事は一種の襁褓隠しで、一時纏繞しても直ぐと本の汚い物が見える。而已ならず恩惠的關係は人間を卑屈にするものであるから、労働者の所得も之を其權利として確保して遣るが可い。其他總て労働者をして自重心を起して、自分も他の一般國民と少しも異なる所はないといふ思想を持たしめねばならぬ。といふ風な平生からの考へであるから、此會社では一切慈善めいた事はしない。獨り此會社ばかりでない、自分にツァイス會社の支配人が話した處では、エーナの市中でも一切慈善事業はない。又其必要もないといふ事である。かゝる次第であるから、此會社では職工の爲に共同貸家のやうなものを建てない。これは貸家に住むと職工と會社との間に店子と大家との如き關係を生じて、不和の際には大家が貸家を攻撃の武器に使ふ虞れがあるといふのである。それで此會社では成るべく職工をして自分の住宅を建てさせることにして、本人に低利の金を貸して遣るのみならず、別にエーナに在る或る建築會社に三厘位の低利で多額の金を貸附け、尙其事務員の給料をも

補助し、之をして労働者に相當する住宅を建てさせることにして、既に二百に近い住宅が出来て、ツァイスやシット及びゲン會社の職工が其れに多數住んで居る。而かも此住宅は一軒宛獨立して、小さいながらも各庭園をも有つて居る。又此會社では出来るだけ其職工をして一般市民としての品位を全うせしむる爲に、又職工が公けの義務を盡す爲に、例へば陸軍演習の召集等に應ずる場合の如きは、依然給料を與へて後顧の憂なく其事に従事せしめる。其他總て此會社に従事するが爲に、其人の自由に何等かの拘束を加へらるゝやうな事のないやうに充分注意してある。労働者であつても、個人としては立派な普通の國民である。これがアッペーが特に重きを置く労働者の精神的待遇の一である。

次は此會社の労働時間の事である。一體労働時間といふものは、労働者問題中でも頗る重要な事柄であつて、ストライキなどは多く此労働時間の短縮を目的として起るものである。今日獨逸では普通が九時間であるが、之れを八時間に短縮したいと云ふが労働者一般の希望である。處が此會社では率先して、此普通の九時間を八時間に短縮した。而かもかくするに就いては、會社側から之を職工の衆

議に掛け、八時間に減しても尙九時間の時と同一の仕事をなし得るや否やを問うた處が、衆議一致で出来るといふことであつたので、茲に愈之を實行したが果して其通り至極好成绩を収めたのである。かく労働時間は少くても、此會社の給金は他の會社よりは非常に好くなつて居る。十八歳以上の労働者の年収平均は千七百八十マーク、二十四歳以上にして三年以上在勤したものゝそれは千九百八十七マークである。之は一九〇三年乃至九年の調査に係るものであるが、之を其れ以前に比較すれば年々少からざる割合を以て増加して居るから、今年頃は尙此上に多少増加して居るのであらうと思ふ。此給金を他の獨逸の大工場のものに比較すれば非常に高い割合になつて居る。他の會社では年収平均が千六百マーク以上に出づる處は無く、多くは千四百乃至千五百マーク位に止つて居る。そこで此會社の給金は先づ獨逸では第一等に高いものと見て可い。此外、定時間以上の仕事には相當の割増がある、之に反して休業日にも一定の給金を與れるのみならず、仕事の無い時でも相當の給金を與へる。其他前に述べた陸軍の召集に應ずる場合を始め、消防練習の爲に仕事を休む場合は勿論、病氣の時にも亦同じく給金

を支拂ふのである。尙又労働者の家族に分婉、死亡等があつて仕事を休んだ場合にも、一日分丈は支給することに成つて居る。斯様にして、何等の生産をもなさざる場合に支給する金額も、年々可なりの額に上つて居る。即ち一九〇八年乃至九年にはそれが爲に凡そ七千七百マートを支出して居る。以上の如き方法で給金を與へるのであるから、此點から云へば此會社の職工は謂ゆる日傭取ではない、一種の役人である。それから又解雇者に對しては、半年以上勤めたものには相當の一時手當を與へ、其金額も年々少くはない。而してこれもアッペーの平生の主義から出たもので、たとひ會社には用がなくて解雇しても、其結果本人が無職業になつて生活に困るやうでは、社會の爲に宜しくないからといふので、かく世話をして遣るのである。其他永年勤続したのものには恩給を與へ、又結婚や子供の出生等の場合にはそれ／＼祝ひ金を贈り、此外病氣保險の制も設けられて、月々少額の金を積立つれば、病氣の際は無料で入院が出来る。而かも醫師の選擇は本人の勝手であつて、工場附きの醫師に限らず誰にでもかゝれる。その爲に市の醫會と會社の會計との間に豫てより特約を結んである。其他衛生上の事については、年二回づゝ

職工の身體検査を行ひ、又幼年職工にして遠方から通ふもの、又は營養不良なるものには無料で晝食を給し、或は二十五ペンニヒ位の補助をして、營養に不足させないやうに注意してある。此食事に費す金も最近には年六萬三千マートに上つて居る。要するに此會社が其労働者に對する待遇法は、物質的にも善いが、就中精神的に最も模範的に出來て居る。これならば職工の生活も満足であるし、其品性も自然向上するに相違ない。

以上は主として會社内部の事に就いて、あつたが、此會社は又エーナ市全體の爲に多大の貢獻をなして居る。先づエーナに平民浴場を建て、居るが、之は非常に宏大なるもので、其設備等實に周到を極めて居る。フオルクシュタット 壺浴、灌浴、日光浴、蒸汽浴、藥劑浴の外に大なる游泳浴槽もあつて、二三年前に開業したものである。之は無論一般市民の爲に設けたものであるが、會社の關係者には、一年間五十二回は半額で入浴せしめ、他の半額は會社から浴場に直接に支拂ふ事になつて居る。尤も身體が汚れる仕事に従事する職工の爲には、別に工場内に浴場が設けられてある。これはその爲に使用せらるゝのではない。これは我國で云へば略、温泉場の湯殿位



エーナー市の平民浴場

に贅澤なもので、一週間に一度の入浴でも澤山である。これは前に言ふべき事であつたが、此會社では、職工に成る可く酒類を飲用させぬ爲に、初め雇入の契約をする際に、仕事の間は必ず飲酒しないと云ふ事を約束させ、其代りに會社では牛乳、鑛泉又はリモナーデの類を原價で職工に賣る事にして居る。又會社は市内の實業補習學校に補助を與へて、青年職工は義務として此學校に入らしむることにして、授業料は會社から支拂つて居る。又會社は職工の爲にフットボール俱樂部を設け、又青年會を起して、毎年夏期三日間、ナールリンゲンの森、又はレーンの山其他に運動がてらの旅行をなさしめ、此際に會社は其職工一人につき五マールの補助をする。又此會社の後援で唱歌團も出來て居る。之はエーナーでも頗る上手の集りだと云はれて居る。此外此會社の事業として

は、貯蓄銀行もあり、信用組合もある。特に此信用組合は會社側から營業資本を供給して居るから、會社の關係者は拂込金の割合にしては、多額の對人信用的の借出しをなすことが出来る。

此會社が外部に向つてなす仕事は、右に述べた者の外に尙色々ある。肺病病院、托兒所、婦人保護會を始め、コメニース會の催しに係る通俗教育事業の如きも、皆此會社の後援に依頼して居る。此通俗教育は冬期に毎週一時間六回を一圓とする文科、理科の講演が大抵四種あり、其他約四回の演劇、二回の演奏があり、又約二回のオペラの興行がある。この場合にも會社は同地の労働者同業組合をして周旋せしめて、成る可く労働者の入場料を廉くするやうにして居る。さてかゝる事業をなす爲には、第一に相當の建物が必要であるから、此會社は件の目的に添ふ爲に、平民館と稱する宏壯なる建物を建てた。此平民館は實にエーナーの誇りの一で、會社の工場の直ぐ筋向に屹立して居る。一見驚く計りの大建築である。こゝには頗る大なる圖書館があつて、其内には二萬三千冊の圖書を所藏し、之に附屬する閱覽室があつて、之に百二十七種の新聞と、四百四十二種の雜誌とを備へてある。又文



三
四
六

學に關する陳列館があり、理科工藝に關する博物館もふる。其他尙工業學校も其内に設けてある。又演奏集會儀式等に使用する大なるホールがあつて、千五六百人を容るゝに足る。尙別に二百人より三百人を容るゝ講演専用の小ホールもある。加之音楽室、美術展覽室もある。此平民館は實にエーナの精神的生活の集中點であつて、其住民に與ふる教育的影響は決して尠少でない。其圖書館の書物の貸出しにしても手数を要せず、單に宿所姓名を記して出せば何人も借出す事が出來、而かも期日迄に返さないもの、又は紛失する等の事は殆んどないと、其當事者は誇つて居る。この圖書館及び閱覽室を利用する

ものは非常に多い。閱覽室の如きは一九〇九年には十七萬五千人の閱覽者があつたといふから、其數は丁度エーナ市の人口の五倍に當るのである。であるから、エーナの住民で新聞雜誌を讀むものは、大概此處に出入せぬものはないと見ても可からう。此平民館は會社で建築したものであるが、其管理は他の會に委せてある。而して此會は其大小のホール等の貸料を以て之が維持費に充て、居る。尤も其中の閱覽室は、特に閱覽室協會と云ふものがあつて、これが無料で借受けて居る。此協會の委員組織といふものが矢張りアッペー式で、宗教政治等の各派を公平に代表して、而かも勞働者の中からも委員が出て



平民館内の新聞閱覽室

居る。それで閲覧室備付けの新聞雑誌の選擇にも少しの偏頗がない。會社はかく此閲覧室を無料で貸附するのみならず、燈火、煖房費等も會社で負擔し、其上に又之に年々九千五百マールの補助を與へて居る。

最後に言ふ可き事は、此會社がエーナ大學に與ふる補助である。會社では之が爲に、カール・ツァイス財團法人大學基金と云ふものを設定して、此基金を以て大學教授の俸給其他設備の費用に充てる事にして居る。抑此エーナ大學は其附近の小邦の共同で建てたものであるが、此等小邦の四つを合せても尙人口百萬に達しない。ラインの一州すら六百萬の人口を有するに、四つの邦を合せても此通りであるから、エーナ大學の維持の困難なるは察するに餘りあるであらう。普魯西がライン地方の爲に建て、居るボン大學は小さなものであるが、エーナ大學は之とさへ拮抗する事が難かつた。況んや今日は學術の進歩に伴うて大學の爲す可き事が益多くなつたに於ては、到底右の四小邦の力では足らぬ。そこで此會社は其困難を救はんが爲に前述の大學基金を設定し、以上四小邦の政府の支出金の不足を補うて、私金を以て大學の完備擴張を圖る事にしたのである。尤も前の基金よ

り支出する金は經常の性質を帯びて、年々其利子を以て一定の金額を大學に寄附する事にして、之は主として教授の俸給に充つるのである。獨逸の大學教授の俸給も近年は追々良くなつて來るに、エーナ大學は前述の次第で此一般の趨勢に伴ふことが出來ず、良い學者も漸次他に取られて了ふやうな厄運に傾いて居た處に、此補助が出て來たから大に助かつて、今日ではヘッセル、ライン、オイケンなどいふ世に聞えた學者も此處に止つて居る譯である。併し此會社の同大學に對する補助はこれ丈ではない。他にもある。即ち臨時一時的の寄附も澤山にある。否此方が金高としては前の方よりは多い位である。初めは大學の學科中で、會社の事業に關係あるもの、爲のみに臨時の補助をして居たが、今日では總ての理科的學科の爲に補助する事になつて居る。而して今日殆んど總ての新しい大學の建物は、此會社の金で以て出來て居る。物理研究室、生理研究室、顯微鏡實驗室、化學實驗室、地震研究所等は皆此會社が建てたものである。又近來は大學本館も全く改築して面目を改めたが、之も其金の多分は此會社から出て居る。此外にエーナ大學の誇りはゲッテンゲン大學以外にはないと言はるゝ工業的物理及び工業

的化學の研究所であるが、此二つの研究所は學術上全く新規の設備で、實業家も此處で物理的、化學的工業を直接に觀察し得るのみならず、尙一般學校の教員等の爲にも教授上非常に参考になるものである。尤も此二つのものは此會社が建て、遣つたのでなく、シット及びビゲン會社が其金で以て建たのであるが、併し前に云つた如く此二者は殆んど同心一體の關係であるから、矢張り此二つの研究所も幾分此會社の賜と見ても可からう。以上に述べた各種の建物の爲に、今日まで此會社が支出した費用は約二百萬マーク以上に達する。併し今後と雖も其必要があれ、ば之に應じて幾らでも支出する事となつて居る。要するに、エーナ大學は名義は四小邦の組合立であるが、それに要する主なる費用は此會社が之を支出して、殆んど此會社で以て設立して居るやうな觀がある。以前は其維持でさへ如何うかと案じられたが、此大學基金を始め臨時多額の補助があつて以後は殆んど蘇生したのみならず、今日では普魯西の地方大學にも劣らぬものとなつた。

最後に此補助に於てもアッペーの平素の主義が能く現はれて居る。それはアッペーが此大學に對する補助の條件として定めて居るものである。これが中々面白

いのである。曰く、此補助はエーナ大學教授が其教授上に於て完全なる自由を有し、且國民として又個人として完全なる権利を行使し得る間繼續すと。之は即ち學問と學者の獨立を保障する精神から出た者で、萬一右の四小邦の政府側で學問の自由を妨げ、教授の權利に制限を加へる場合には、直に此補助を止めるのである。アッペーは前に言つた様に、職工の獨立を重んずる事を以て社會政策の大本としやうと云ふ考へである故、かく學問の自由、教授の獨立の爲に格段の注意をなすのも畢竟其平生の主義の應用に外ならぬのである。斯んな精神で以て補助をするのであるから、補助の爲に會社と大學との間に何等情實などの弊を生ずることはない。此處にも唯權利關係があるのみで、恩惠關係はない。否、右の四小邦の君主などが動もすれば恩威を以て學問研究の獨立を冥々の裡に妨ぐることはないやうに、右の補助をなす譯である。それであるから、——今は退職して居るけれども、日本にも夙に「造化史論」で其名を知られた——獨逸では一元論者、無神論者として一部の人には惡魔の如く嫌はれて居るヘッケルでも、永く教授の位置に安んじて、今でもヘッケル町など、云つて其名を永く市民に記念されて此地に住んで居る。

大富豪が自分一手で大學を建つると云ふ事は、特に亞米利加當りでは少しも珍らしいことではないが、此エーナのカール・ツィス會社が大學を補助し、公益を起し、及び其他總て其事業を經營する間に於て、毎に其一種の理想を實現せんと努むるが如きは、他に多く見ない例であつて、大に參考になる事と思ふのである。

第一一 平民娛樂事業の實際的施設

勉強の方法に關しては、古來色々と研究されて來て居るから、今日では略之に就いて採る可き方針が分つて居る。之に反して、娛樂に關しては、其方法が未だ一定して居ない。勉強とはつまり秩序といふことが其基礎となるから、此秩序を如何にすべきかといふ事が明かになれば、自然勉強の方法は分かる次第である。然るに娛樂は自由が本となつて居るものであるが、此自由といふ事は讀んで字の如く自由であつて、秩序特に窮屈なる秩序を度外視するといふ處に之が存するのである。之を研究して、如何に自由にすべきかに就いて一定の方針を授けて遣る事は誠に困難である。かゝる事情からして、娛樂に關する方法は今日迄明かにされて居らぬものと思ふ。併し此自由を本とする娛樂を眞に享有しようと思ふれば、自由の中にも自ら一定の方法を見出して、大體之に準據して行かぬと、其目的を達する事が出来ぬ。で、近來は西洋では此娛樂を如何にすべきかに就いての研究が日々盛んになつて、就中獨逸の如きは最も熱心に之を研究し、既に之に關する幾多

の著書も公にされて居る。現に自分の手元にも之に關する可なり大部の書物が五六冊ある。而かも今日では此娛樂を人民特に下層の人民に與へる事が極めて必要であるといふ點に就いては既に議論の無いことで、當面の問題は娛樂を與へるがよいか否かといふ議論は通り越して、如何にして娛樂を授けるが好いかといふ、實地の問題に就いて研究して居る次第である。随つて右の本の如きも、主として實際の施設の參考資料を與へんが爲に作つたものである。之を讀んで見ると、如何に此點に於て西洋特に獨逸が進歩した態度を執つて此事を取扱つて居るかが領會される。而して茲に謂ふ娛樂は上流の餘裕ある人の道樂の事ではなく、下層多數の勞働者、農民乃至其子弟の爲の慰藉の事である。此等下層社會の多數者は概して生活も困難に、教育の程度も低いから、動もすれば閑居して不善をなすの諺に洩れずして、餘暇あれば日常生活の苦痛を忘れんが爲に先づ飲食に近寄り、又は更に進んで一層悪い事をして墮落し易いものである。尤も表面上に現はるゝ行儀作法に於ては、西洋の下層社會は日本のそれに比すれば稍規律ある様に思はるゝが、それでも識者は之に満足せずして、益風紀を改善しようと努めて、都市は勿

(1) Volksunterhaltung.
(2) Volksunterhaltungsabend.
(3) Volksabend.

論地方の隅々に至る迄も、娛樂特に高尚にして有益なる娛樂の普及を獎勵して居る。此娛樂に關する施設は之を平民娛樂と名付けて、平民娛樂夜會(1)又は單に平民夜會(2)などと稱する集會を催して之を實行して居る。因つて次には此平民娛樂夜會(3)に於ては如何なる仕事を爲すものであるかを實際に就いて話して見度いと思ふ。尤も其仕事の中には風俗人情を根本的に異にする我國に於ては採用し難く、又採用す可からざるものも多々ある事は言ふ迄もない。さり乍ら一體平民娛樂なるもの、果して如何なるものであるか、又併せて彼地に於ては此事業を如何に重く視るかを承知して置く事は、我國民に取つても頗る必要な事であると思ふ。而已ならず右の事業中、今日こそは我國に採用し難くとも、社會の變遷と共に他日に至つて採用し得るもの、又は採用せざるを得ざるものも其中にはあると思ふから、豫め取捨を加へずして、凡そ彼地に行はるゝ總ての娛樂事業を在りのまゝに紹介しようと思ふ。

然らば其事業と云ふは如何といふに、彼の一般通俗教育の仕事に屬する通俗圖書館、青年圖書館といつたやうなものも、見方によつては其一部分に屬するし、又遠

足とか漕艇とかいふ種類のものも其中に含まれて居ると見て可い。併し謂ゆる平民娛樂夜會、即ち多數の人が一定の場所に集つて共同して娛樂するといふ場合には、此等のものは除いて見るを妥當とする。さて此會で催す事は、先づ第一に朗誦、音樂、體操、遊戯、映畫、演劇等が主たるもので、之に講演も加はる。併し講演は主たるものでは無く、附けたりである。尙此外に餘興として活人畫を出したり、體操をする人々が集つてピラミッドの形を造つたり、又は此等の人が漆喰を全身に塗つて大理石像の摸擬をしたりなどする遊戯がある。仕事の種類としては大抵こんなものであるが、茲に問題となるのは、此仕事を如何に實施し、又如何に之を組合せるかといふ事が一番大切である。此實施の善惡、組合せの巧拙によつて、其會の事業が或は成功し、或は失敗するのであるから、其の任に當る人は主として此點に苦心して居る。今其實施の方法に就いて注意して居る要點と思はれるものを大略話して見よう。先づ朗誦及び音樂に就いては、成るべく高尚なるものを避けて、純粋な藝術上の作品に觸れる事あるも、大體は主として通俗的のものを選ぶのである。就中唱歌に於ては民謠を主とし、それも成る可く其土地のものを採る事にして居

る。尤も民謠といつても日本のものゝやうに卑猥のものばかりでなく、寧ろ純朴にして且高雅なるものが多いから、之を用ひたからとて決して會の品位に關するどころでなく、却つて會の性質に適當して、聽衆の満足を買ふ事が出来る。又其土地出身の作者の詩であれば、それが純粹の藝術品であつても土地の聽衆の趣味に合ふから、成る可く之を採るが好いといふ事になつて居る。例へばサクセンでは其土地から出たエドウィン・ボルマンの作を採るとか、バーデンであるとヘーベルの作、バイエルンであるとコーベルの作を採るといふやうな鹽梅に、其土地の詩人の作つた詩を用ゆる事は一般に氣受けがよいから、此點は何處の會でも最も能く注意して居る。都市では音樂者も澤山あるから、立派な専門家が而かも無報酬で會の爲に出勤して呉れるが、地方に行けばさうは行かぬ、只一人の音樂者に頼んで種々な演奏をして貰はねばならぬ事が多い。斯様な場合には、其土地の小學校の上級生をして朗誦又は合唱をさせる事は、此音樂者の助けをなすのみならず、其聽衆の多數は此等の生徒の父兄であるから、案外よい感動を與へる場合が多いものである。又音樂の曲目の選び方は、音樂の發達の順序を顧みて、其初期のもの即ち

ブリミチーフの時代のものを採る方がよい。西洋でも決して萬人が萬人皆高尚なる音楽を理解するといふ譯ではない、寧ろかゝる人は少數である。であるから、斯様な會では出来るだけ程度の低いもの、換言すれば、音楽の發達の初期に屬する舞踏曲或は進行曲を器樂の伴奏によつて演奏する事が一番効果がある。西洋の音楽は言ふ迄もなく、舞踏曲及び進行曲から發足して居る故、一般の聽衆に對つては之が一番其耳の程度に適して居るのである。西洋では昔のバスの如き又其同時代の名人の如きは、一般の聽衆には決して高尚なる曲目を選んで演奏しては聽かせずして、主として舞踏曲、進行曲を聽かせたものである。今日でも大都市に於てすらも謂ゆる平民娛樂夜會などでは第一流の名人が出て、それが極めて簡単な民謡などを歌つて聽かせる事が少くない。自分の經驗に徴するも、王立劇場の俳優又は聲樂家等が特に勞働者又は子供の爲に演奏する場合には、或は童話の朗誦をしたり、又は簡單なる民謡又は准民謡などを歌つて聽かせて、決して日本の西洋音樂者のやうに、相手構はず何時も高尚な樂曲ばかりを持出すやうな事はしなかつた。斯様な場合にベートルフォン、ベリオーゾ、ワグナー等の如き高尚にして難

解なるものを持出すのは、之は此會の性質に反する造方だと言はれて居る。それから此會では音楽の程度は右の通りであるが、其種類としては勿論器樂もあれば管絃樂もあるが、主として成功するのは獨唱又は合唱などのやうな人間の音聲を本とする音楽の方である。これが經驗上一番人氣を持つて居るやうである。體操も遊戯も娛樂の一つである。而かも其能く揃つたのは見物である。併し之は別に之を専門にやつて居る體育會があるから、此會では餘り重きを之に置いてない。大抵は其前後に出す朗誦又は音楽に緣故のある場合にのみ行ふ事になつて居る。例へば何か戦争に關した詩でも歌つた後に、活潑なる體操を入れるといふやうな風にして、他には餘り多く之を出さない。次に映畫も成るだけ朗誦や唱歌に緣故のあるものを採用し、随つて朗誦や唱歌をも映畫として見せられるやうなものを選ぶよ様に注意して居る。例へばライオン地方の事を歌つた詩があつて之を採れば、更に映畫で以て其地の光景を示して感興を深くする事が出来るから、成る丈かういふ便宜のあるものを選ぶのである。次には演劇のことであるが、之は分つて二た通りとする事が出来る。之は他の出し物と一緒にする事もあり、

又別に劇だけ見することもあるが、孰れにしても大人が演じて主として大人に見せるものと、子供が演じて主として子供に見せるものとあつて、前者を平民劇といひ、後者を青年劇と呼んで居る。平民劇は都市及び其附近では専門家のみで演じ、又は之に素人が加はつて演ずることもあるが、田舎では主として素人が之を演じて、劇の筋なども極めて簡單なるもので、料理屋の一室或は學校の雨天體操場などを借りて、粗末な背景道具などを用ひ、衣裳なども多くは手製のものを使用することにして居る。而して、劇の筋は簡單と云ふばかりでなく、又成る可く田舎の趣味に適して、且素人にでも出来るものを選ぶのである。斯様なゼットとした仕組故、四幕物五幕物といふやうな長いものは出さずして、多くは一幕又は二幕物を出す。併し一幕物で且田舎向といふ脚本は餘り金にもならぬから作者の方でも多く之を作らないので、今日は此種の脚本の好いものが少い。で、今日では在來の劇の中から、田舎に適する一齣二齣を抜いて之を演ずる場合が多い。それから又言ふ迄もなく、此演劇は地方の住民の趣味を養成し、之に高尚な娛樂を與へる傍ら、一般の風俗を改善するといふ目的を有するから、姪猥なものや女々しい物で此精神に違

反したものは勿論之を採用しないのである。青年劇は青年が演ずる劇である。西洋では青年が演劇をする中は中々盛んであつて、學校でもよく行つて、兒童に見せるのみでなく、父兄を招待する場合も多い。之は日本人の日から見れば異様に感ぜられるが、彼地では決して珍しいことでは無い。要するに演劇は獨逸語の稽古の爲にするので、獨逸語の發音の標準は舞臺にあるから、此發音を正しくする練習を行ふには、自然演劇の眞似をするといふことになるのである。尤も其脚本の如きは小學校でも教へて居る童話乃至其上級生の習つて居るウールヘルムテルなどを出すので、教室内で學習して居る事柄を簡單な衣裳をつけて簡單な背景の前に立つて、學校以外の父兄に見せるといふに過ぎずして、日本のやうに學校生活とは全く關係なき専門家が演ずる劇を、突然學校に持つて來るといふのは事情が全く異つて居るから、世間では一向之を怪しまぬのみか、寧ろ之を歓迎するといふ次第である。而已ならず教育家側の主張によれば、之が教育上特殊の利益があるといふことである。即ち兒童に演劇をやらせると、彼等が習つた事を心底から領會して居るか否か、分かるのみならず、又平素は分らなんだ彼等の隠れた性質を

でが明かになつて来る。表面猫を被つて其本性を隠して居たものが、舞臺に上れば、其性質を遺憾なく暴露し、平生強いと思つて居たものが案外弱い事や、器用であると思つたものが不器用であつたりするやうな事がよく解る。況んや脚本の筋は教育的に有益なるものであるから、之を假りにでも實行さする事は其品性の養成上にも利益がある。又時としては此興行を傍ら慈善の目的で行ふ事もあるが、此場合などでは特に児童をして慈善の何物たるかを理會せしむる便もあると主張するが、又一方からは子供をして俳優の眞似をさする事は、教育上種々な弊害があると反對するものもあるが、併し一般の謂ゆる青年劇に對する人氣は前述の通りである。それ故一兩年前にはハンノーバーにある普魯西王室劇場に於てさへ、此劇場の總監が特に其地の小學教員會の催しにかゝる青年劇を多大の便宜を與へて、其處で舉行せしめた事がある。而して此際此催しは土地の大評判になつて、児童が大勢詰めかけて一席も餘さぬ大入りで非常な好成绩を收めたと云ふことである。併し青年劇を舉行するのは傍ら教育上の目的を有するから、それが本當の演劇のやうに贅澤に又華美に流れぬやうに、衣裳道具などは悉く児童をして工

夫さするが可いとしてある。就中見物人の喝采をのみ氣にして、何時しか謂ゆる役者根性になることのないやうに、特に注意を加へねばならぬ。此點に於ても彼地に於ては頗る警戒を加へて居る。

次には餘興の事であるが、之は無くもがなといふ譯であるのみならず、大理石像の眞似をする事などは第一身體一面に漆喰を塗るのであるから、之をする人も好まぬ。其他會ではクブレーといふ間の狂言のやうなものを出す習慣があるが、之は淺薄な滑稽なことが多く却つて眞正の興味を減殺するから、之は餘り遣らぬが好いといふ説が多いやうである。講演は此會では主たるものでは無いが、場合によつては僅かの時間だけ之を爲す事になつて居る。而して此講演は特に地方に於ては大體愛郷心を惹起するのが主であるから、郷土の歴史や地理に關した講話が多い。併し今日では獨逸の地位も高まつて世界的となつたから、政治上、經濟上、軍事上に於ても世界と關係を有し、且殖民地も多いことであるから、海外の風俗人情に關する旅行談なども講演する事も少なくない。かゝる講演の材料に就いては特に其目的の爲に選擇した講演用の参考書なども出版されて居るから、講演者

* Couplet

は之に依つて其材料を得ることが出来るゆゑ、一々自分で調べる必要は無い。また此講演には今日では映畫即ち幻燈や活動寫眞を入れて其不足を補つて居る。否な、何れかといへば映畫を主として、講演は従となつて居るやうである。尤も平民娛樂夜會では其性質上さうなくてはならぬ筈である。而して之に就いても重寶な調査したものがあつて、色々有益なものを組にして本屋又は通俗教育會などから賣出して居る。此外前の平民劇や青年劇に關してもそれ／＼適當な脚本が選定されて、それがチャント本になつて出て居るから、此會を開催するにも別段骨の折れる事はなく、其結果如何なる場所に行くも、餘り馬鹿／＼しい軌道を外れた施設をするやうな事はなく、孰れの村の隅々で舉行する會でも相當に筋道の立つた施設する事が出来る。

それから平民娛樂夜會の成功する否とは、全く右に述べた材料の組合せ如何に關するものであるから、其プログラムの選定は此會の事業中でも第一に重要なのである。プログラムの選定にして宜しきを得れば、此會の事業は既に八分の成功をなしたものと見て可い。プログラムの選定に就いては色々細かな點に一様

に注意しなければならぬ。若し其中の一點を誤れば、同時に其全體を打壞す結果になる。開催の季節及び時刻、開催の場所、材料の選擇及び其配列、演行の時間、演行者の技倆並に經費の多少等は、其中でも最も注意を加ふべき要點である。凡て集會の季節は西洋では主として冬季であつて、其年の十一月から翌年の三月迄の間が最も盛んである。夏期は地方では農家は一般に多忙であつて、又都市では上流社會の人は多く避暑に出懸くるから、此季節には集會等は少い。併し祝祭日は春夏、秋にもあるから、此場合に舉行する平民娛樂會——これは夜會と限らぬ——は之は別である。特に春秋には郊外に出で、此會を開催する事が、今日は殊に地方では最も盛んに行はるゝやうになつた。併し平日屋内で開催の場合は、矢張り前の冬季が一番盛んである。それから時刻は西洋では普通夜の八時から凡そ二時間位を限りとしてある。小學校兒童などが加はる場合は、晚くも九時には切上ぐる。尤も郊外に催す野天芝居は言ふまでもなく此限りでない。場所は都市では不自由が無いが、地方では之を得ることが困難である。村の宿屋、集會所等で適當なものがある處では此處で舉行することがあるが、多くは其處の小學校で開催する。

(1) Elternabend (2) Dichter- und Tondichterabend (3) Der Alpenjäger (4) Der Knabe am Bache
 (5) Die Kraniche des Ibykus (6) Die Hoffnung (7) Elysium (8) Es lächert der See
 (9) Die Teilung der Erde (10) Die Ideale (11) Der Handschuh

三六六
 小學校は其地の住民が一度は必ず出入した處であるから、自然皆んなが喜んで集つて来る。加之小學校では時々「兩親懇話會」などを催す緣故もあつて、土地の家族とも平生から親近になつて居るから、多數の人を集めるには此小學校が一番便宜が好いのである。尤も近來は獨逸の農村では競うてかゝる目的の爲に特別なる集會所を設けて居るから、斯様な處では無論此集會所を使用する。

次は材料の選擇であるが、之は其會の主とする目的に依つて多少異つて來ることを免れない。他の場合に話した伯林のシルラー劇場の催しに係る「詩人及音詩人夜會」などでは、詩人の作品を紹介し之を概味することが主であるから、其時紹介する詩人の作品丈を限つて朗誦し、又其に關する作曲を演奏するのである。例へば「シルラーアーベンド」では先づシルラーの生涯に就いて講演し、次に其「アルベンの獵師」「河邊の童子」「イビクスの鶴」などを朗誦し、次にシューベルトの作曲の「希望」「ブリーデマン作曲の「エリジウム」」「クルシマン作曲の「湖が微笑す」などを歌ひ、最後に復た「地球の分割」「理想」「手巾」などを朗誦するといふ風にするのである。此方法は詩人の精神を十分に味ふには最も適當なる方法である。併し、斯様な會には、其前後

(5) Die Lützower (2) Auf der Wanderung (1) Bleibet im Laude.
 (4) An die Heimat. (2) O teure Heimat.

一貫の調子と云ふものが缺けて居る。同じシルラーの前述の作品でも、其内容たる思想は各、非常に異つて居るから、聽衆の心を或一點に引附けつゝ進んで行くといふことは困難である。それで宗教上、教育上の目的を有する會では、成る可く此一貫の調子を保たしむる爲に、始終同じ心持ちに居らするやうな材料を選ぶことを務める。例へば「故郷」といふ題であれば、一寸故郷に關した話をして、それから故郷に關した詩を朗誦し、之に關した音楽を演奏し、また場合に依つてはこれに關した映畫を示し、若くは演劇を舉行するのである。尙實例を擧げて云へば故郷に關した簡単な講話の後に朗誦にはリッケルトの「故國に生まれ、合唱にはケルンの「嗚呼貴き故郷」獨唱にはフランツ・ウーベルの「旅路の上」器樂にはオー・フックスの「故郷へ」演劇にはネイの「リッツアー」黨を用ふるとして、又映畫も此意味に合ふものを選ぶのである。

併しこの方法に依ると動もすると前と反對に調子が單一に流るゝといふ弊がある。それで此弊を避くるためには、根本の調子の前後一貫することを務むると同時に、其他の枝葉に於ては成る可く變化あるやうに仕組まねばならぬ。詩など

でも古いものばかりではなく、新しいものも多く採用するといふ事が今日は獨逸でも一般に行はれて、斯様な會などにも現代作家の作品などを多く朗誦すると云ふ風である。それから材料の配列の事、之に就いて注意すべきことは、不必要なる中休みなどを多くせぬ事、活人畫、體操及び演劇の如き所作事を引續いて見せぬ事、活人畫、體操其他餘興は講演、演奏の後に於てする事等である。尙其會の主たる仕事を定めて、之を中心として其他の事をそれに從屬させるようにしなければならぬ。講演が主であるか、演奏が主であるか、或は又演劇が主であるか、それが分らぬやうな遣方は極めて可くない。要するに急がず、迫かず、自然とプログラムが展開して行くやうに注意を加へて仕組まねばならぬ。尙演劇の時間は、之は聽衆は主として終日勞働した中以下の人々であるから、長くない方が可い。三時間以上四時間にも互つて成るべく多く御馳走をしようとするのは、大概却つて失敗に終る。普通は中休を加へて一時間半位に止むるが好い。但し日曜日又は他の休日に催すものは、二時間半位に延長しても差支へないやうである。特に講演は此場合には必ず一寸した挨拶又は説明に止めて、二十五分から四十五分迄に限るが可い。

長談義は此會の性質と相容れない。總じて西洋では演奏でも演劇でも大概二時間内外を以て其限度として居る。これは西洋の藝術は精選した正味ばかりであつて、特に演劇は見ることよりは聴くことが主となつて居るから、餘り長くなると草臥れるからであらうが、又普通の場合には夜に入つて始めるから、自然餘り長くは行れない事情があるからであらうと思ふ。演藝者も能く精選しなければならぬ。地方では往々同好の人が集つて組合を作つて平素から練習をして居る所もあつて、自然素人藝人が出来て居る。斯様な處では無論此者に依頼するのである。又時として専門の藝人を頼んで来て、それに監督指導して貰ふこともある。それから小學校の生徒に行らせる事は前に言つた通りである。尙獨逸では概して村が小さいから、數村が聯合して之に隣りの村から素人役者を借り合ふといふやうな事をして居る。而してこれは相互の競争を喚起して事業の進歩上にも有益であるといふ事である。

最後に經費の事であるが、之は都市では格別であるが、地方では成る可く之を節約するやうにするが可いといふので、案外金を掛けずに行つて居る。シネーラジエ

ン州の例を或本に出してあるが、其處のオッペルン縣では一回の開催に、平均一九〇九年には二十七マーク、一九一〇年には二十三マーク丈掛けて居るといふことで、誠に少い經費で以て行つて居ることが分かる。併し之は一縣を通じての平均であるから、其中には極めて詰らぬ催しの會を含んで居るであらうと思ふから、其中で相當と思はるゝ催しの會の經費を調べて見ると、大概八十マークから百マーク位で済して居る。これは演奏も行ひ、演劇も行るのである。而して我國の金に換算すれば四十圓から五十圓で済して居る。畢竟西洋では斯様な場合には、飲食の費用を少しも掛けぬから、それでかう甘く行くのである。

尙茲に野天芝居(一名天然劇)の事に就いて一言附加して置き度いと思ふ。これは先づ我國の田舎で田圃の中に假小屋を設けて素人が忠臣藏や千代萩を遣るのと同一趣向で、但其出し物がこんな都市向きな物でない、田舎に相當する物が多い。クラシック物を興行することもあれど、此場合には、其中の田舎に向く部分のみを取るものである。或は特に其地の歴史を仕組んだ脚本を新に作つて之を興行する事などもある。一昨々年即ち一九一〇年の事であるが、伯林から程遠からぬポツダム

縣のコーリンと云ふ僧庵の舊跡に關し、或る郷土的研究家が僧庵の古文書の中から面白い傳説を發見したので、此地に在る郷土研究會では此材料を有名なる劇作家のアキセル・デルマルに送つて之を仕組んだ脚本を拵へて貰つて、且素人芝居の舞臺監督として其名を知られたるフライを頼んで其指揮の下で、右の僧庵其物を背景として其前の廣場に舞臺を設けて此脚本を上場して、大に世上の注意を惹いた事がある。之が爲には此附近の素人役者が二百人許りも専門俳優の補助を得て登場して、此僧庵に於ける過去の生活を數百年の後に復活して、而かも僧庵を眼前に置いて之を見せたのであるから、見物人は何れも非常に感動して二箇月間引續き毎水曜日と日曜日とに興行したけれども、其都度大入りを取つたといふ事である。併し斯様な大規模な野天芝居は何處にでも行はれるといふ譯ではない。多くは春秋の時候の好い季節に五月祭とか收穫祭とか云ふものがある、其際に牧場の段になつて居る處などを選んで假舞臺を拵へて、此處で一幕物若くは二幕物などを素人が興行するのである。中には森の中を流るゝ小川の中洲などに舞臺を設けて、見物人は川の此方に席を取つて此處から見物するといふ風な趣向もあ